資料２

「第３次丹波市環境基本計画」策定のためのアンケート調査

結果報告書

令和８年３月

目次

Ⅰ　調査概要 1
1　調査の目的 1
2　調査の設計 1
3　報告書を見る際の注意事項 1

Ⅱ　市民アンケート調査結果 2
1　回答者の属性 2
2　地域の自然環境について 3
3　地域の生活・資源環境について 12
4　地球温暖化について 26
5　環境保全活動について 30
6　その他 35

Ⅲ　事業所アンケート調査結果 47
1　回答事業所の属性 47
2　環境問題に関する取組について 49
3　環境教育・環境学習の実施状況について 62
4　情報の入手について 64
5　自然環境の保全のための取組について 66

Ⅰ　調査概要

1　調査の目的

令和 4 年 3 月に見直した「第２次丹波市環境基本計画＜改定版＞」の次期計画となる「第 3 次丹波市環境基本計画」策定の参考とするため、丹波市の環境に関する満足度や市民や事業所の取組状況、今後の課題などについて把握することを目的として調査を実施した。

2　調査の設計

（1）市民調査

■調 査 対 象：丹波市内にお住まいの 15 歳以上の男女 1,200 人
■調 査 方 法：無作為抽出による郵送配布－郵送回収（WEB 併用）
■調 査 期 間：令和 7 年 11 月 25 日（火）～令和 7 年 12 月 15 日（月）
※令和 7 年 12 月 26 日（金）受付分まで含む
■回　収　数：484 票
■有効回収数：484 票（内 WEB163 票）（有効回収率：40.3%）

（2）事業所調査

■調 査 対 象：丹波市内の事業所 300 事業所
■調 査 方 法：無作為抽出による郵送配布－郵送回収（WEB 併用）
■調 査 期 間：令和 7 年 11 月 25 日（火）～令和 7 年 12 月 15 日（月）
※令和 7 年 12 月 26 日（金）受付分まで含む
■回　収　数：121 票
■有効回収数：121 票（内 WEB58 票）（有効回収率：40.3%）

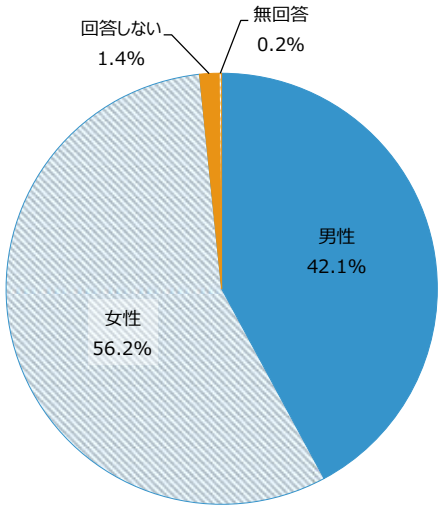
3　報告書を見る際の注意事項

■回答は各質問の回答者数（ｎ）を基数とした百分率（%）で示してある。
■百分率は小数点以下第２位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が 100%にならないことがある。
■１つの質問に２つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。

Ⅱ　市民アンケート調査結果

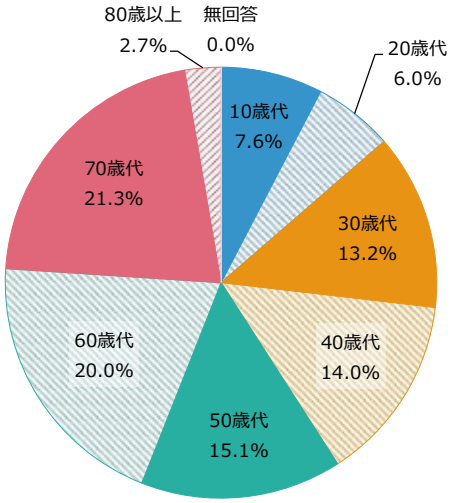
1　回答者の属性

問 1　あなたの性別について教えてください。（○は 1 つ）



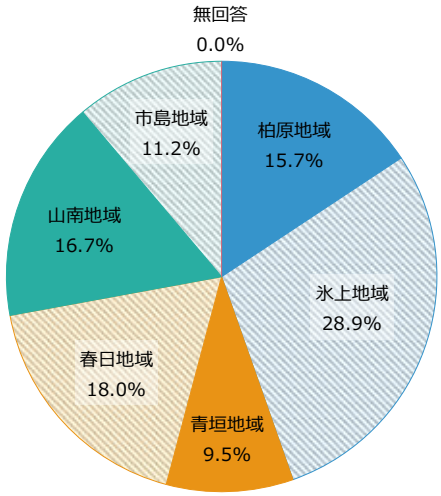
n=484

問 2　あなたの年齢は何歳ですか。（○は 1 つ）



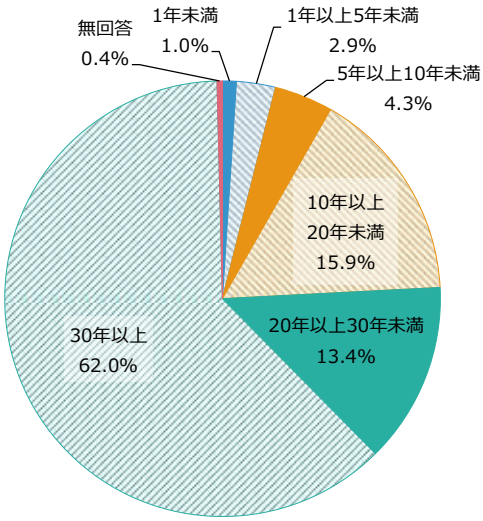
n=484

問 3　あなたのお住まいの地域を教えてください。（○は 1 つ）



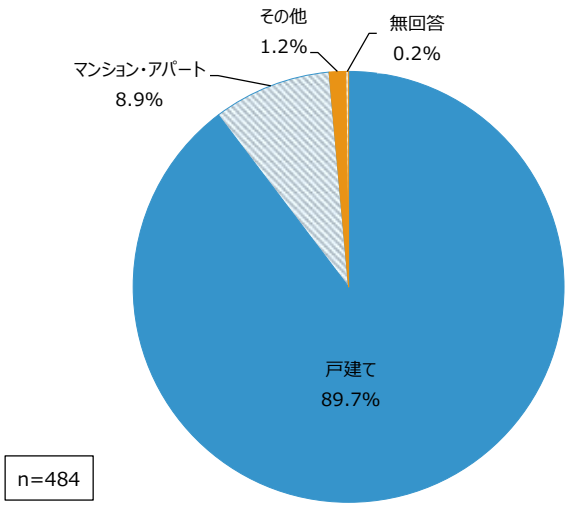
n=484

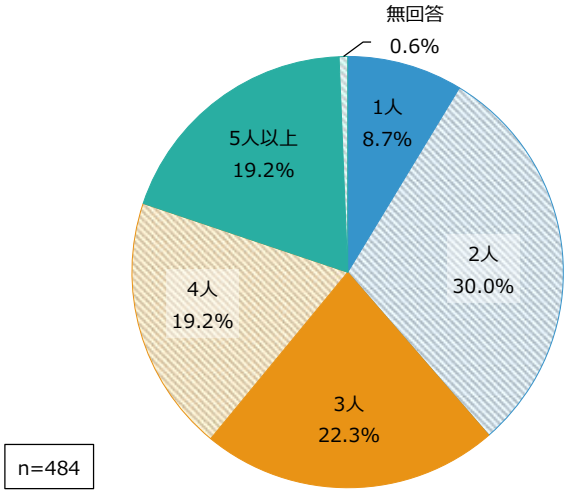
問 4　あなたは、丹波市に何年お住まいですか。（○は 1 つ）



n=484

問 5	あなたの住宅の種別を教えてください。（○は 1 つ）	問 6	あなたの同居の家族の人数（自分を含めて）を教えてください。（○は 1 つ）

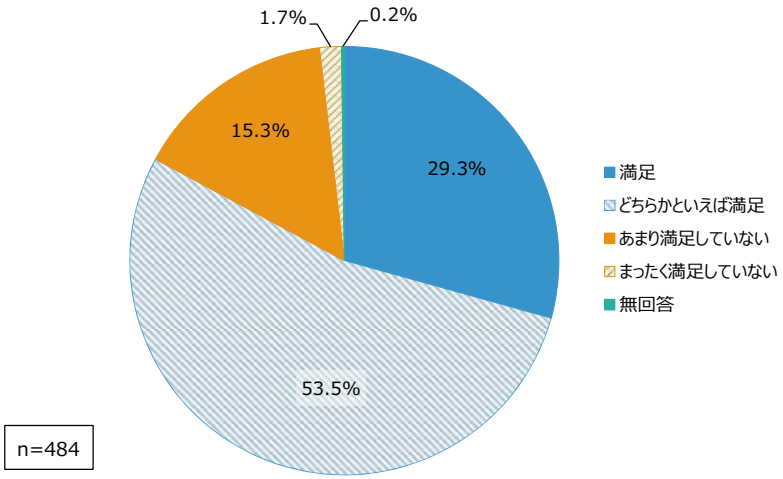




2　地域の自然環境について

問 7	あなたは、お住まいの周辺の自然環境について、どのくらい満足していますか。（○は 1 つ）

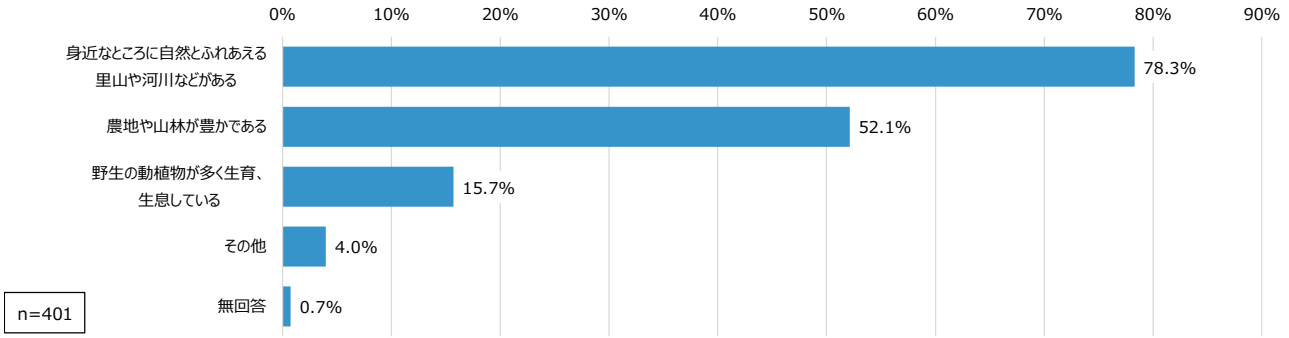
住まい周辺の自然環境の満足度については、「どちらかといえば満足」が 53.5%で最も多く、次いで「満足」が 29.3%、「あまり満足していない」が 15.3%などとなっている。



問 8

※問 7 で「満足」、「どちらかといえば満足」を選択した方のみ
なぜそう思いますか。（○はいくつでも）

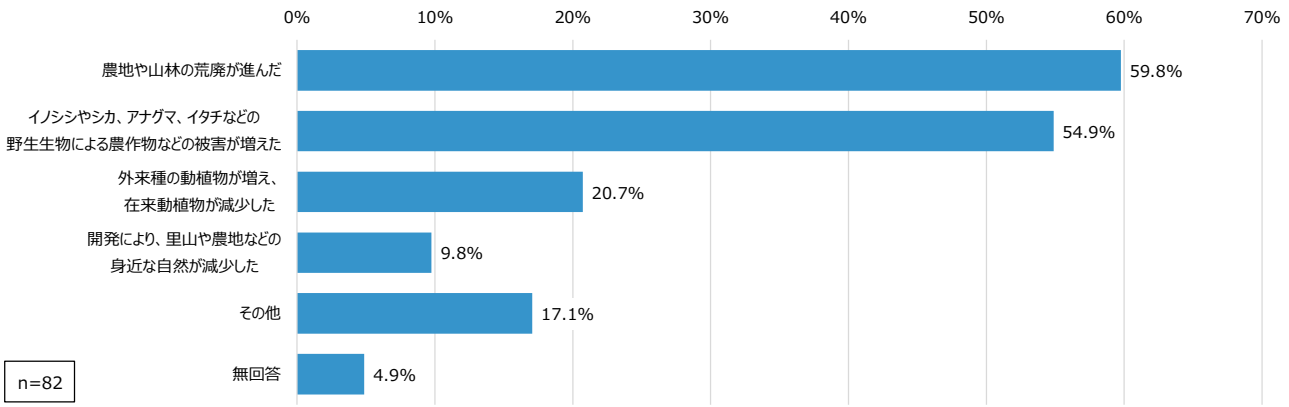
住まい周辺の自然環境について、「満足」、「どちらかといえば満足」と思う理由については、「身近なところに自然とふれあえる里山や河川などがある」が 78.3%で最も多く、次いで「農地や山林が豊かである」が 52.1%、「野生の動植物が多く生育、生息している」が 15.7%となっている。



問 9

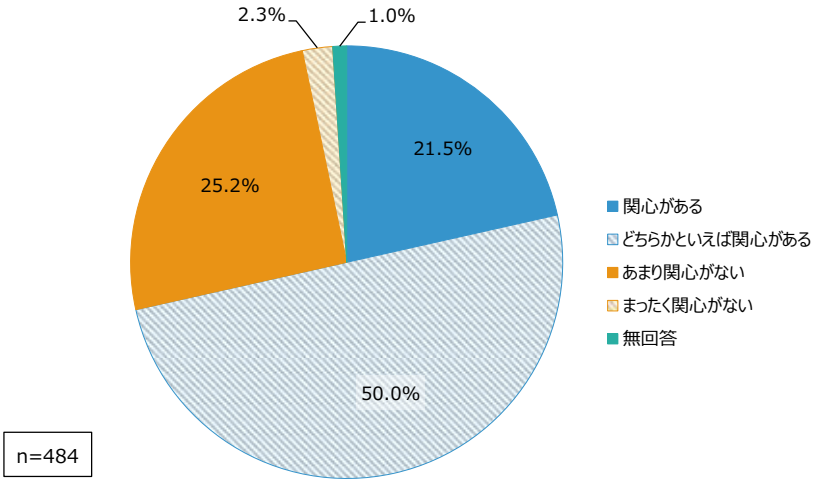
※問 7 で「あまり満足していない」、「まったく満足していない」を選択した方のみ
なぜそう思いますか。（○はいくつでも）

住まい周辺の自然環境について、「あまり満足していない」、「まったく満足していない」と思う理由については、「農地や山林の荒廃が進んだ」が 59.8%で最も多く、次いで「イノシシやシカ、アナグマ、イタチなどの野生生物による農作物などの被害が増えた」が 54.9%、「外来種の動植物が増え、在来動植物が減少した」が 20.7%などとなっている。



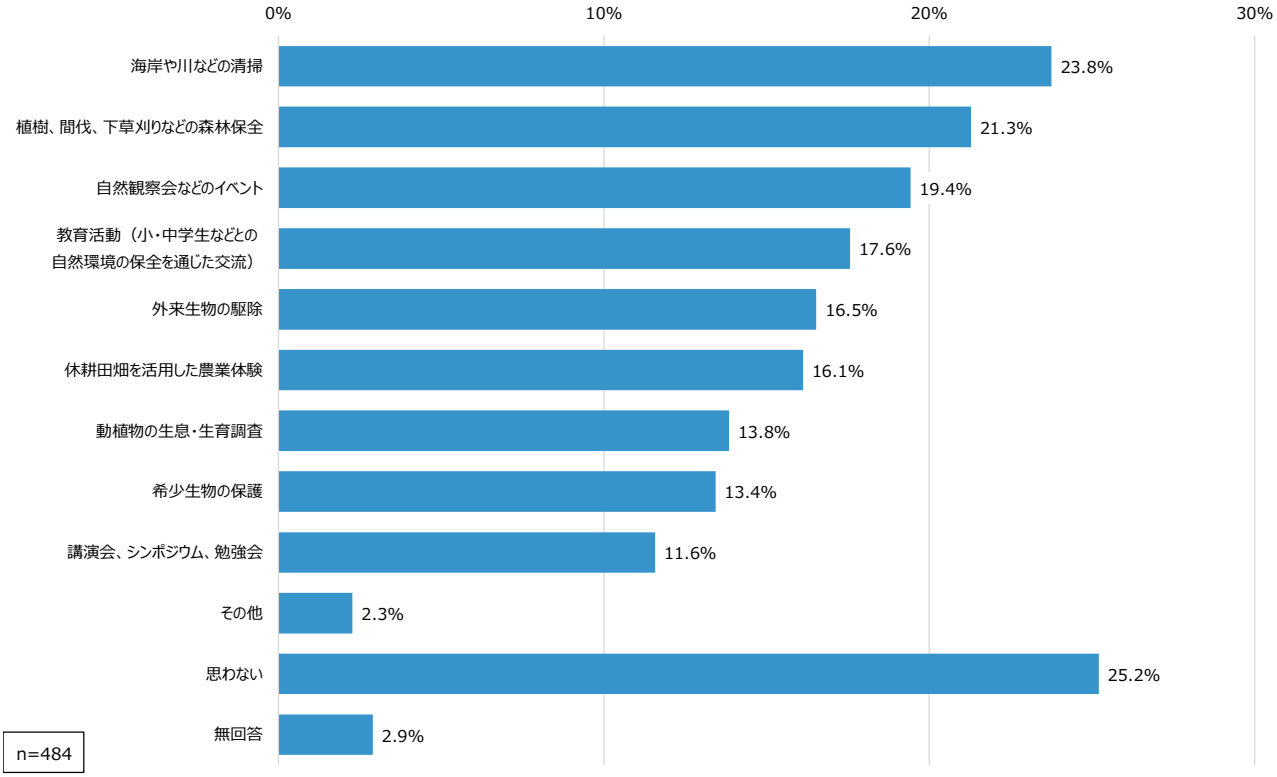
問 10　あなたは、自然環境の保全に関心がありますか。（○は 1 つ）

自然環境保全の関心度については、「どちらかといえば関心がある」が 50.0%で最も多く、次いで「あまり関心がない」が 25.2%、「関心がある」が 21.5%などとなっている。



問 11　あなたは、どのような活動に参加したいと思いますか。（○はいくつでも）

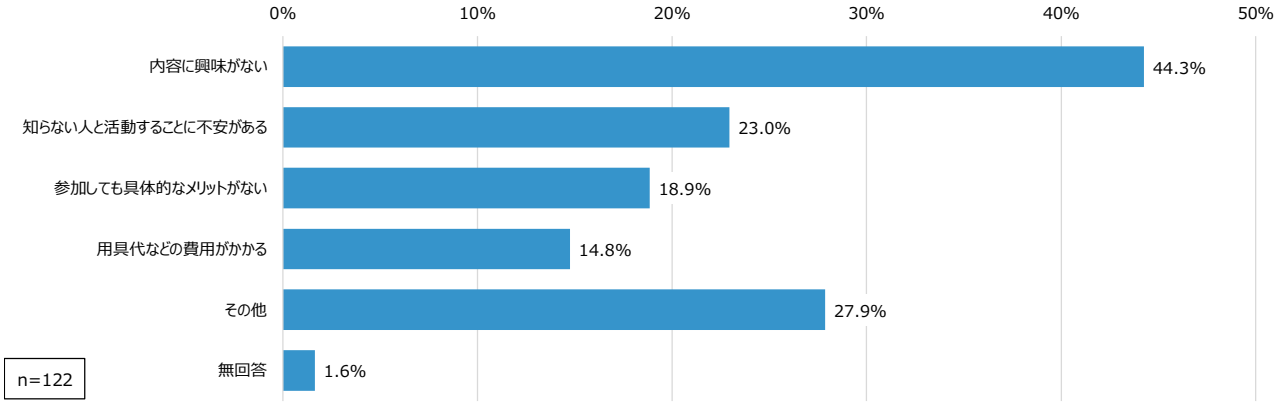
参加したい活動については、「海岸や川などの清掃」が 23.8%で最も多く、次いで「植樹、間伐、下草刈りなどの森林保全」が 21.3%、「自然観察会などのイベント」が 19.4%などとなっている。



問 12

※問 11 で「思わない」を選択した方のみ
なぜそう思いますか。（○はいくつでも）

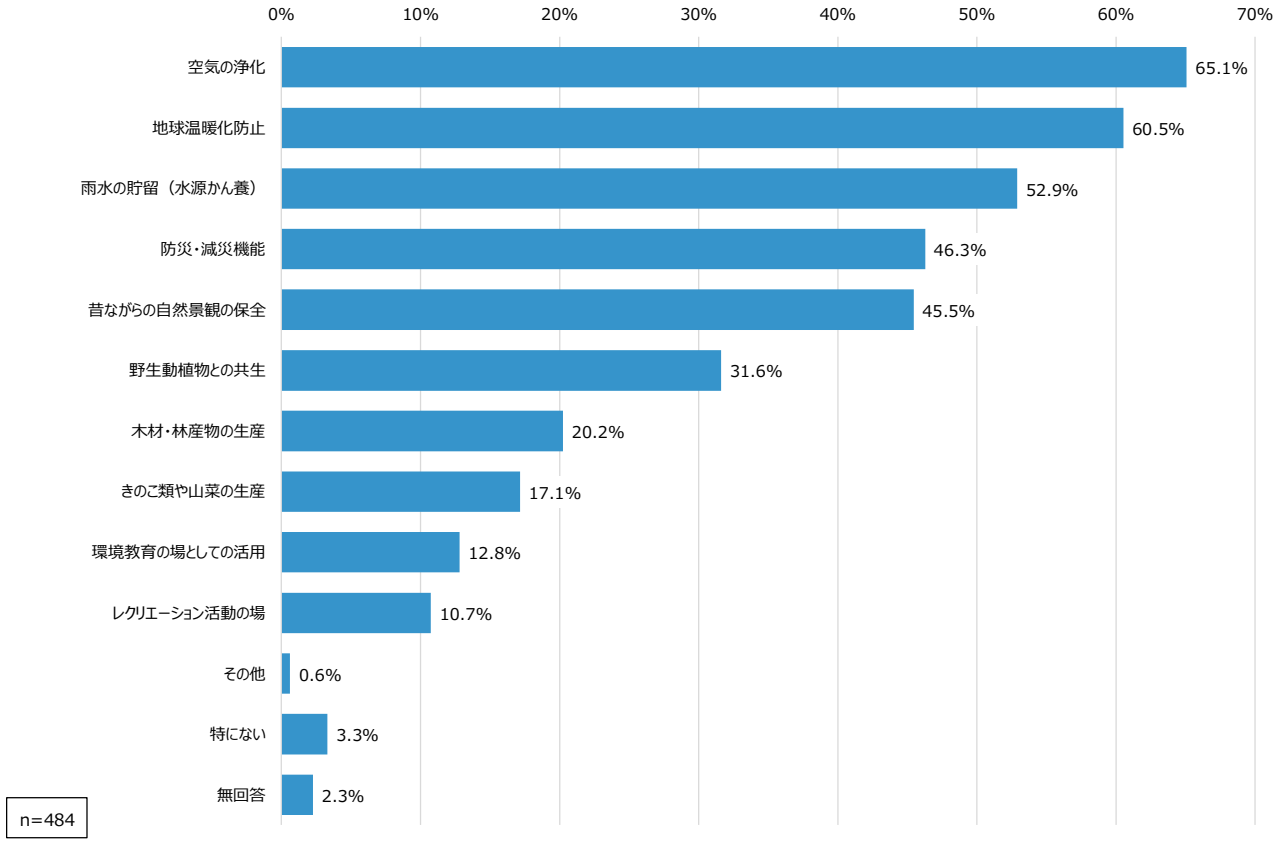
活動に参加したいと「思わない」理由については、「内容に興味がない」が 44.3%で最も多く、次いで「知らない人と活動することに不安がある」が 23.0%、「参加しても具体的なメリットがない」が 18.9%などとなっている。



問 13

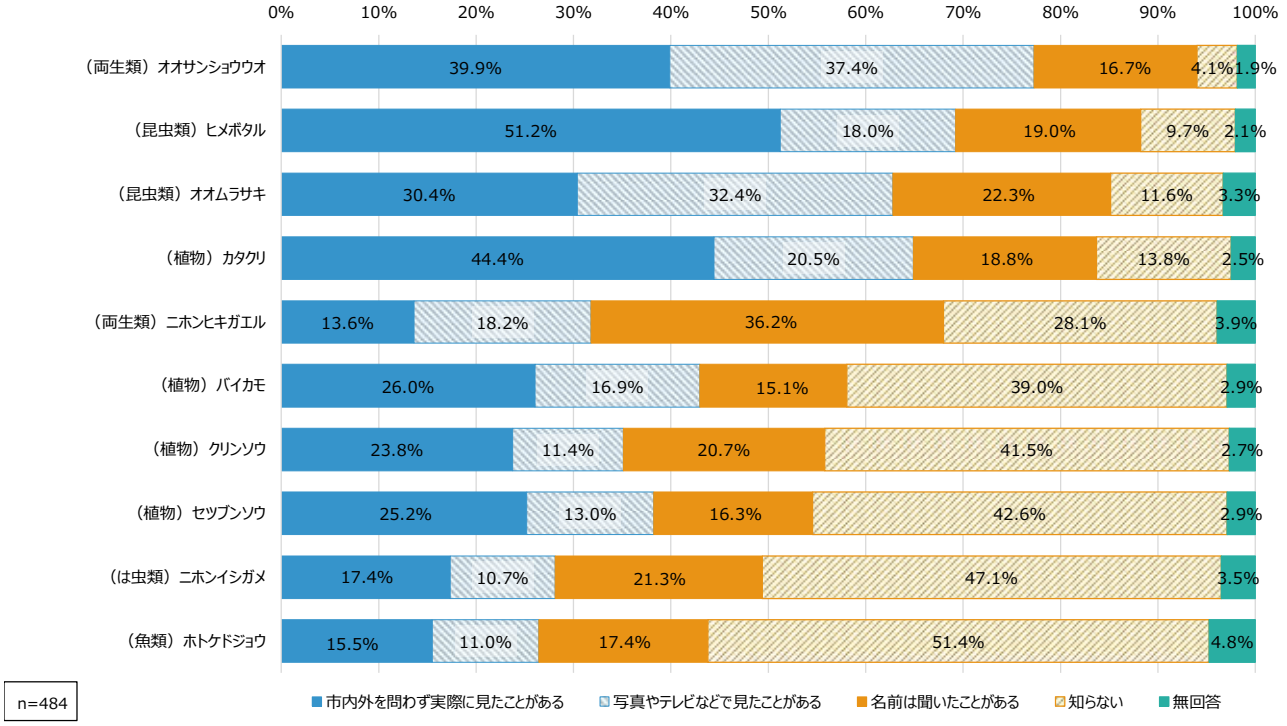
森林に期待する役割は何ですか。（○はいくつでも）

森林に期待する役割については、「空気の浄化」が 65.1%で最も多く、次いで「地球温暖化防止」が 60.5%、「雨水の貯留（水源かん養）」が 52.9%などとなっている。



問 14 丹波市には、様々な希少生物が生息・生育しています。あなたは、次の生き物について、見たことがありますか、また、聞いたことがありますか。（それぞれ○は 1 つ）

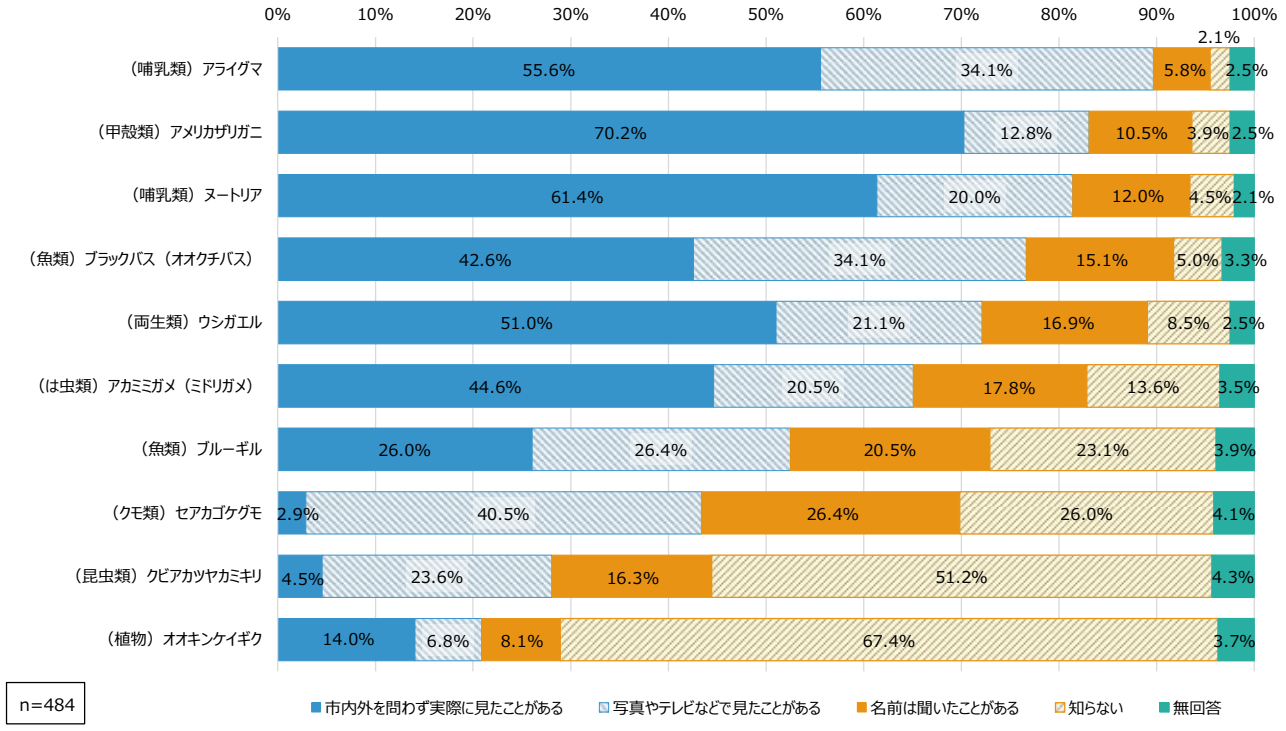
丹波市に生息・生育している希少生物について、「市内外を問わず実際に見たことがある」、「写真やテレビなどで見たことがある」、「名前は聞いたことがある」と回答されたのは、「（両生類）オオサンショウウオ」が 94.0%で最も多く、次いで「（昆虫類）ヒメボタル」が 88.2%、「（昆虫類）オオムラサキ」が 85.1%などとなっている。



問 15

丹波市には、在来種を脅かしたり、人の身体や農林業に被害を及ぼす外来種が生息・生育しています。あなたは、次の生き物について、見たことがありますか、また、聞いたことがありますか。
（それぞれ○は１つ）

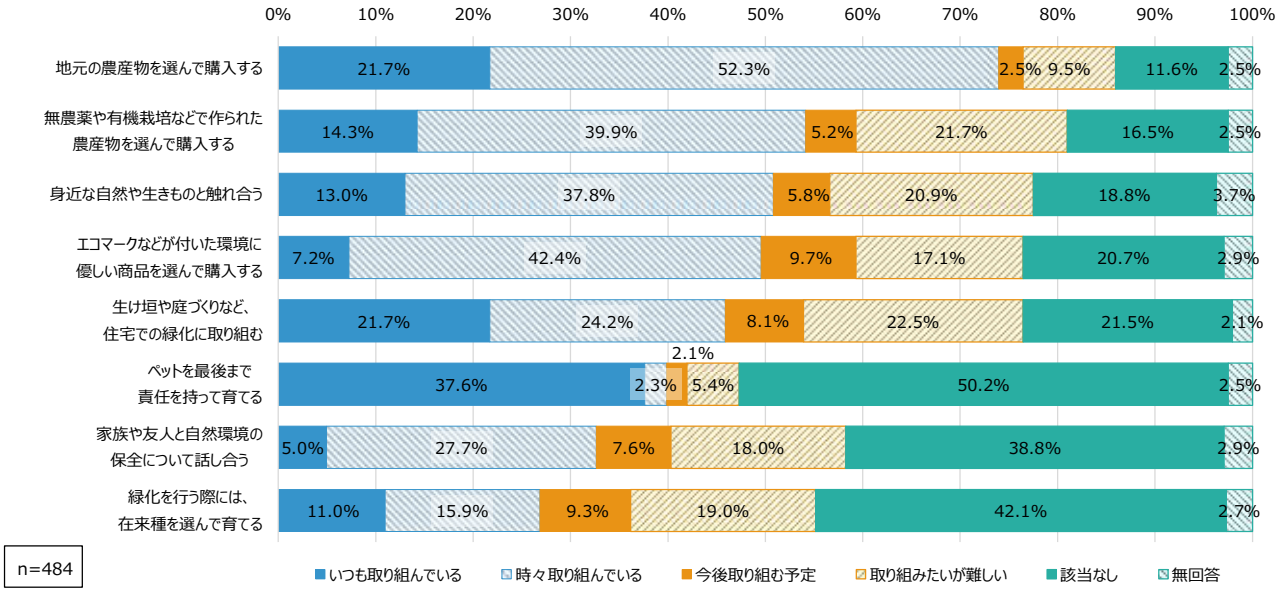
丹波市に生息・生育している外来種について、「市内外を問わず実際に見たことがある」、「写真やテレビなどで見たことがある」、「名前は聞いたことがある」と回答されたのは、「（哺乳類）アライグマ」が 95.5%で最も多く、次いで「（甲殻類）アメリカザリガニ」が 93.5%、「（哺乳類）ヌートリア」が 93.4%などとなっている。



問 16	あなたは、次の項目について取り組んでいますか、また、今後取り組んでみたいと思いますか。 （それぞれ○は１つ）

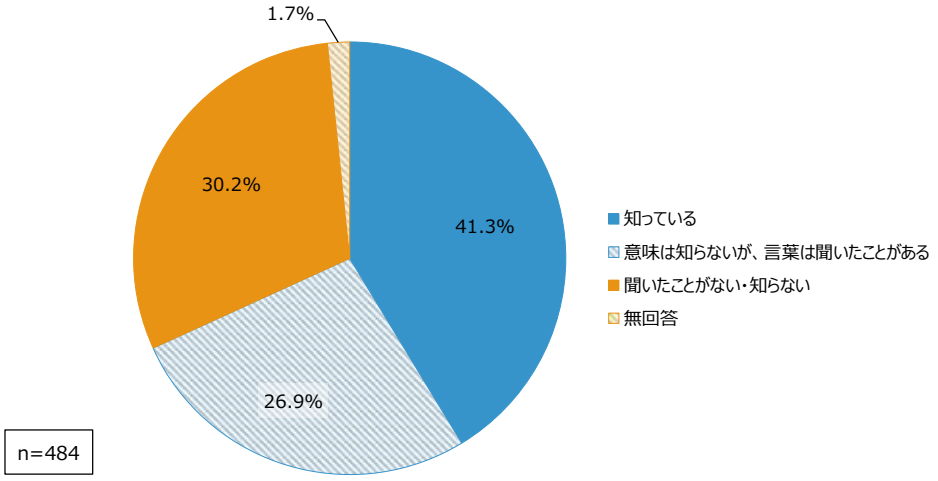
「いつも取り組んでいる」、「時々取り組んでいる」と回答されたのは、「地元の農産物を選んで購入する」が74.0%で最も多く、次いで「無農薬や有機栽培などで作られた農産物を選んで購入する」が 54.2%、「身近な自然や生きものと触れ合う」が 50.8%などとなっている。

また、「今後取り組む予定」と回答されたのは、「エコマークなどが付いた環境に優しい商品を選んで購入する」が9.7%で最も多く、次いで「緑化を行う際には、在来種を選んで育てる」が 9.3%、「生け垣や庭づくりなど、住宅での緑化に取り組む」が 8.1%などとなっている。



問 17 あなたは、「氷上回廊」を知っていますか。（○は 1 つ）

氷上回廊の認知度については、「知っている」が 41.3%で最も多く、次いで「聞いたことがない・知らない」が 30.2%、「意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」が 26.9%となっている。



日本列島では、中央分水界と呼ばれる山々の山頂付近を境に、水の流れが日本海側と太平洋側に大きく分かれ、気候にも起伏が生じ、降水量や積雪量の異なる多彩な気候風土が育まれてきました。

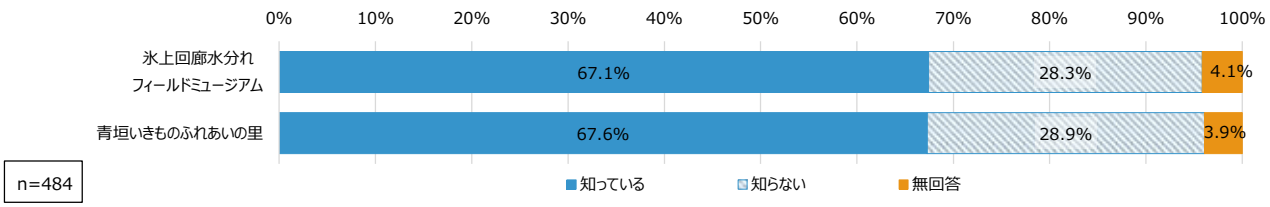
その中でも、丹波市氷上町石生は「水分れ」と呼ばれ、標高わずか 95mという本州の内陸部で最も低い中央分水界です。「水分れ」を中心に、瀬戸内海側へ流れる加古川と日本海に注ぐ由良川をつなぐ南北に伸びた低地帯を「**氷上回廊**」と呼びます。

問 18 あなたは、氷上回廊水分れフィールドミュージアムや青垣いきものふれあいの里を知っていますか、また、行ったことがありますか。（それぞれ○は 1 つ）

■認知度

氷上回廊水分れフィールドミュージアムや青垣いきものふれあいの里の認知度について、氷上回廊水分れフィールドミュージアムでは、「知っている」が 67.1%、「知らない」が 28.3%となっている。

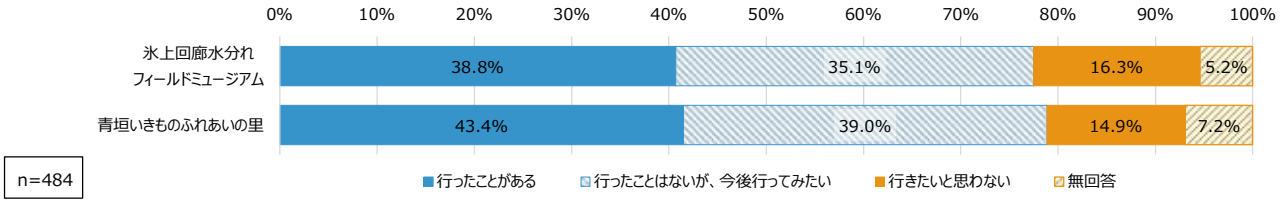
また、青垣いきものふれあいの里では、「知っている」が 67.6%、「知らない」が 28.9%となっている。



■利用状況・利用意向

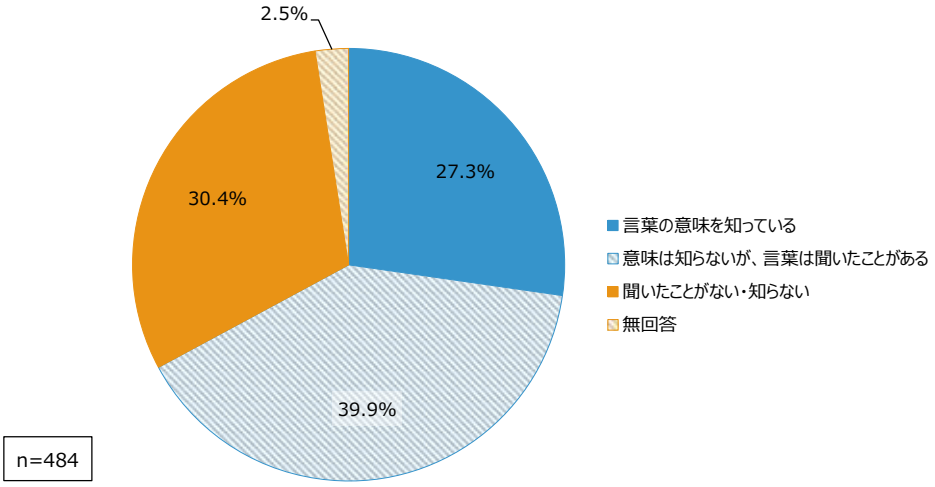
氷上回廊水分れフィールドミュージアムや青垣いきものふれあいの里の利用状況や利用意向について、氷上回廊水分れフィールドミュージアムでは、「行ったことがある」が 38.8%、「行ったことはないが、今後行ってみたい」が 35.1%、「行きたいと思わない」が 16.3%となっている。

また、青垣いきものふれあいの里では、「行ったことがある」が 43.4%、「行ったことはないが、今後行ってみたい」が 39.0%、「行きたいと思わない」が 14.9%となっている。



問 19 あなたは、「生物多様性」という言葉を知っていますか。（○は 1 つ）

生物多様性という言葉の認知度については、「意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」が 39.9%で最も多く、次いで「聞いたことがない・知らない」が 30.4%、「言葉の意味を知っている」が 27.3%となっている。



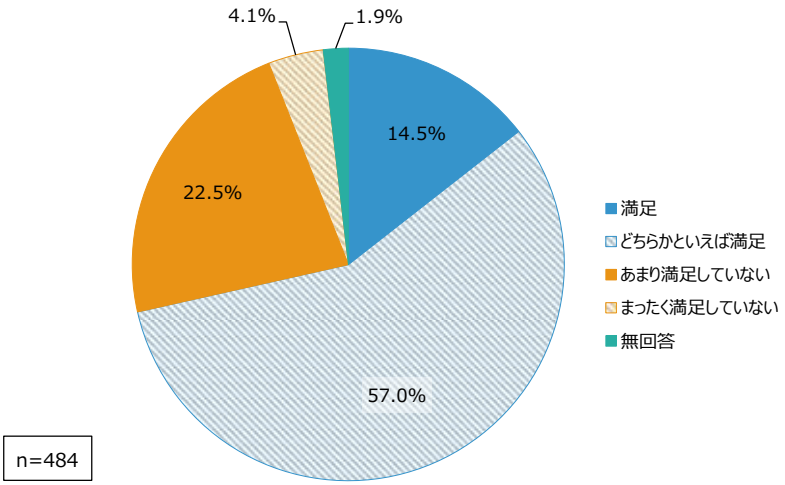
地球上の生きものは 40 億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000 万種ともいわれる多様な生きものが生まれました。これらの生命は一つひとつに個性があり、全て直接的、または間接的に支えあって生きています。この生きものたちの豊かな個性とつながりのことを「**生物多様性**」といいます。

私たち人類も生きものであり、他のたくさんの生きものとつながり、支えられて生きています。生物多様性の恵みを受けて、はじめて私たちは暮らしていくことができています。

3　地域の生活･資源環境について

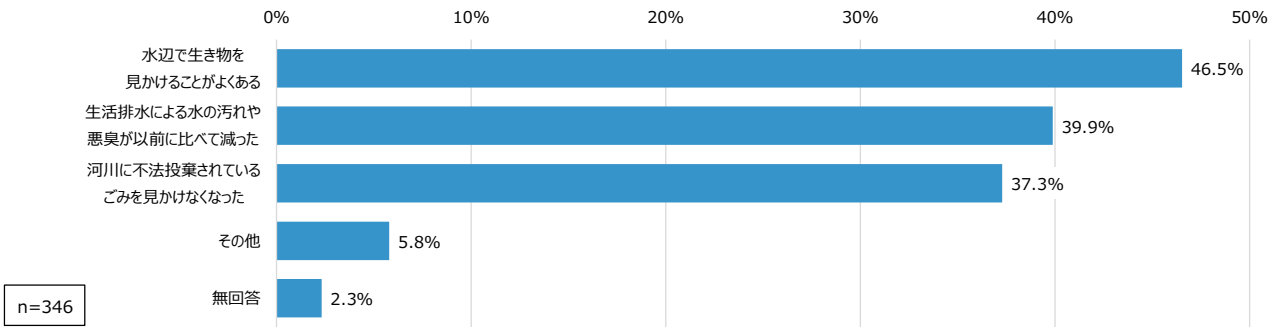
問 20　あなたは、お住まいの周辺の水路や河川などの水のきれいさについて、どのくらい満足していますか。（○は 1 つ）

住まい周辺の水路や河川などの水のきれいさの満足度については、「どちらかといえば満足」が 57.0%で最も多く、次いで「あまり満足していない」が 22.5%、「満足」が 14.5%などとなっている。



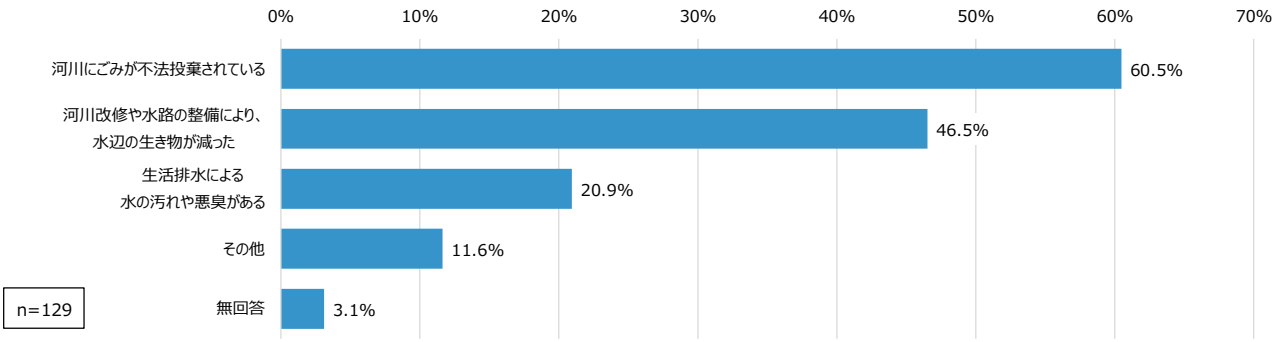
問 21　※問 20 で「満足」、「どちらかといえば満足」を選択した方のみ
なぜそう思いますか。（○はいくつでも）

住まい周辺の水路や河川などの水のきれいさについて、「満足」、「どちらかといえば満足」と思う理由については、「水辺で生き物を見かけることがよくある」が 46.5%で最も多く、次いで「生活排水による水の汚れや悪臭が以前に比べて減った」が 39.9%、「河川に不法投棄されているごみを見かけなくなった」が 37.3%となっている。



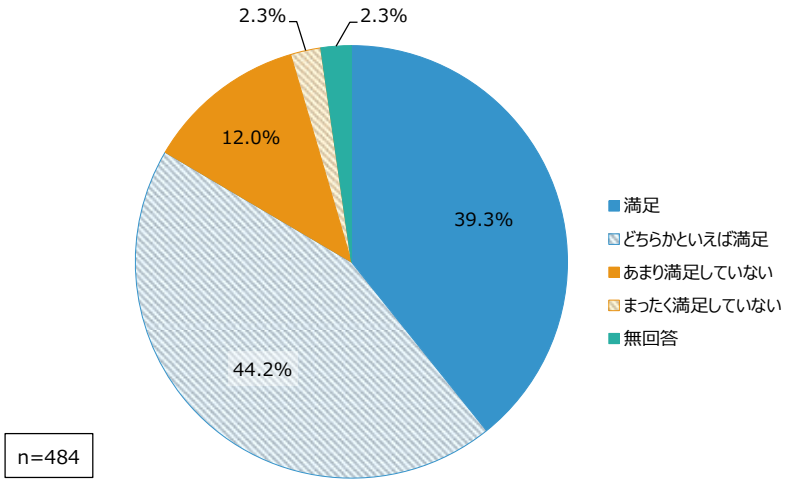
問 22 ※問 20 で「あまり満足していない」、「まったく満足していない」を選択した方のみ
なぜそう思いますか。（○はいくつでも）

住まい周辺の水路や河川などの水のきれいさについて、「あまり満足していない」、「まったく満足していない」と思う理由については、「河川にごみが不法投棄されている」が 60.5%で最も多く、次いで「河川改修や水路の整備により、水辺の生き物が減った」が 46.5%、「生活排水による水の汚れや悪臭がある」が 20.9%となっている。



問 23 あなたは、お住まいの周辺の空気のきれいさについて、どのくらい満足していますか。（○は 1 つ）

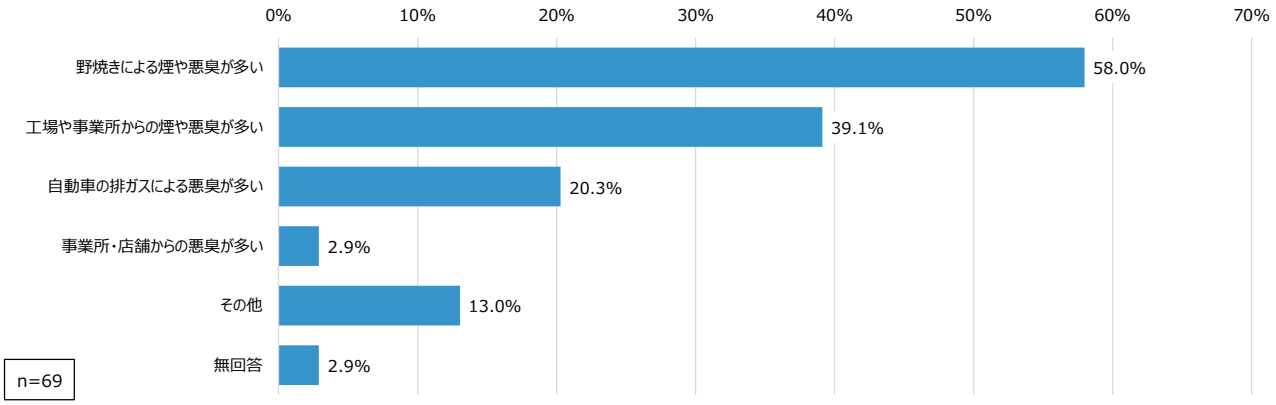
住まい周辺の空気のきれいさの満足度については、「どちらかといえば満足」が 44.2%で最も多く、次いで「満足」が 39.3%、「あまり満足していない」が 12.0%などとなっている。



問 24

※問 23 で「あまり満足していない」、「まったく満足していない」を選択した方のみ
なぜそう思いますか。（○はいくつでも）

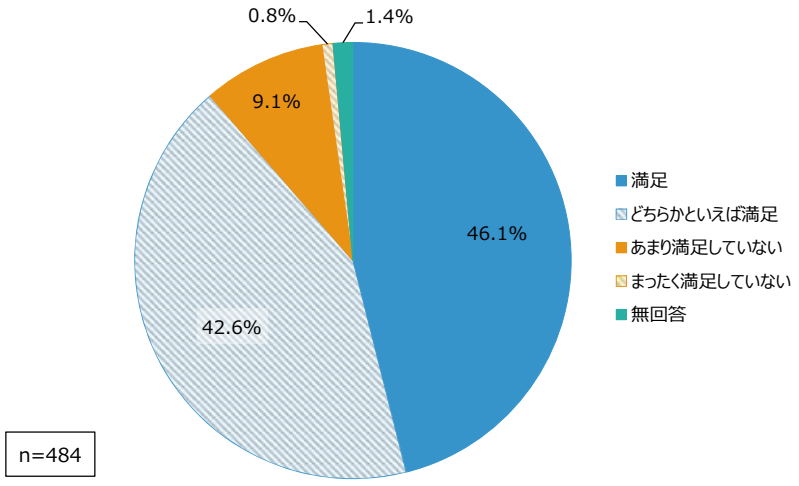
住まい周辺の空気のきれいさについて、「あまり満足していない」、「まったく満足していない」と思う理由については、「野焼きによる煙や悪臭が多い」が 58.0%で最も多く、次いで「工場や事業所からの煙や悪臭が多い」が 39.1%、「自動車の排ガスによる悪臭が多い」が 20.3%などとなっている。



問 25

あなたは、お住まいの周辺の静けさについて、どのくらい満足していますか。（○は 1 つ）

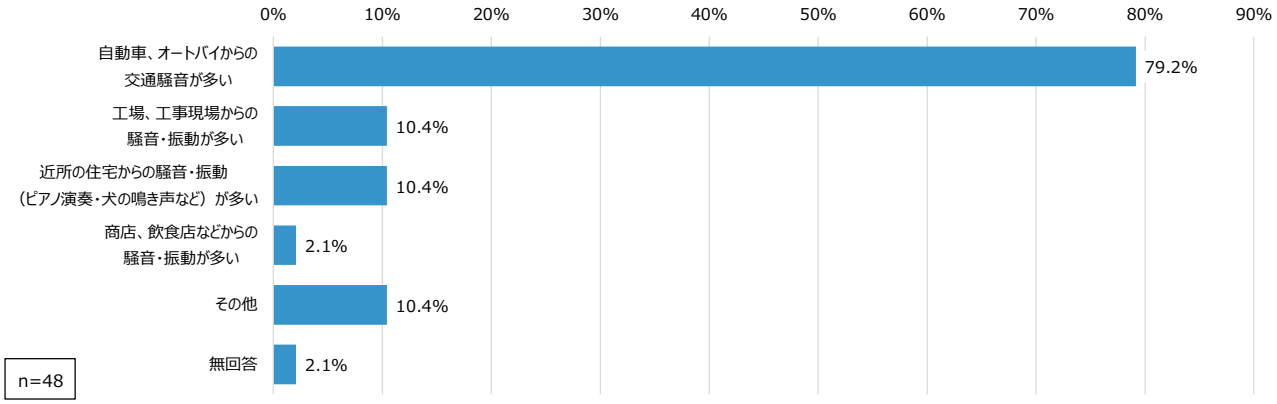
住まい周辺の静けさの満足度については、「満足」が 46.1%で最も多く、次いで「どちらかといえば満足」が 42.6%、「あまり満足していない」が 9.1%などとなっている。



問 26

※問 25 で「あまり満足していない」、「まったく満足していない」を選択した方のみ
なぜそう思いますか。（○はいくつでも）

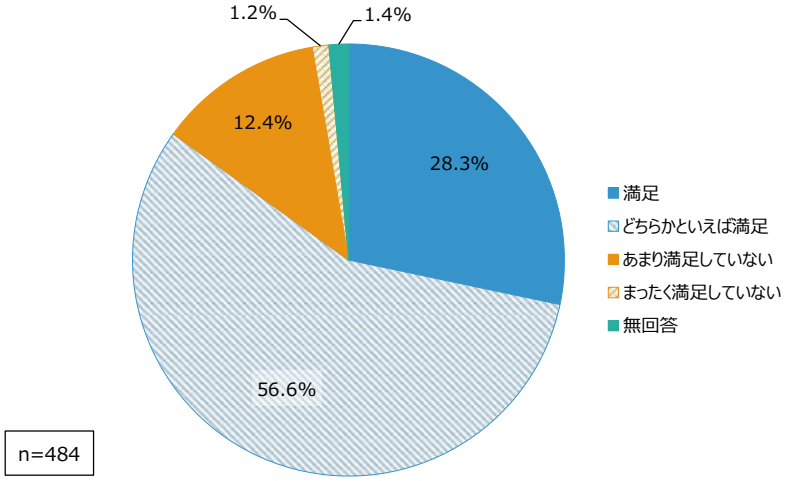
住まい周辺の静けさについて、「あまり満足していない」、「まったく満足していない」と思う理由については、「自動車、オートバイからの交通騒音が多い」が 79.2%で最も多く、次いで「工場、工事現場からの騒音・振動が多い」、「近所の住宅からの騒音・振動（ピアノ演奏・犬の鳴き声など）が多い」が 10.4%などとなっている。



問 27

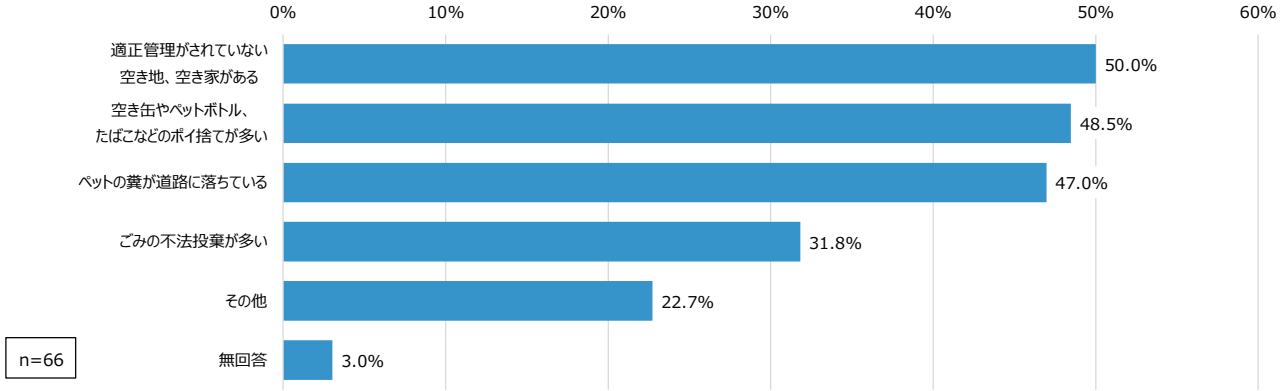
あなたは、お住まいの周辺の清潔さについて、どのくらい満足していますか。（○は 1 つ）

住まい周辺の清潔さの満足度については、「どちらかといえば満足」が 56.6%で最も多く、次いで「満足」が 28.3%、「あまり満足していない」が 12.4%などとなっている。



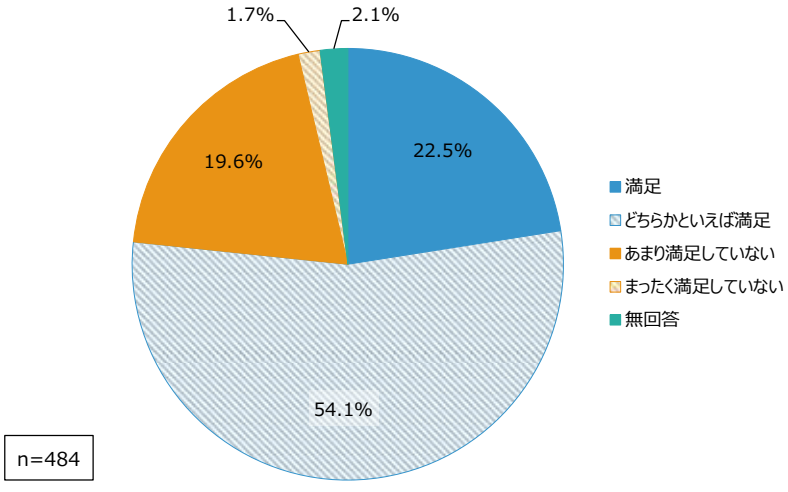
問 28 ※問 27 で「あまり満足していない」、「まったく満足していない」を選択した方のみ
なぜそう思いますか。（○はいくつでも）

住まい周辺の清潔さについて、「あまり満足していない」、「まったく満足していない」と思う理由については、「適正管理がされていない空き地、空き家がある」が 50.0%で最も多く、次いで「空き缶やペットボトル、たばこなどのポイ捨てが多い」が 48.5%、「ペットの糞が道路に落ちている」が 47.0%などとなっている。



問 29 あなたは、お住まいの周辺の緑や公園、景観について、どのくらい満足していますか。（○は 1 つ）

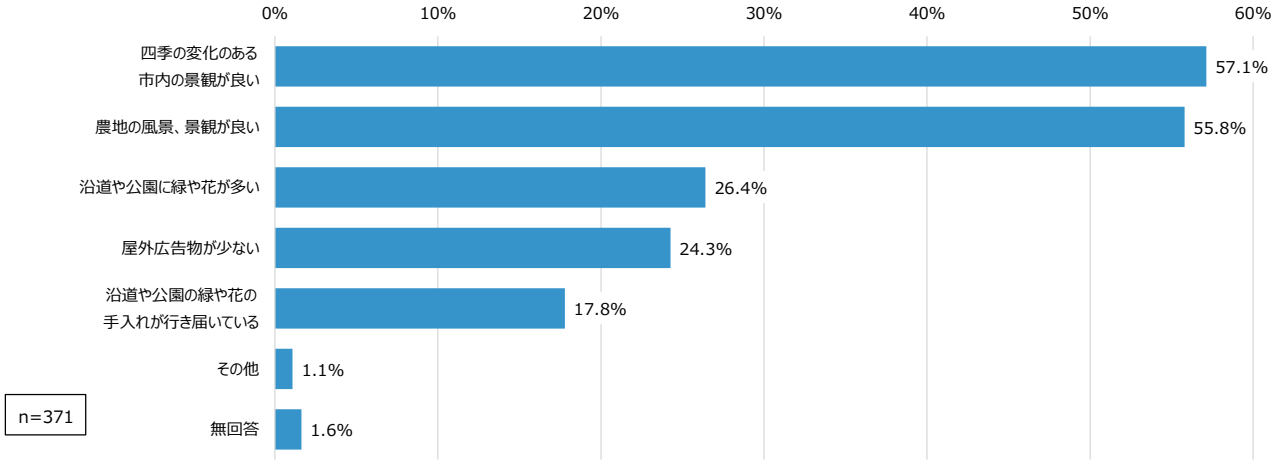
住まい周辺の緑や公園、景観の満足度については、「どちらかといえば満足」が 54.1%で最も多く、次いで「満足」が 22.5%、「あまり満足していない」が 19.6%などとなっている。



問 30

※問 29 で「満足」、「どちらかといえば満足」を選択した方のみ
なぜそう思いますか。（○はいくつでも）

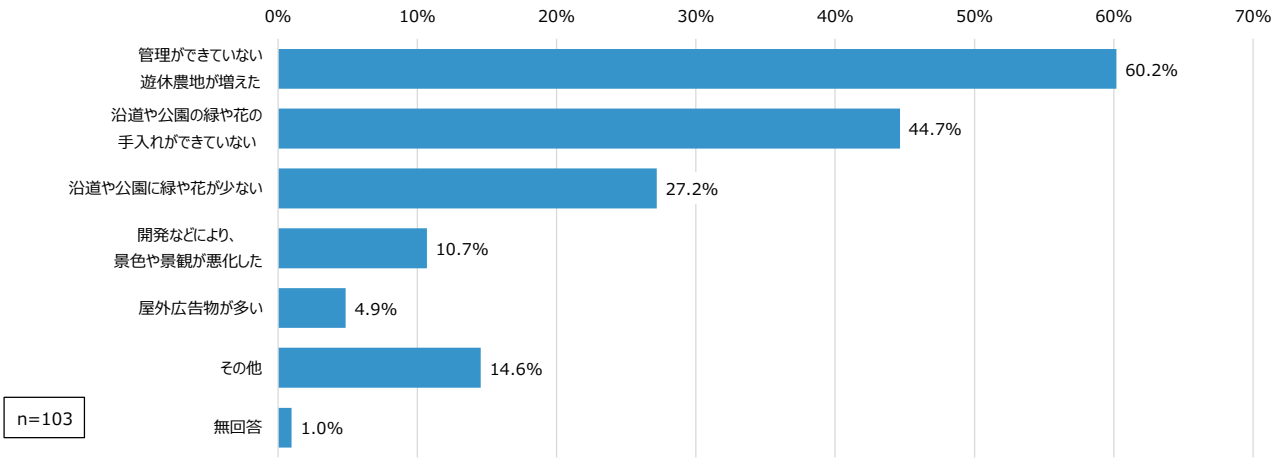
住まい周辺の緑や公園、景観について、「満足」、「どちらかといえば満足」と思う理由については、「四季の変化のある市内の景観が良い」が 57.1%で最も多く、次いで「農地の風景、景観が良い」が 55.8%、「沿道や公園に緑や花が多い」が 26.4%などとなっている。



問 31

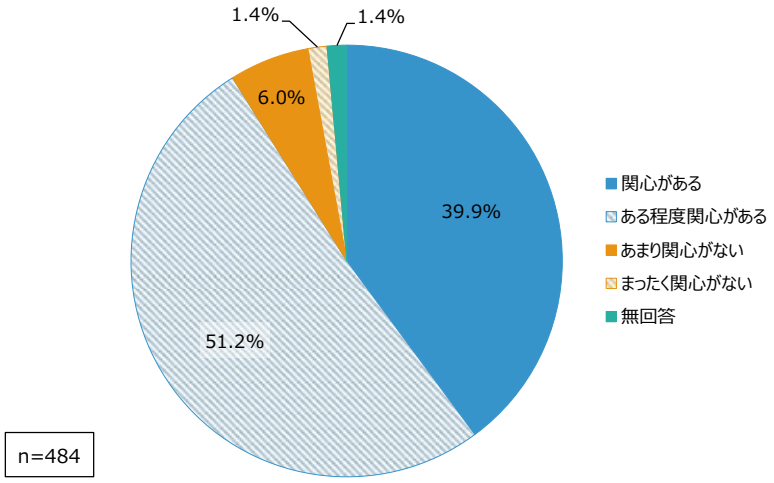
※問 29 で「あまり満足していない」、「まったく満足していない」を選択した方のみ
なぜそう思いますか。（○はいくつでも）

住まい周辺の緑や公園、景観について、「あまり満足していない」、「まったく満足していない」と思う理由については、「管理ができていない遊休農地が増えた」が 60.2%で最も多く、次いで「沿道や公園の緑や花の手入れができていない」が 44.7%、「沿道や公園に緑や花が少ない」が 27.2%などとなっている。



問 32 あなたは、ごみの分別・リサイクル、ごみの減量化について関心がありますか。（○は 1 つ）

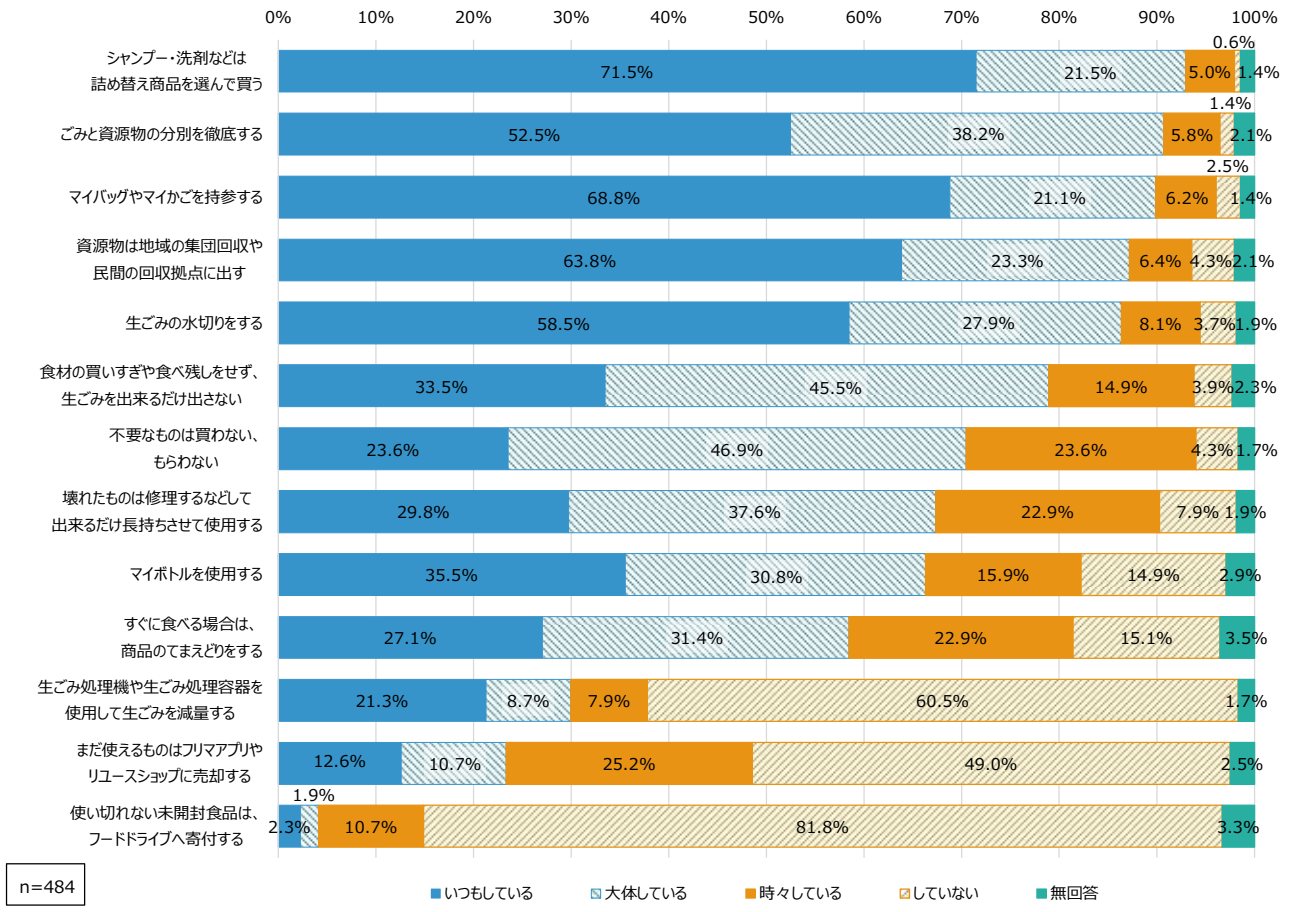
ごみの分別・リサイクル、ごみの減量化の関心度については、「ある程度関心がある」が 51.2%で最も多く、次いで「関心がある」が 39.9%、「あまり関心がない」が 6.0%などとなっている。



問 33	あなたのご家庭では、ごみ減量やリサイクルのためにどのようなことに取り組んでいますか。 （それぞれ○は１つ）

家庭でごみ減量やリサイクルのために取り組んでいることについて、「いつもしている」、「大体している」と回答された取組は「シャンプー・洗剤などは詰め替え商品を選んで買う」が 93.0%で最も多く、次いで「ごみと資源物の分別を徹底する」が 90.7%、「マイバッグやマイかごを持参する」が 89.9%などとなっている。

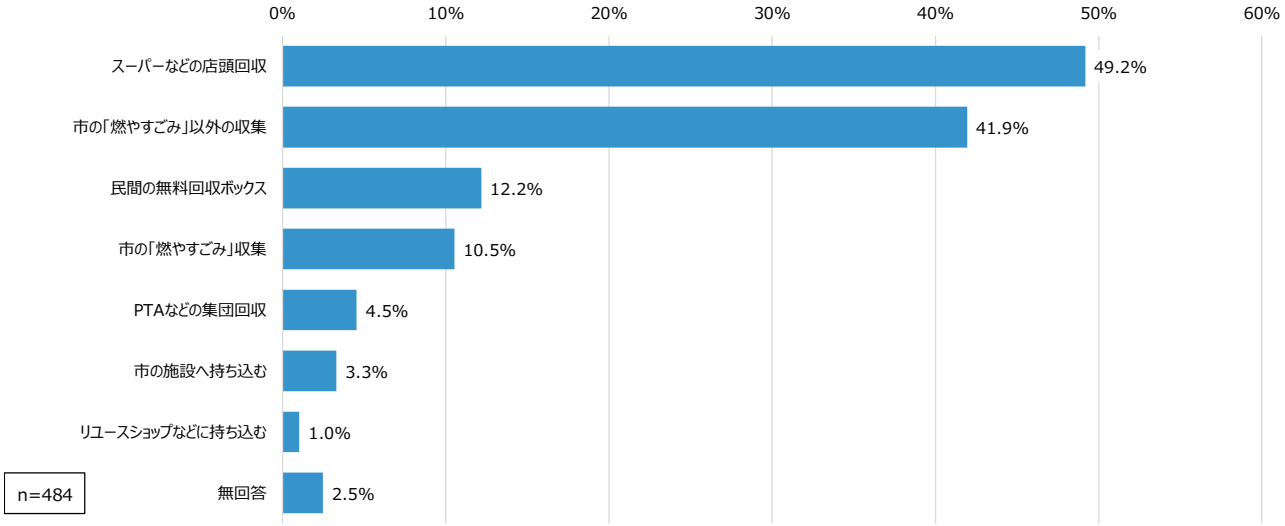
一方、「していない」と回答された取組は、「使い切れない未開封食品は、フードドライブへ寄付する」が 81.8%で最も多く、次いで「生ごみ処理機や生ごみ処理容器を使用して生ごみを減量する」が 60.5%、「まだ使えるものはフリマアプリやリユースショップに売却する」が 49.0%などとなっている。



問 34 あなたは、資源物が不要になったとき、どのように処理していますか。（それぞれ○はいくつでも）

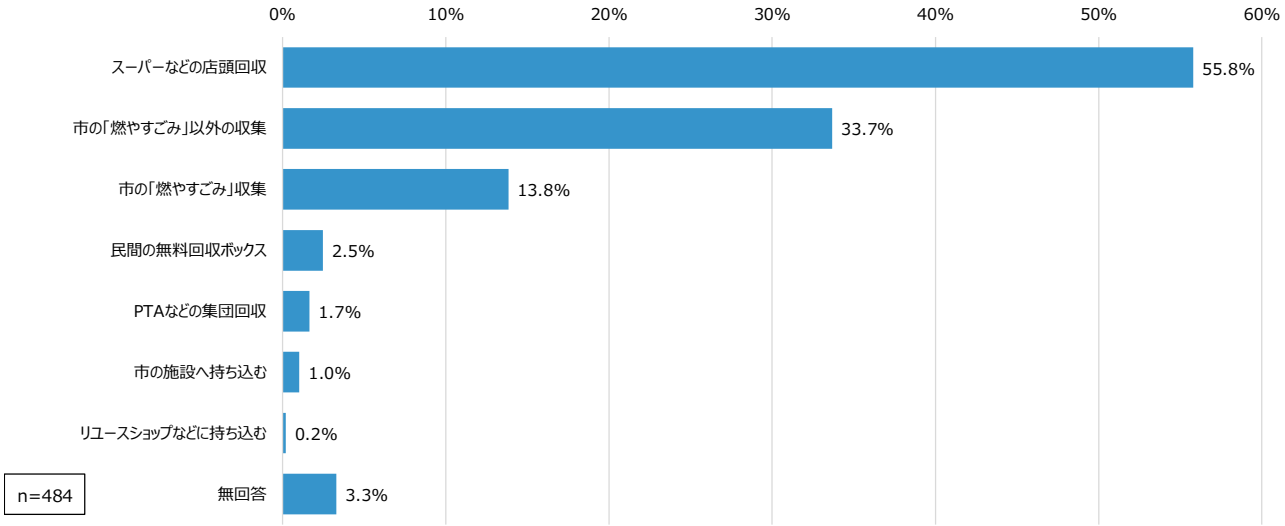
① ペットボトル

ペットボトルの処理方法については、「スーパーなどの店頭回収」が 49.2%で最も多く、次いで「市の『燃やすごみ』以外の収集」が 41.9%、「民間の無料回収ボックス」が 12.2%などとなっている。



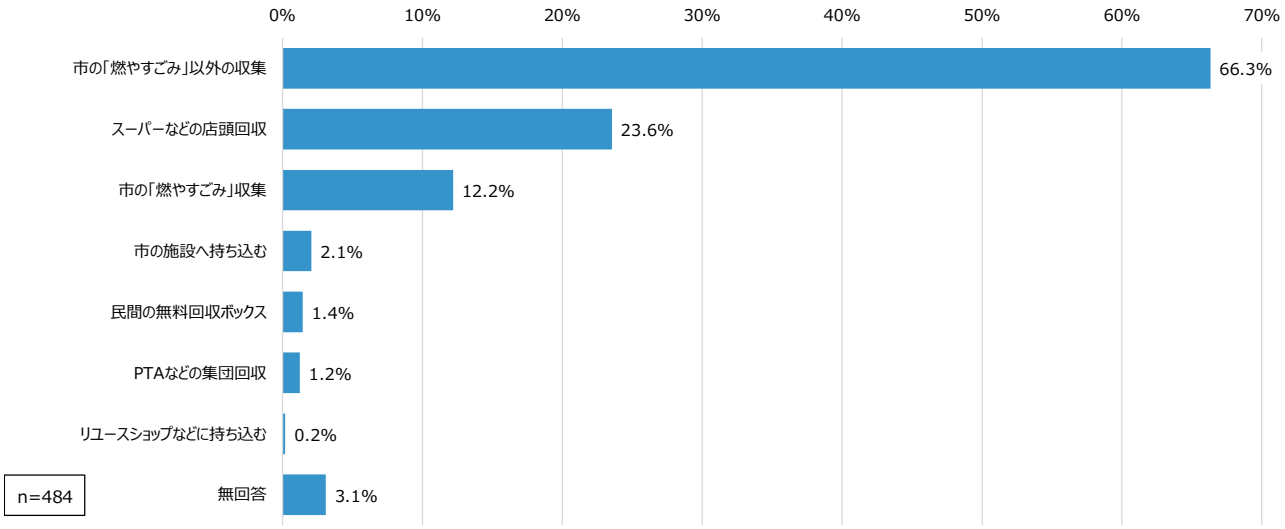
② 食品トレイ

食品トレイの処理方法については、「スーパーなどの店頭回収」が 55.8%で最も多く、次いで「市の『燃やすごみ』以外の収集」が 33.7%、「市の『燃やすごみ』収集」が 13.8%などとなっている。



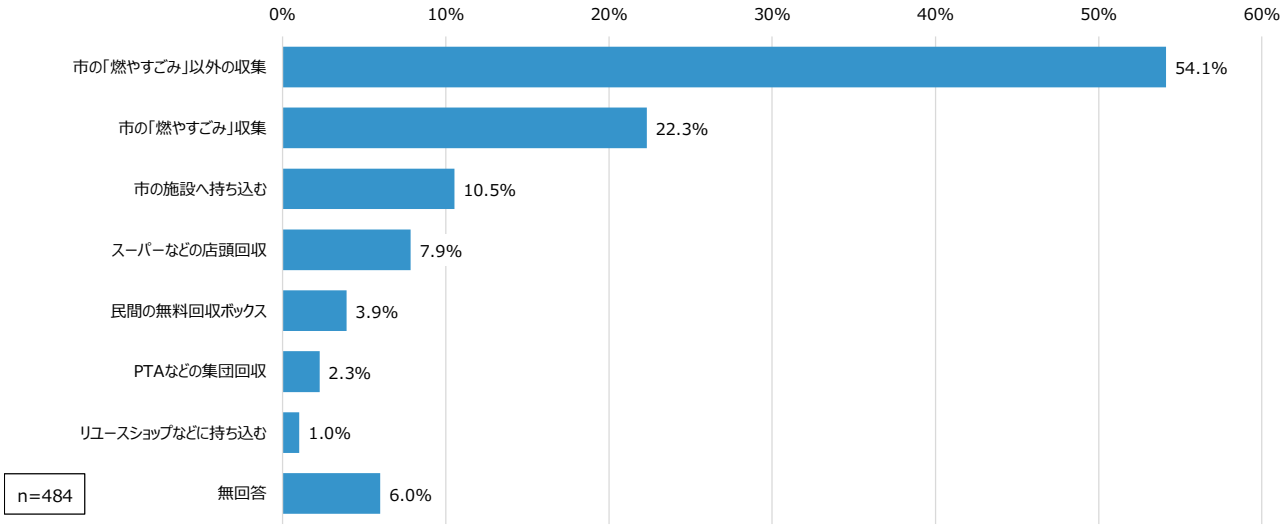
③ プラスチック容器

プラスチック容器の処理方法については、「市の『燃やすごみ』以外の収集」が 66.3%で最も多く、次いで「スーパーなどの店頭回収」が 23.6%、「市の『燃やすごみ』収集」が 12.2%などとなっている。



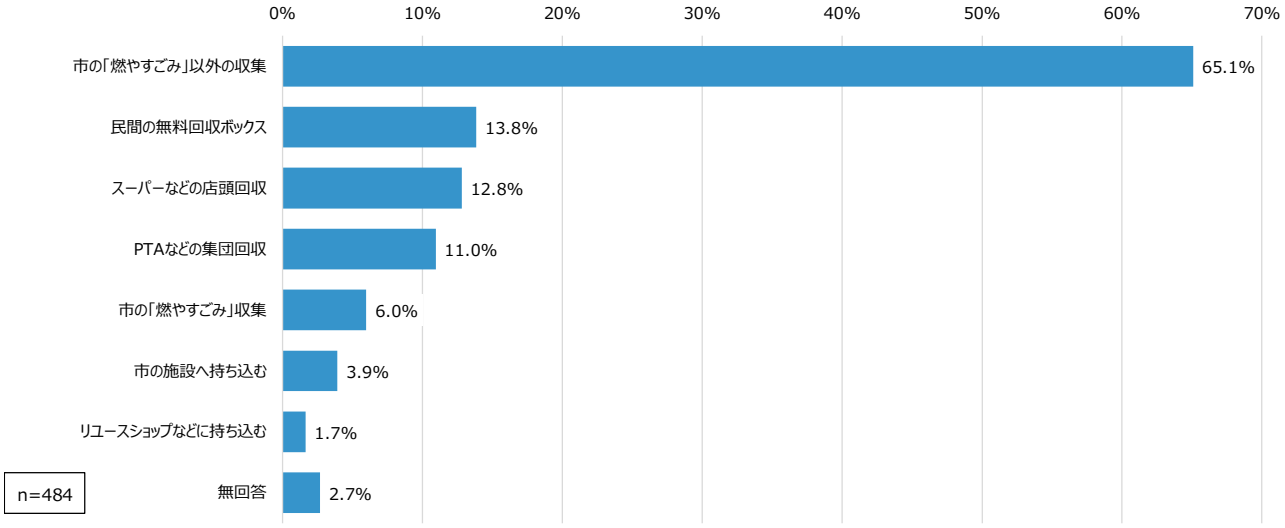
④ ①②③以外のプラスチック製品

①②③以外のプラスチック製品の処理方法については、「市の『燃やすごみ』以外の収集」が 54.1%で最も多く、次いで「市の『燃やすごみ』収集」が 22.3%、「市の施設へ持ち込む」が 10.5%などとなっている。



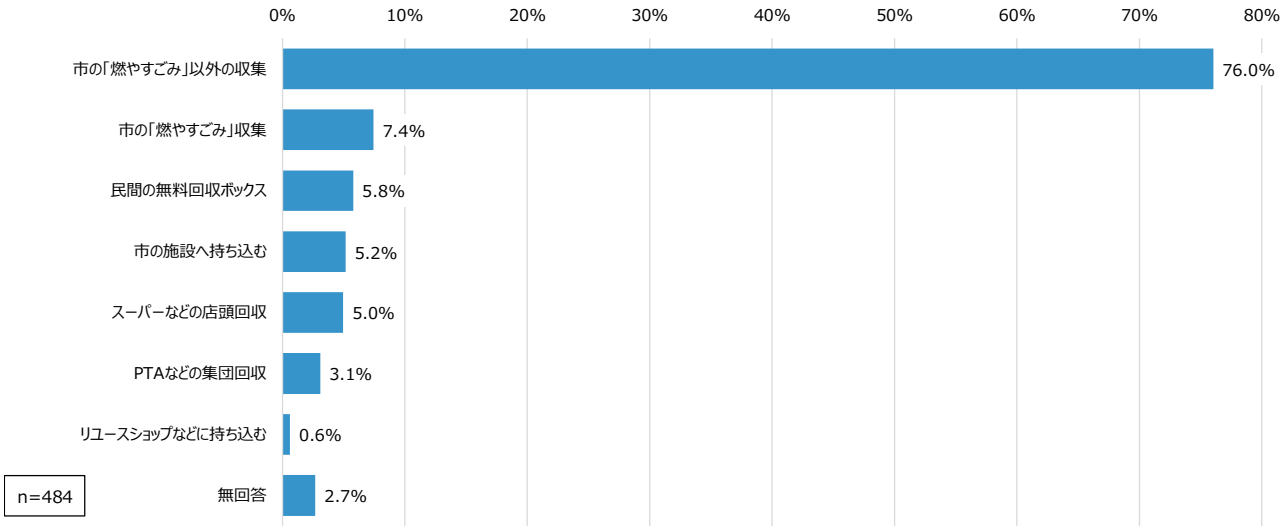
⑤ かん類

かん類の処理方法については、「市の『燃やすごみ』以外の収集」が 65.1%で最も多く、次いで「民間の無料回収ボックス」が 13.8%、「スーパーなどの店頭回収」が 12.8%などとなっている。



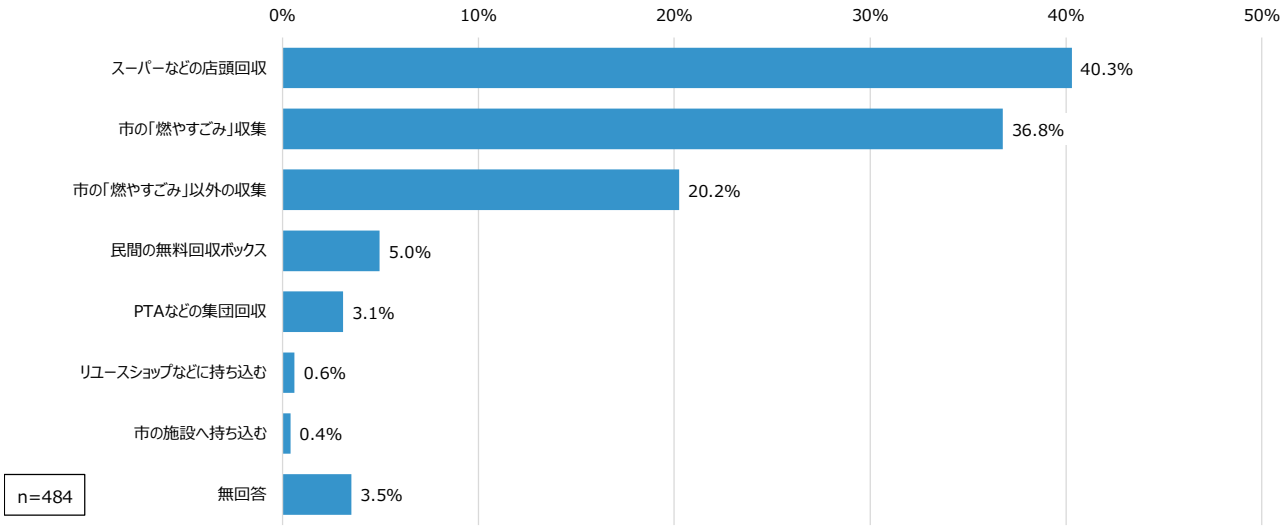
⑥ びん類

びん類の処理方法については、「市の『燃やすごみ』以外の収集」が 76.0%で最も多く、次いで「市の『燃やすごみ』収集」が 7.4%、「民間の無料回収ボックス」が 5.8%などとなっている。



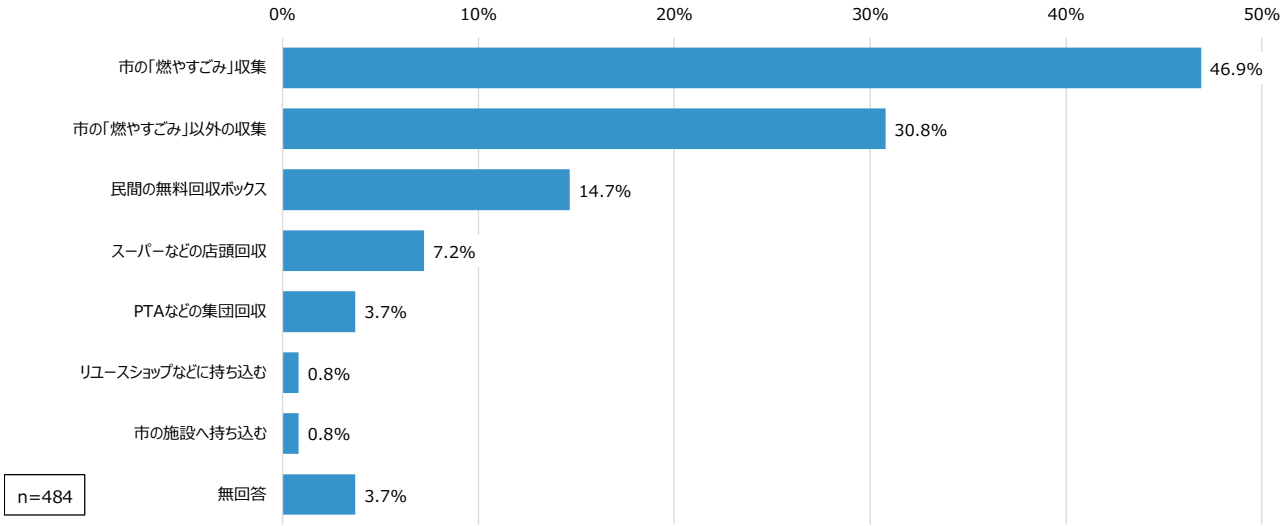
⑦ 飲料用の紙パック

飲料用の紙パックの処理方法については、「スーパーなどの店頭回収」が 40.3%で最も多く、次いで「市の『燃やすごみ』収集」が 36.8%、「市の『燃やすごみ』以外の収集」が 20.2%などとなっている。



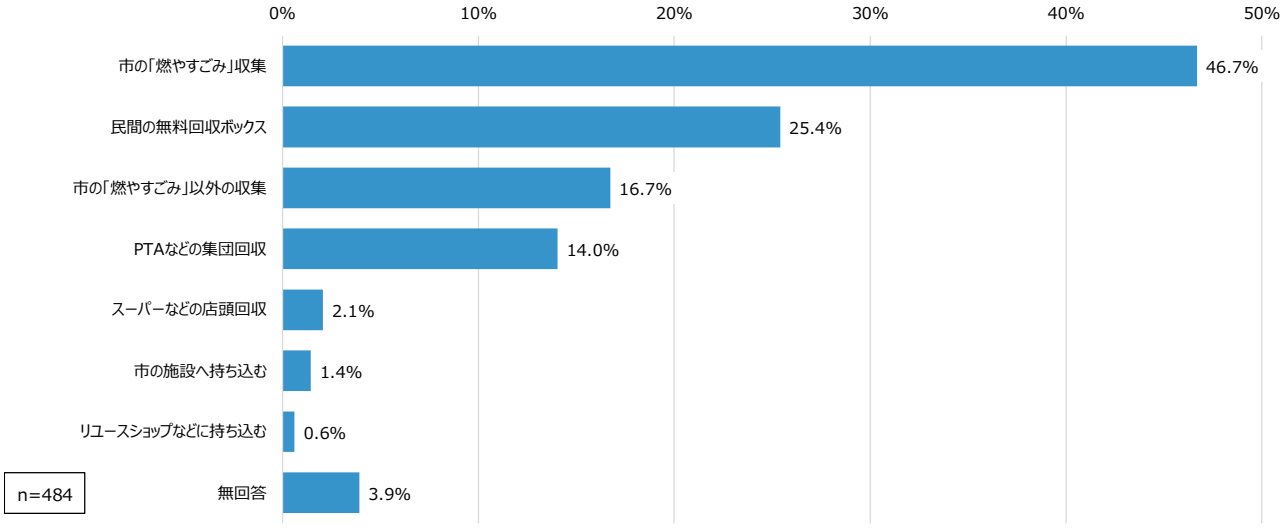
⑧ 紙製容器包装

紙製容器包装の処理方法については、「市の『燃やすごみ』収集」が 46.9%で最も多く、次いで「市の『燃やすごみ』以外の収集」が 30.8%、「民間の無料回収ボックス」が 14.7%などとなっている。



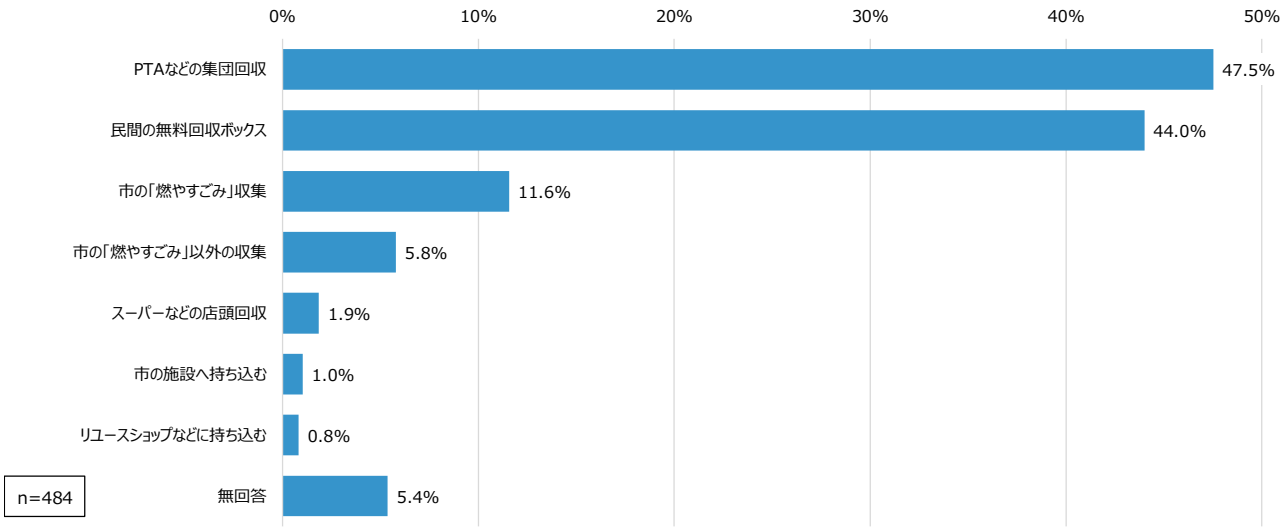
⑨ 雑がみ

雑がみの処理方法については、「市の『燃やすごみ』収集」が 46.7%で最も多く、次いで「民間の無料回収ボックス」が 25.4%、「市の『燃やすごみ』以外の収集」が 16.7%などとなっている。



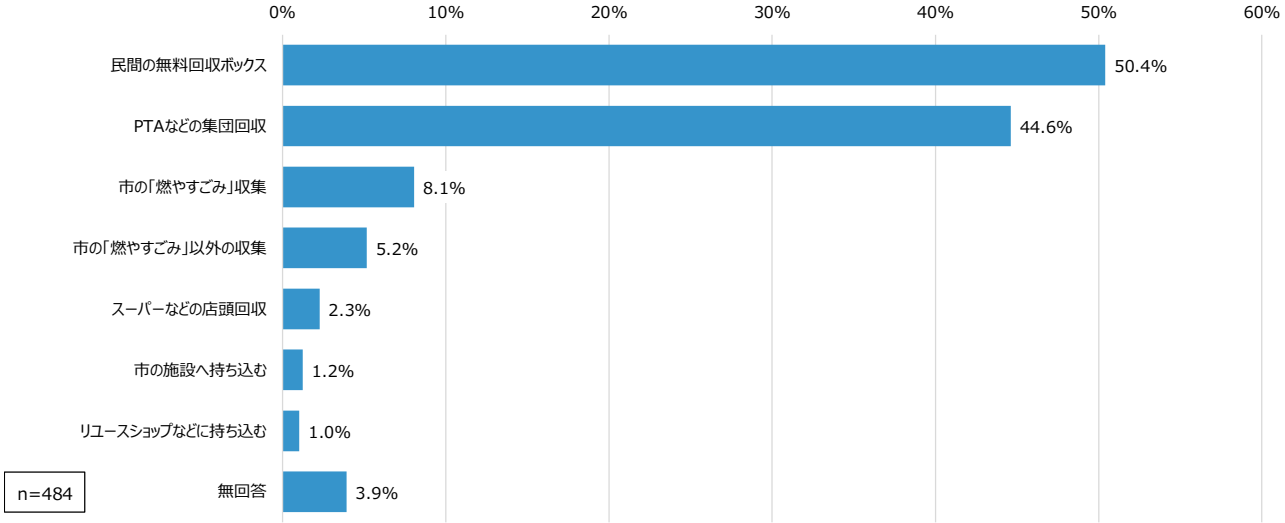
⑩ 新聞

新聞の処理方法については、「PTA などの集団回収」が 47.5%で最も多く、次いで「民間の無料回収ボックス」が 44.0%、「市の『燃やすごみ』収集」が 11.6%などとなっている。



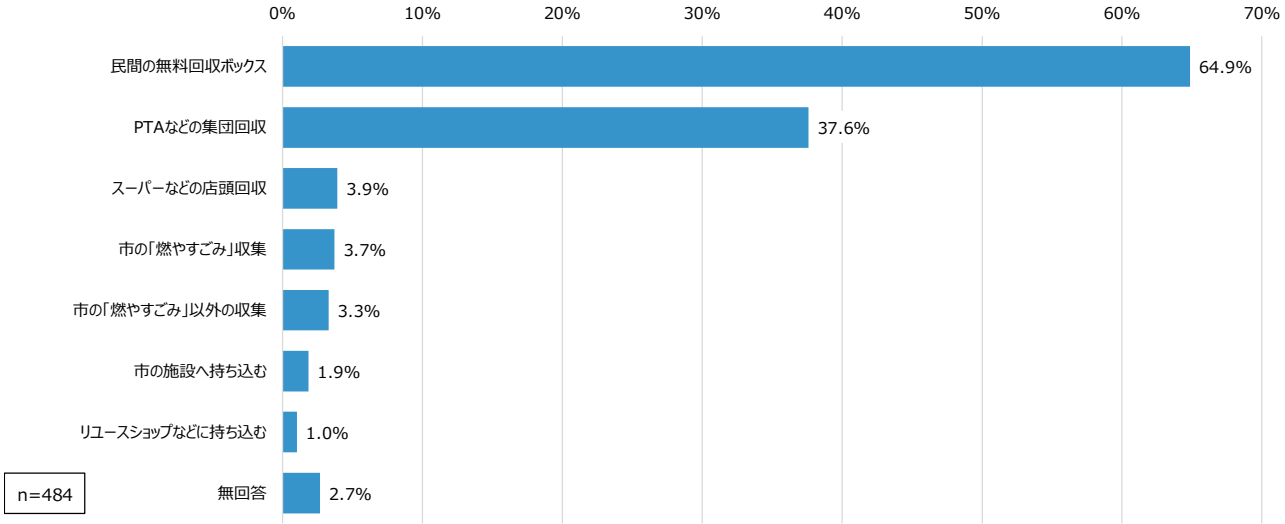
⑪ 雑誌

雑誌の処理方法については、「民間の無料回収ボックス」が 50.4%で最も多く、次いで「PTA などの集団回収」が 44.6%、「市の『燃やすごみ』収集」が 8.1%などとなっている。



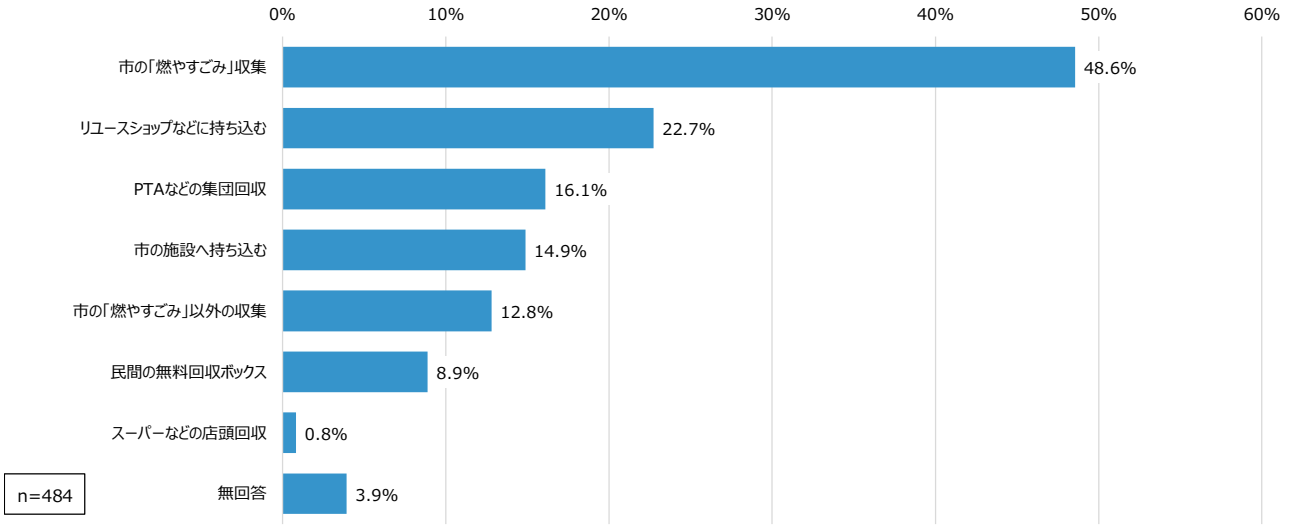
⑫ 段ボール

段ボールの処理方法については、「民間の無料回収ボックス」が 64.9%で最も多く、次いで「PTA などの集団回収」が 37.6%、「スーパーなどの店頭回収」が 3.9%などとなっている。



⑬ 衣類・布類

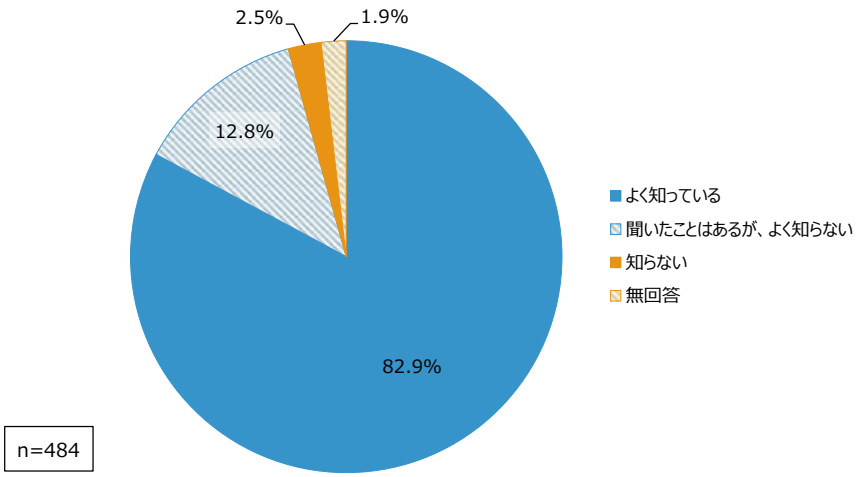
衣類・布類の処理方法については、「市の『燃やすごみ』収集」が 48.6%で最も多く、次いで「リユースショップなどに持ち込む」が 22.7%、「PTA などの集団回収」が 16.1%などとなっている。



4 地球温暖化について

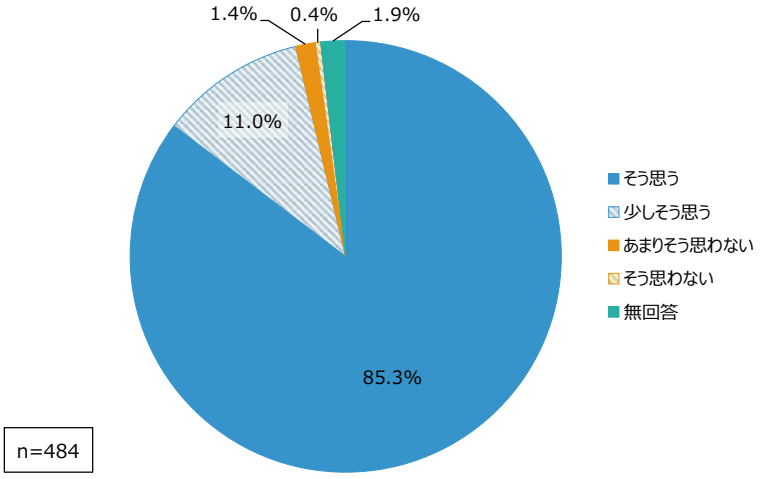
問 35 あなたは、近年、二酸化炭素（CO_2）の増加により気温が上昇する「地球温暖化」が進んでいることを知っていますか。（○は 1 つ）

近年、二酸化炭素（CO_2）の増加により気温が上昇する地球温暖化が進んでいることの認知度については、「よく知っている」が 82.9%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が 12.8%、「知らない」が 2.5%となっている。



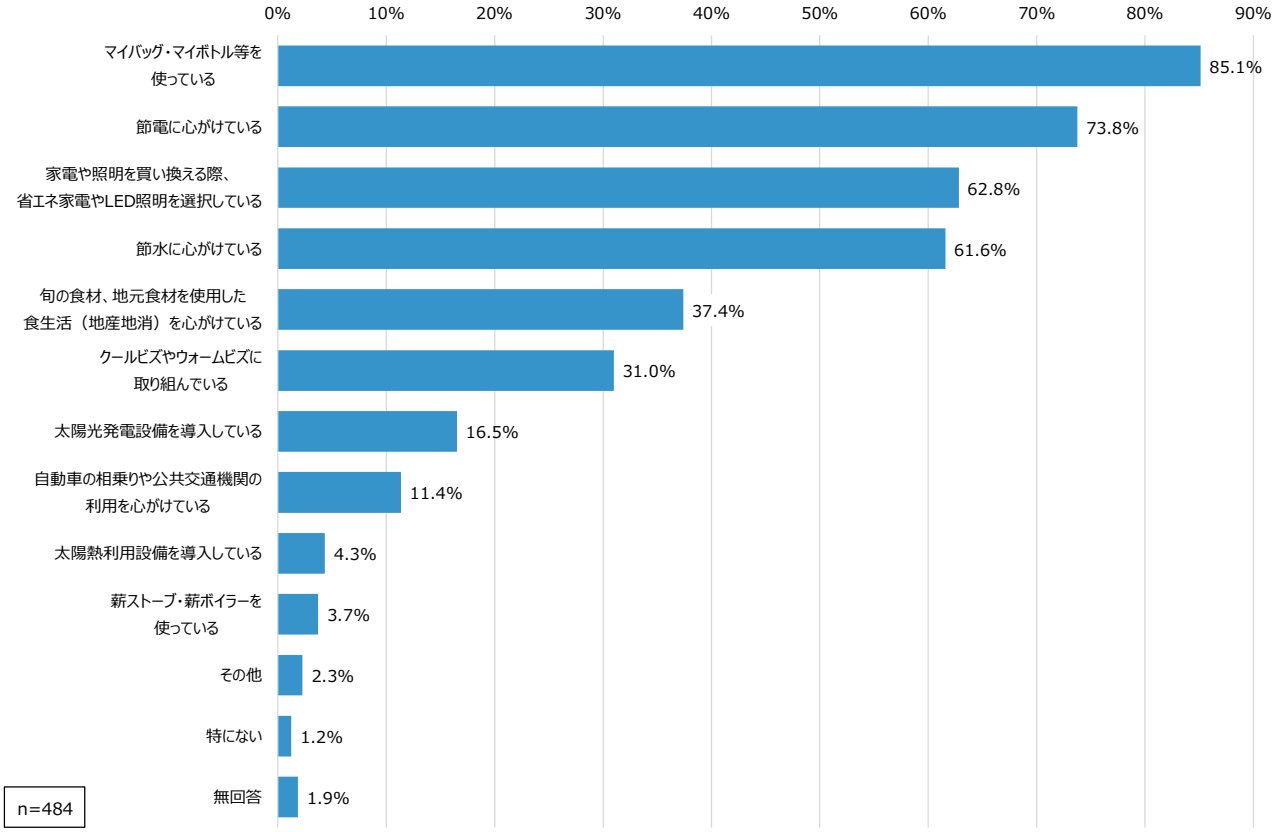
問 36	あなたは、猛暑日や大雨の頻度の増加など、気象及び気候の極端な現象の発生頻度が高まっていると思いますか。（○は１つ）

猛暑日や大雨の頻度の増加など、気象及び気候の極端な現象の発生頻度が高まっていることの認識については、「そう思う」が 85.3%で最も多く、次いで「少しそう思う」が 11.0%、「あまりそう思わない」が 1.4%などとなっている。



問 37 あなたが普段行っている行動はありますか。（○はいくつでも）

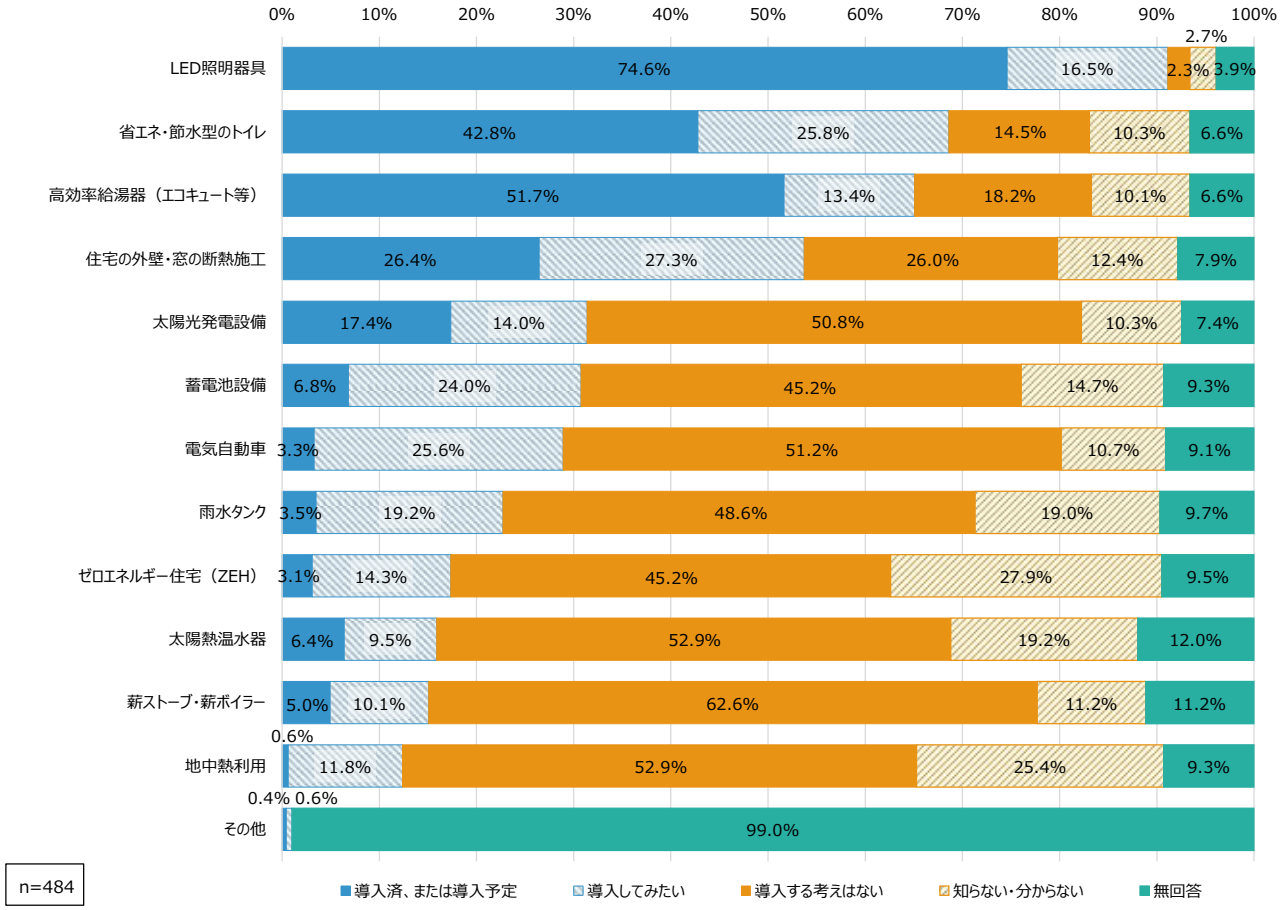
普段行っている行動については、「マイバッグ・マイボトル等を使っている」が 85.1%で最も多く、次いで「節電に心がけている」が 73.8%、「家電や照明を買い換える際、省エネ家電や LED 照明を選択している」が 62.8%などとなっている。



問 38	ご家庭で利用している、または今後利用したい省エネルギー設備はありますか。 （それぞれ○は 1 つ）

省エネルギー設備について、「導入済、または導入予定」、「導入してみたい」と回答されたのは、「LED 照明器具」が 91.1%で最も多く、次いで「省エネ・節水型のトイレ」が 68.6%、「高効率給湯器（エコキュート等）」が 65.1%などとなっている。

一方、「導入する考えはない」と回答されたのは、「薪ストーブ・薪ボイラー」が 62.6%で最も多く、次いで「太陽熱温水器」及び「地中熱利用」が 52.9%などとなっている。

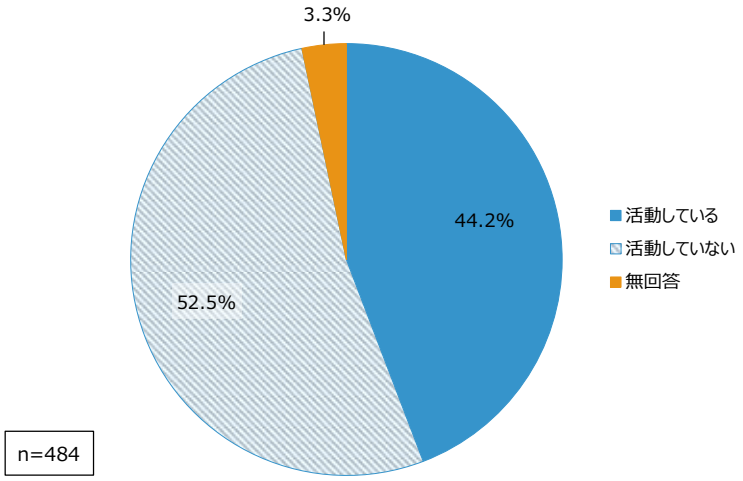


ゼロエネルギー住宅（ZEH）とは、快適な室内環境を保ちながら、住宅の高断熱化と高効率設備によりできる限りの省エネルギーに努め、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、1 年間で消費する住宅のエネルギー量が正味（ネット）で概ねゼロ以下となる住宅のことです。

5　環境保全活動について

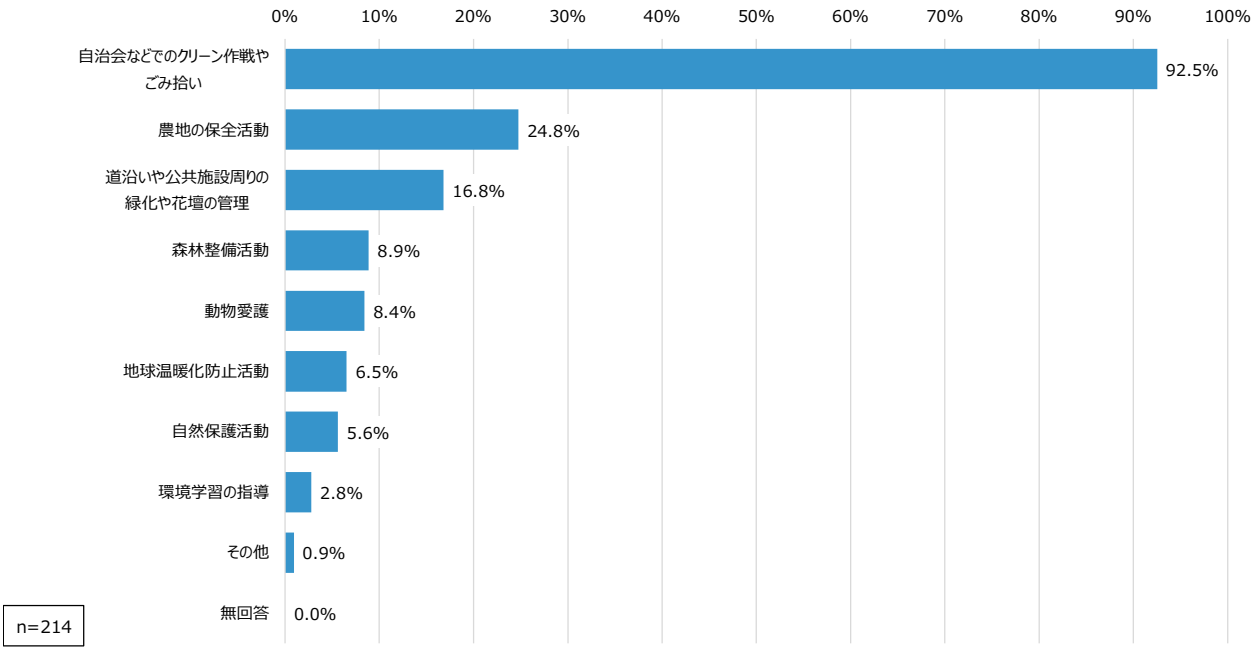
問 39　あなたは、環境を良くするための活動を行っていますか。（○は 1 つ）

環境を良くするための活動の取組状況については、「活動していない」が 52.5%、「活動している」が 44.2%となっている。



問 40　※問 39 で「活動している」を選択した方のみ
それは、どのような活動ですか。（○はいくつでも）

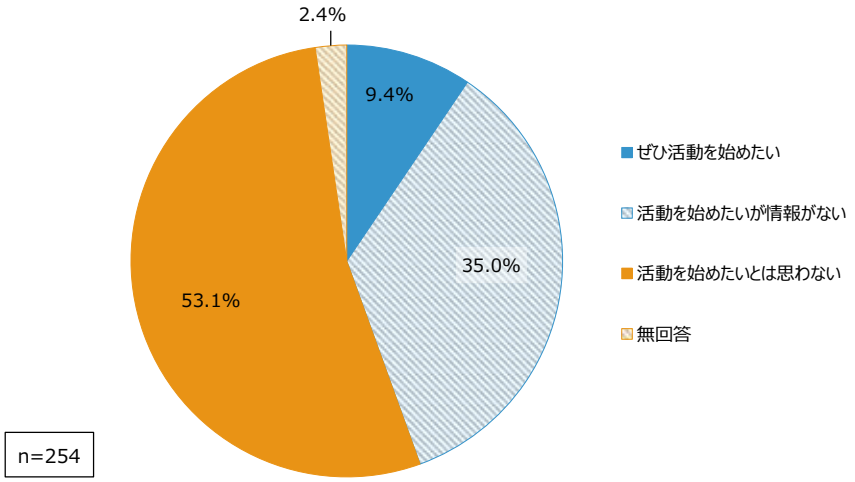
環境を良くするための活動の取組内容については、「自治会などでのクリーン作戦やごみ拾い」が 92.5%で最も多く、次いで「農地の保全活動」が 24.8%、「道沿いや公共施設周りの緑化や花壇の管理」が 16.8%などとなっている。



問 41

※問 39 で「活動していない」を選択した方のみ
これから活動を始めたいと思いますか。（○は 1 つ）

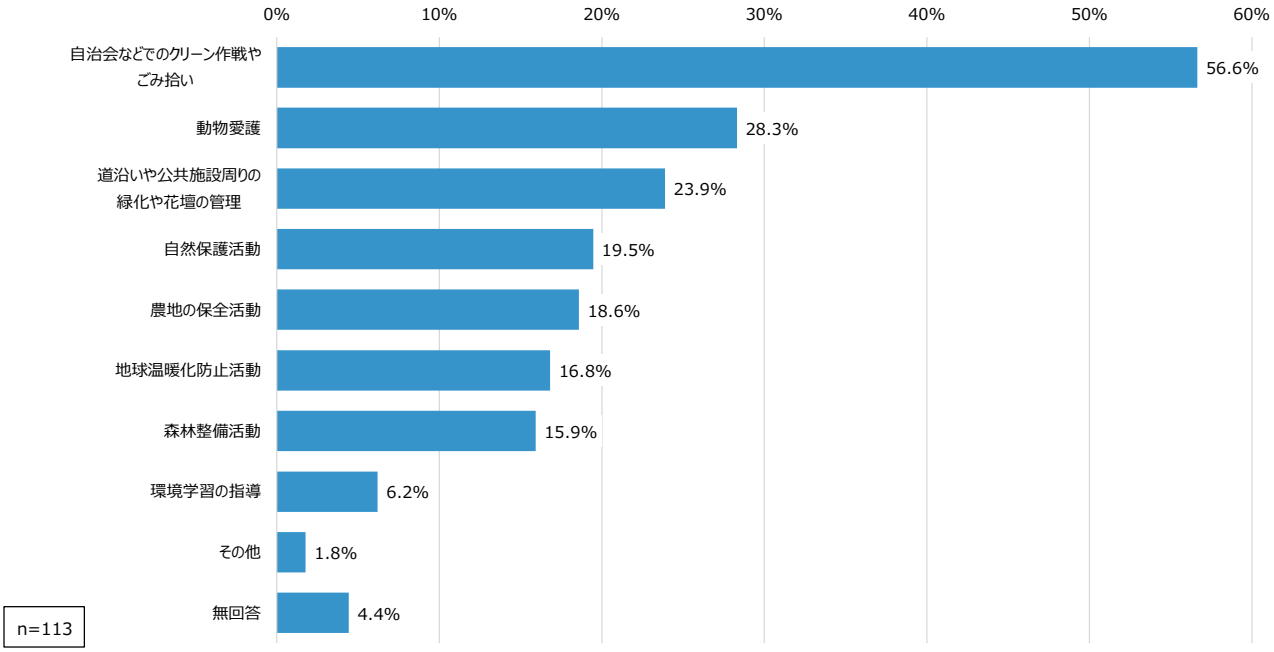
環境を良くするための活動の取組意向については、「活動を始めたいとは思わない」が 53.1%で最も多く、次いで「活動を始めたいが情報がない」が 35.0%、「ぜひ活動を始めたい」が 9.4%となっている。



問 42

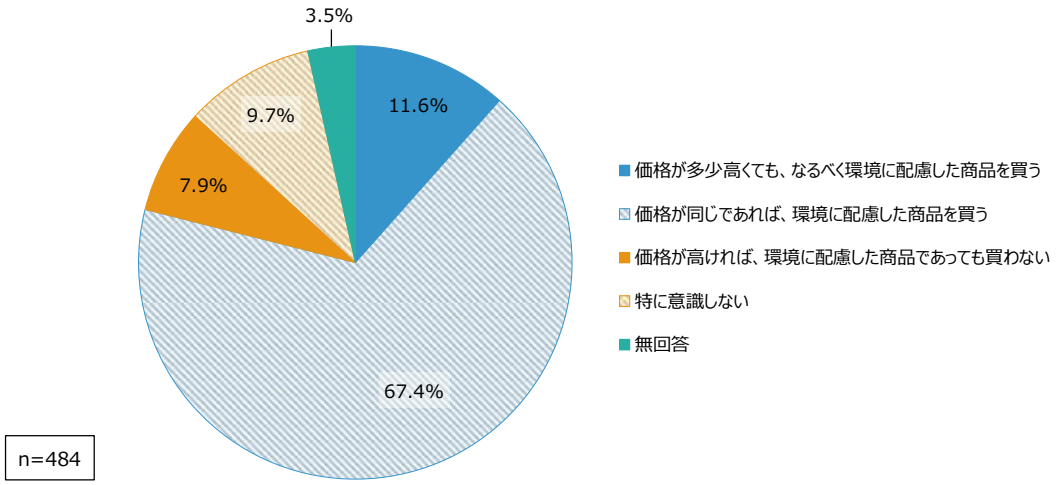
※問 41 で「ぜひ活動を始めたい」、「活動を始めたいが情報がない」を選択した方のみ
どのような活動を始めたいですか。（○はいくつでも）

環境を良くするための活動で取組意向がある内容については、「自治会などでのクリーン作戦やごみ拾い」が 56.6%で最も多く、次いで「動物愛護」が 28.3%、「道沿いや公共施設周りの緑化や花壇の管理」が 23.9%などとなっている。



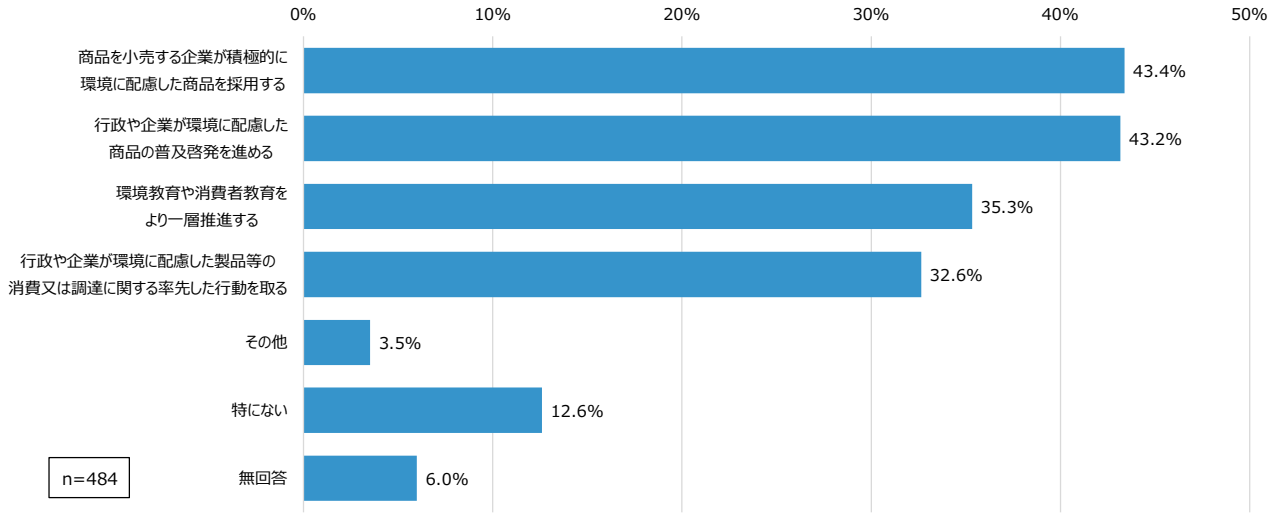
問 43 あなたは、環境に配慮した商品を買う際の価格について、どのように考えますか。（○は 1 つ）

環境に配慮した商品を買う際の価格の考え方については、「価格が同じであれば、環境に配慮した商品を買う」が 67.4%で最も多く、次いで「価格が多少高くても、なるべく環境に配慮した商品を買う」が 11.6%、「特に意識しない」が 9.7%などとなっている。



問 44 あなたは、どのような取組を行うことで環境に配慮した商品の利用が進むと思いますか。（○はいくつでも）

環境に配慮した商品の利用を進めるための取組については、「商品を小売する企業が積極的に環境に配慮した商品を採用する」が 43.4%で最も多く、次いで「行政や企業が環境に配慮した商品の普及啓発を進める」が 43.2%、「環境教育や消費者教育をより一層推進する」が 35.3%などとなっている。

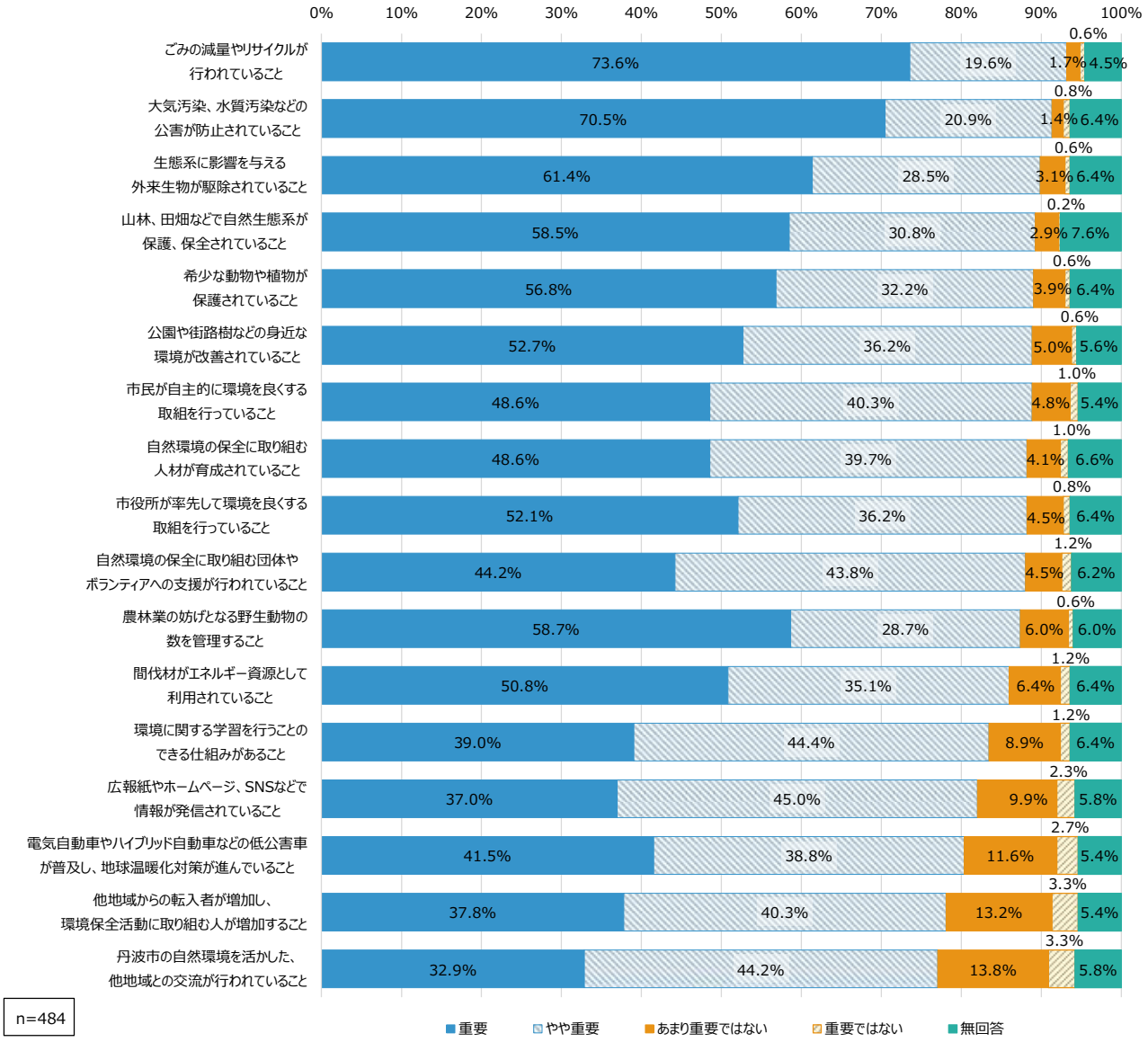


問 45	あなたにとって、次の環境項目に対する取組は、どの程度重要ですか。また、それぞれの項目の現在の状態にどの程度満足されていますか。（重要度、満足度について、それぞれ○は１つ）

■重要度

取組の重要度について、「重要」、「やや重要」と回答されたのは、「ごみの減量やリサイクルが行われていること」が 93.2%で最も多く、次いで「大気汚染、水質汚染などの公害が防止されていること」が 91.4%、「生態系に影響を与える外来生物が駆除されていること」が 89.9%などとなっている。

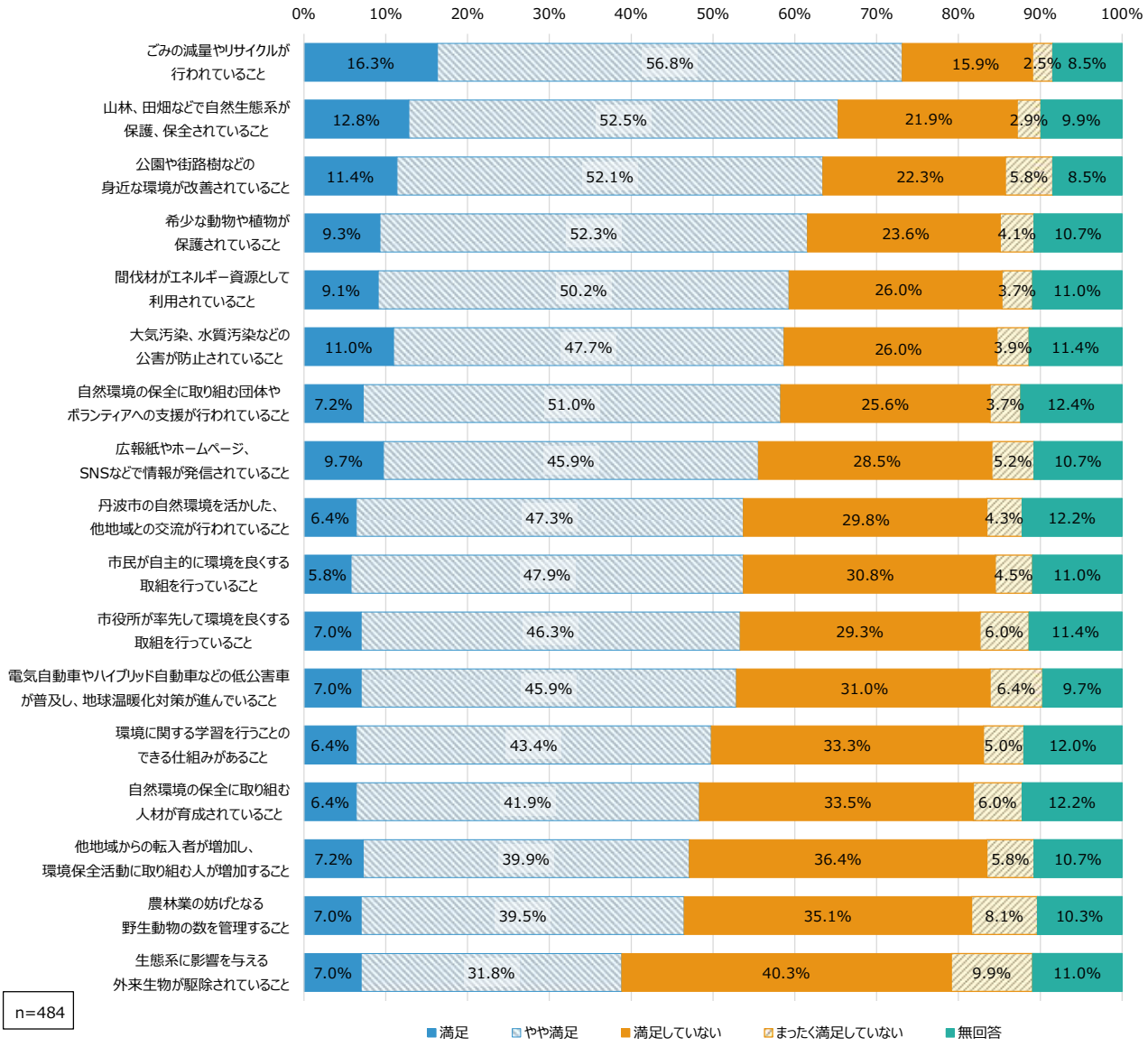
一方で、「あまり重要ではない」、「重要ではない」と回答されたのは、「丹波市の自然環境を活かした、他地域との交流が行われていること」が 17.1%で最も多く、次いで「他地域からの転入者が増加し、環境保全活動に取り組む人が増加すること」が 16.5%、「電気自動車やハイブリッド自動車などの低公害車が普及し、地球温暖化対策が進んでいること」が 14.3%などとなっている。



■満足度

現在の状態の満足度について、「満足」、「やや満足」と回答されたのは、「ごみの減量やリサイクルが行われていること」が 73.1%で最も多く、次いで「山林、田畑などで自然生態系が保護、保全されていること」が 65.3%、「公園や街路樹などの身近な環境が改善されていること」が 63.5%などとなっている。

一方で、「満足していない」、「まったく満足していない」と回答されたのは、「生態系に影響を与える外来生物が駆除されていること」が 50.2%で最も多く、次いで「農林業の妨げとなる野生動物の数を管理すること」が 43.2%、「他地域からの転入者が増加し、環境保全活動に取り組む人が増加すること」が 42.2%などとなっている。



6 その他

問 46	丹波市内で残したいと思う自然はありますか。生き物や場所などがある場合は、具体的にお書きください。

■自由意見

（1）生き物

ホタル（14）	ヒメボタル（3）
オオムラサキ（2）	野鳥（2）
ゲンジボタル	ヒグラシ
モリアオガエル	オオサンショウウオ
ツバメ	スズメ
アサギマダラ	アキアカネ
メダカ	カエル
オタマジャクシ	希少生物
山の生き物	カタクリ（9）
セツブンソウ（4）	クリンソウ（2）
四季折々の花（2）	ササユリ
コバノミツバツツジ	野草

（2）場所

小学校の裏山（3）	高見城山（2）
金山（2）	三尾山（2）
丹波富士	譲葉山
城山	五大山
甲賀山	蛇山
岩尾城山	向山連山
鎮守の森	川代渓谷（2）
今出のせせらぎ園とその付近くの川（2）	青垣町の川（2）
美和川	黒井川
鴨庄川	独鈷の滝
水分れ公園（7）	丹波年輪の里（5）
黒井城跡（3）	丹波の森公苑（2）
清住のコスモス畑（2）	鐘ケ坂公園（2）
鬼の架け橋（2）	旧丹波少年自然の家とその周辺の自然（2）

石龕寺とその周辺の自然（2）	ひかみ四季菜館の周辺の自然
中央分水界の径	稲土のほたるの里
青垣いきものふれあいの里	三ツ塚史跡公園
日ヶ奥渓谷キャンプ場	柏原八幡宮
高山寺	木の根橋
県総合庁舎のイチョウ黄葉	市内にたくさんある桜の名所、紅葉が見られるお寺

（３）風景

山林（26）	紅葉（12）
里山（2）	広葉樹林（2）
河川（13）	田畑（8）
田園風景（6）	桜並木（17）
公園（3）	花（2）
四季を感じることができる場所	丹波霧
池	滝
湿地帯	柏原八幡宮の夕景
星空	現在の風景
現在ある施設や公園等	

（４）自然の恵み

丹波三宝	アマゴ
農産物	食べ物

（５）その他

現在の自然（6）	空気のきれいさ（5）
きれいな水（2）	生き物の鳴き声（2）
丹波市特有の地形である水分れの自然環境	四季の豊かさ
街の灯りの少なさ	静かなところ
東北ではクマによる被害が報道されているが、共生できる道はないのか。里山を有効利用するなど。人間の勝手で駆除される動物たちに申し訳ない気持ちでいっぱいです。シカやクマ、イノシシと程よい距離をとり、共に暮らせる社会になるといいなと思いました。	
生態系など難しいことは分かりませんが、自分が子どもの頃見ていた環境からあまりに変化していると寂しい気持ちになります。人口が減少しており、学校がどんどん閉校になっているのも同様です。来てもらえる街であってほしいと思います。田んぼや畑など農業に携わってくださる方々を応援できる市であってほしいと思います。	

少子高齢化となり遊ぶところがあっても利用しない。草刈り等管理するマンパワーがないと遊べない。各自治会の課題ではあるが、利用できるように継続できたらよい。空き家の庭や周囲の管理も心配。草や老朽化で美観が失われる心配もある。
残したくない自然はない。自然と共生することが人間らしく暮らすのに最も重要だと思う。
現在、太陽光パネルがたくさん設置され始め、山や田んぼが減少しつつある。持続可能なエネルギー源に変えていくのは、地球温暖化が進む中ですごく重要視されているが、それを１つ設置する度に消えてしまう自然にも目を向けてほしいと思う。
丹波市に唯一残る１億年前の地層（篠山層群）の自然を大事に残してほしい。現代の生き物ほか古代に活きた生物（化石）の地層を大事に保存し、活用してほしい。

問 47	10 年後の丹波市の環境がどのようになっていることを望みますか。 その他、丹波市の環境に関連して何かご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

■自由意見

（１）ごみ処理･ごみ捨てについての意見（13 件）

ポイ捨てがなくなっていてほしい。
ポイ捨てゼロ
ごみステーションをすべて箱型にし、カラスなどの被害をなくし、きれいな街にしたい。ごみ収集の方にも迷惑をかけているので。そのためにも、箱型ごみステーション設置の補助を今以上にしてほしい。また、拠点回収の拠点がよく分からないのでもっとアナウンスしてほしいのと、市役所に拠点を設けるとともに、古着回収も行ってほしい。
車に乗っていてもごみのポイ捨てが見えないことを望みます。
川沿いのごみ捨てが少なくなっていてほしい。（できればごみの廃棄がなくなっていてほしい）
未だに食品トレイ、ペットボトルの空をごみで出す人がいる。トレイはスーパーなどの回収に出して！！リサイクルの更なる取組を広げていただきたい。
ごみが落ちていない自然や公園が当たり前のこと。
地域でのごみが無造作に捨てられていない。
川や山、道などのポイ捨てがなくなっているとよい。
集合住宅などに住んでいると、キエーロを試してみたくてもスペース的なことや管理的に難しくてできない。生ごみ削減の方法として有効なようで興味はあるが、アパートの人でも使用できるといいなと思う。（各不動産屋にかけあって、設置をすすめるとか？）
ごみが落ちておらず、空気が澄んでいる街。
ごみ袋を以前の袋に戻してほしい。
ごみ袋の名前記入について、ルールを守らせるための抑止力だと認識していますが、このプライバシーの時代にやっぱり名前の記入は非常に抵抗感があります。というか、ルールを守らない人間は名前書いてないです。

（２）福祉･生活の利便性についての意見（10 件）

道路上にはみ出た木の伐採と言いますか、環境整備から進めていけたらと思います。一番目につきやすいところです。
整備された道路と歩道があってほしい。
JR 駅の整備（電車の利用）
自分の年が 80 歳代に近づくにつれて、田舎で暮らしたいが自動車を使わない生活ができるのか不安があり、一人暮らしになったらここに住めないかもしれないと考え始めています。
自転車で走りやすい道にしてほしいです。ガタガタ道や細い道もあるため安全にしてほしい。
自然を残しつつも、老人や車の運転のできない者に対し交通の便利さもほしいです。
道路環境が悪い。交通安全にも影響しており、最悪の状態である。

車が運転できない人も自由に行きたい場所へ行きたい時に行ける住みやすい環境。
老人が不便を感じないような環境。
支援の充実。赤ちゃんから老人まで全ての人々が住みやすい環境づくり。

（３）自然環境の保全・整備、動植物についての意見（51 件）

豊かな自然を残したまま、より住みやすい街になっている。
カブトムシ、クワガタムシがたくさんいる環境
シカが道路に飛び出さない。もしくは飛び出しても処理が早い。
10 年後も、自然環境は現状の規模で良いと思います。
人と自然とが当たり前に溶け込んでいる環境になっているといいなと考えます。自然があってこその人間社会というように、常に自然の恩恵に感謝している市になっていればいいなと思います。
自然環境の荒廃が進んでいないでほしい。
自然豊かであってほしい。
在来種が増え、ごみの量が減りきれいな街並みであることを望みます。
春夏秋冬の四季が感じられる環境づくり
山や川の景色がきれいで変わらないことを望む。
野生動物の侵入防止
丹波市の自然は美しいと思っています。10 年後も美しさが保たれていることを願っております。
今と変わらない自然溢れる街
山や川、木々や田んぼなど、四季折々の風景が今と変わらないことを望みます。
クマが怖い。
今の自然溢れる環境が残っていてほしい。
子どもが外で元気よく遊べる自然環境
山へ入る人が増えて、伐期を過ぎた木が切り出され、山の観光産業など、木を施業し、販売だけではない方法の林業に興味を持つ方が増えたら、すごいと思います。
自然が美しいと感じる場所を残し続けること。
クマ、シカの出没が減少すること。
自然がこれ以上減らないようにしていきたい。
適度な都市開発は望むところであり、自然が犠牲になるのはやむを得えないでしょう。しかしそこに住む生き物はきちんと保護し、別の場所に移すことは徹底していただきたい。
いつまでもきれいな田園風景が残っていることを期待する。
便利になっていくのは有難いですが、自然がなくなってしまわないことを望みます。クマの被害が TV で報道されており、同じようなことが起きてしまわないよう、自然と人間が住み分けられるよう望みます。
四季を感じる自然が残ること。
四季に合った昆虫が見られること。

国道 176 号ケヤキ並木の現状はご存知ですか。
花粉が多いから、花粉を減らす策をしてほしい。
人間と野生の動植物との共生。
丹波市は緑豊かです。わざわざ管理できない植物を市の施設敷地内に植える必要はない。逆に言えば、植えるならしっかり管理していただきたいです。
今のままの自然が残っていてほしい。
山などの木が間伐などしっかり管理されていてほしい。
丹波の森公苑の活動継続を。
自然
里山の整備（クマ、シカ等の接近防止）
今のまま自然豊かな丹波であってほしい。星がきれいに見えて、ホタルが生息する。そんな丹波。変に人間のための開発をしないでほしい。
加古川の景観保全。くつろげて、美しい河川敷などがあればもっと移住者や観光客はくると思う。今は雑然としすぎていて、もったいない。
自然を利用した整備された自然環境を望みます。
問 46 で記入したような自然がいつまでも残っていくことを望みます。自然豊かな丹波で生活できる幸せを誰もが肌で感じられるような、行政の市民への働きかけをもっと行っていってほしいです。また、クリーン作戦（ごみ拾い）以外に、外来種植物に目を向けた、定期的な取組も必要に思います。（動物は少し抵抗があるので植物から…）。
減ってしまった希少生物が守られる環境になっていることを望みます。
今のままの美しい丹波の自然を守ってほしいです。また、小さな子どもたちが、その美しい自然環境にたくさん触れて成長できるような、身近な自然がさらに増えてほしいなと思う。山や川などで遊びながら学べる環境も学校教育の一部としての自然環境も、さらに力を入れていってほしいなと考えます。
森林がきちんと手入れされ、動植物が生きやすい環境が整っているといいと思う。
素晴らしい自然を残していってほしいと思います。
現在のまま、自然豊かであってほしい。
整備すべき所はきちんとしていただき今ある自然環境を壊すことなく緑あふれる場所を作ってほしい。
それなりの自然
野生動物が山で生息できる環境（人里に下りてこない）
針葉樹ばかりにならず、広葉樹、実のなる木が増えてほしいです。
緑豊かで山々が美しい丹波を守ってほしい。
今と変わらない風景であることを願います。
よくテレビで報じられているような過度な開発を抑止する、市独持の法律をきちんと制定しておいてほしい。

（４）農業に関する意見（17 件）

放棄地の減少、営農者の増加！
若者が農業に携わる機会が増えていたらいいな。
農地の耕作放棄地や空き地・空き家が安易に見受けられないようになってほしい。市としての品位を落とさないでほしい。
農薬や化学肥料が使われない、少ない農業が主体で、田畑に囲まれている場所でも安心して子育てができる環境になってほしい。
増え続ける耕作放棄地に対してこのまま地域の自治会任せでは対策にならないのでは？行政が主体的に取り組まないと農村が崩壊します。
美味しい農作物や二次加工品がもっと脚光を浴びて農業が見直されること、「美味しい丹波」が世間に広く認知されることを望む。丹波の秋は日本一だと思っています。
土地開発が進まず自然が壊されず山川、田畑が多く作物栽培で地元産があってほしい。
耕作放棄のない田畑
今のまま、緑を多く、田畑を守ってくれる、農業従事者が続いていってくれること。
農地の耕作放棄がなくなり、米だけでなく地域で何らかの植物を植え管理できればと思う。セイタカアワダチソウがあまりにも見苦しい。
耕作しない田畑を栗畑にすることに力を入れておられないが、太陽光をするより良いのでは。
畑、田んぼを燃やす以外の方法での草の処理が見つかるとよい。
休耕地を利用して、丹波特有の農産物を増やしていければいいなと思う。
田畑の保全
耕作放棄地対策、里山放置林対策が必要
山林や農地、放棄地から「人の手」が遠のきつつある現状において、画期的な改善ということは不可能だと感じます。
今以上に農地や山林が荒廃していないことを望みます。

（５）町や地域についての意見（29 件）

街がきれいであること
地球規模の気候変動や環境変化は止められないが、丹波市の豊かな自然と多種多様な生物、食品特産物、文化遺産は努力すれば維持管理できるはずですし、そのためには必要な対策は行ってほしい。丹波市に来られる方は、便利さ、目新しいものより、懐かしい風景や、人のあたたかさを感じに来られていると思います。
今より 15 年くらい前の環境に戻ること。
景観が良くなるので、電柱の埋没化が進めば良いなあと思います。
田舎ならではの環境を活かし、それらが観光資源として経済にも良い影響を与えている状態
せめて、現在の環境を維持してほしい。
住みやすい街

空気がきれいで山の緑が美しいかつ街場は商店等が立ち並び活気あふれる都市
今のままかもっと良くなっていたらいいと私は思います。
現在、蓄電池やソーラーパネル、低コスト箱型住宅などのビジネスが広がる一方で、どこか味気ない風景が増え、丹波市本来の温かみが薄れているように感じている。10 年後には、木や土、畳などの自然素材を活かした住まいが増え、家に入った瞬間にい草の香りや柔らかな足触りを感じられる、心と体に優しい街になっていてほしい。効率やコストだけでなく、畳のある暮らしのような「人のぬくもり」を感じられる住環境づくりが、丹波市の魅力ある環境を守り育てることにつながると考えている。
地域みんなが守り育てる農村になれば良い。
別段、観光客が来なくていいので、子育て、介護する人が、安心・安全に暮らせる環境にしてほしい。また、企業との共生ができる丹波市になってほしい。（自然保護に）
夜は夜らしく、夜眠らない丹波市にならないように、夜空の星をたくさん見られる星降る丹波市を子ども達に…。
無駄な資源がなくきれいな丹波が良い。
山林、河川の手入れをして美しい景観を維持し、田畑も潤い、空き家も減り、素敵な住みやすい町になってほしい。
少なくとも、現状持続を望みます。
現状が維持できていれば、やや満足。
稲継の交差点が立体となり渋滞のマンネリ化が解消され、きれいな空気と交通事故防止が進んでいる。
子ども達が住みにくくなっていなければいいです。
道路、水道、河川、空き家、高齢、お付き合い、野焼き。
今のまま丁度良い環境。
より良い丹波市になりますように祈っています。10 年後は？？？
今と同様である。
現状維持できていれば良いと思います。
今より環境が悪くなっていないことを望みます。
現状維持
管理された生活環境の維持を望みます。
建物をもっと建てる（店）。
娯楽施設が少なく、他の市、他県に行かなければならない丹波市がつまらない。

（6）人口についての意見（17 件）

日本各地から丹波市の自然や里山を目的に交流人口が増える環境
私の住んでいる地域は今から 10 年後は限界集落になります。自治会管理の土地、田んぼの土手など、草刈りができる人が減り、荒れていくのが心配です。
少子高齢化となり遊ぶところがあっても利用しない。草刈り等管理するマンパワーがないと遊べない。各自治区の課題ではあるが、利用できるように継続できたらよい。

都市開発が進み人口も増えてより過ごしやすくなってほしい。
共に 70 歳台の夫婦二人暮らしですが、子ども（長男）がリターンしてくれるか不安です。丹波市（地元）が魅力ある環境づくりをするべきと考えますが、住みやすい環境とは何か？難しいですね。何をするにしてもやはり人手不足であり人口増加が望まれます。
きれいに手入れされた田畑、川、山を残したい。高齢化が進み手入れする人員が減っており、各自治会のみでの管理ではすでに限界にきている。市が税金を費やしてでも管理を維持できるように取り組んでほしい。素敵な自然が維持できる市になれば、そのうち人々が他市他県からもやってくる（移住者増）のではないかと思う。丹波の一番の魅力はのどかな自然だと思う。空き家、管理者不在の山や場所（土地）は市が買い取ったり管理できるような条例を作ったりしてほしい。
今までどおり、自然豊かであることを望む。一方で、人口減少しないよう、市の施設・市内の店舗数など利便性の向上を行っていただき、住みやすい環境づくりを引き続き希望します。
高齢化、過疎化が進んでいく中、自治会では手が届かない部分が多くなってきている。どう維持・管理していくのか、誰がどう担っていけばいいのか…。
若者・働き盛りが減ってきている。
環境を維持するための市民の負担（お金、労力）を極力なくしていただきたいです。若者が住まない理由の１つと考えます。
人口減少の歯止め。
若い人が住みたいと思える地域になっていれば良いなと思う。
高齢化が進み田畑、山、環境が変わってしまうのが不安でいっぱいです。
村の周りに老人が多くちゃんと整備されるか今から心配。
高齢化で担い手不足で増える耕作放棄地。里山の景観が損なわれている気がします。丹波の自然、里山の景観は田んぼも含めた自然だと思います。行政の支援を望みます。子ども達への自然体験の仕組みづくり等。
高齢化で周りの田んぼが荒れているのが寂しい。豊かな実りの風景を残してほしい。
だんだんと若い人が減って、耕作放棄地が広がっていくのが心配。

（７）環境を守るために取り組むことについての意見（4 件）

「自分 1 人から」という意識を持ち、地球環境をより良くする重要性を認識することが、市民に課せられた大切な問題であると考えます。
10 年後、空き家だらけ、荒れた畑、田んぼ、山が予想される。もっとみんなが環境に意識を向けて、美しい丹波市を持続していけるようにしないとヤバイ！！大阪から福知山線に乗って柏原のホームに降りるとまず、空気が美味しい。いつまでもこんな丹波市であってほしい。
人の生活圏と環境生物の生活圏を丁寧に区分けする。
このアンケートを通して、環境問題に関心はあるものの、自分が大したことはしていないなと実感しました。また、あまり知らないこともあると分かりました。様々なことに取り組んでおられる行政や企業には感謝します。人口や動ける年代の人が減っていく中で、放りっぱなしの田畑や山里がない美しい景色を残したいと思いますが、何か良い方法はないものかと思います。もっと、環境整備に関する住民の助け合いが必要かも。

（８）公園・施設等に対する意見（10 件）

キャンプなどで自然体験ができる環境
子育て世代として、人工的自然ですが、公園や街路樹の整備が行き届いていればと感じます。山林整備や二次的自然の整備には興味がありません。
子どもが楽しく遊べる自然公園が増えていたら嬉しいです。更に管理されていて持続可能なまちづくり、自然保全を望みます。
美味しいもの（地産地消）や子どもが遊べる公園などがいっぱいあると嬉しい。
近くに、花や木々が植えてある公園があるといいなと思います。
私は学生ですが、県外のクラスメイトに「丹波市って何もないよね」と笑われることが多々あります。そこで、山の中を切り進むようなアスレチック等のレジャー施設を作ってみてはいかがでしょうか。自然を生かした家族連れでも楽しめるような場所を作れば、丹波市の自然と一体で育んできた里山文化に、外部の人間も関心を示すのではないでしょうか。これは丹波に限らず、日本の７割を占める山々に人々が目を向ける結果につながると、私は考えています。
子どものために公園が増えればいいなと思います。
桜並木や紅葉などを増やし、ゆっくり散策できる小さな休憩所と公衆トイレを整備してほしい。
子ども達が自然を楽しめるようにしたい。公園で遊ぶ子が増えるよう整備してほしい。
ライブイベントができる、日比谷音楽堂のような場所が欲しい。

（９）行政に対する意見（4 件）

農道等にペット（犬）の糞が落ちている。飼い主が清掃道具等を持たないで散歩させている。市の条例を制定してほしい。
今後企業が進出するとき、公害の出ないような企業を誘致してもらいたいです。
もっと市や県が電気自動車、太陽光発電設備への支援を行うことが重要であり、補助金を出すことが必要ではないか。
市から配布される紙類のものが多すぎて、いつもリサイクルに出しています。本当に欲しいもの（ex ごみ分別表）以外は減らすとかして、紙代、印刷代にかかる費用を環境等にまわしてほしいです。問 45 では、どれだけ取組がされているのか全く分からず、答えようがありません。

（10）空き家・空き地に対する意見（7 件）

空き家は何かしらに活用されて、ツタが生えているようなみすぼらしい家がなくなっている。
空き家の庭や周囲の管理も心配。草や老朽化で美観が失われる心配もある。
空き家、休耕地など人の手が入れられない土地に行政が迅速に介入できる仕組みづくり。
全国的なことだと思いますが丹波市も空き家が増加しているのが気になります。人口の少ない地区ではどんどん過疎化が進み、人が住めなくなるのではと心配します。

近所の空き家に動物が住みついています。今後空き家が増え続けるのではと懸念しています。対策を願います。
空き家がなくなること。法律を作っても雑草、小動物が住みつく。
扱いきれない土地は自然に還していく。

（11）河川に対する意見（6 件）

河川で遊べる環境
地域の管理による河川等の法面が整備されるような体制づくり
河川の堤防沿いを散歩できること。
川をきれいにしてほしいです。
水がきれいになっていてほしい。
丹波市は水分れがあるので、丹波市がきれいな排水になれば、きれいな水が日本海、瀬戸内海に流れていくことになる。洗剤、排水のことなど、考えていってほしい。

（12）雑草の管理に対する意見（8 件）

雑草の管理ができており、きれいな自然が保たれていてくれたら嬉しい。
丹波市の自然の風景は大好きですが道沿いの草刈りをできるだけお願いしたいのと、（猛暑ですが）もう少し花が道沿いを飾ってくれれば楽しみかと思います。10 年後を楽しみにしています。
公道脇の雑草が目立つ所があり車の運転の障害となっている場所もある。市外、県外の方が車で来丹された場合でも、気持ちよく帰ってもらいたいと思います。
雑草の下刈りができてない所が多い…。高齢者が多くなって、無理なように思う。
緑は残ってほしいけれど雑草は減ってほしい。道路脇の植樹もなくてもいいかと思います。
道脇の木が危なくないように管理されていてほしい。
田・畑の放置で雑草や雑木などないような環境であってほしいです。
家の周りなど草刈りもせず放りっぱなしの所もあります。せめて敷地内の管理、溝の掃除など責任をもってしていただきたいです。

（13）悪臭に関する意見（5 件）

個人の野焼き等が多すぎる。家屋が外気を取り込み換気する仕様のため、家の中に野焼きのにおいが入ってくる。家内に気管支の弱い者がいるため過敏に反応してしまい体調が優れなくなる。祭や行事等で、火を使用することは仕方ないと思うが、まずは個人での野焼きの禁止を徹底してほしい。正直、「野焼きはやめてください」等の注意喚起はあってないようなものだと思います。何かしらの罰則等も考えてもらいたい。
野焼き禁止のはずが平気で野焼きしている。臭い！！迷惑しています。
田の野焼きがなくなってほしい。煙が臭くて子どもが外で遊べない。窓も開けられない。あちこちされているので、煙で空気も悪くなるし吸い込んでしまうため、体にも悪い。外で牛を飼われている方やペットを飼われている方など人間以外にも有毒だと思う。

野焼きや工場のにおいなどが少ないと、空気がもっと美味しくなると思う。
まだ家庭ごみを家で焼却しておられる方がいるので注意喚起してほしいです。

（14）気候変動、防災に関する意見（4 件）

地球温暖化対策
異常気象がこれ以上進まないこと
地球温暖化や異常気象がなるべく起きにくい環境であってほしい。仮に、地震や洪水が起こっても、その被害を最小限に止められるように環境を守り、そして行動していきたい。
田畑は自然のダムだと言われているけれど、最近どんどん宅地化が進んで災害を起こさないか不安です。山々の木々についても不安。

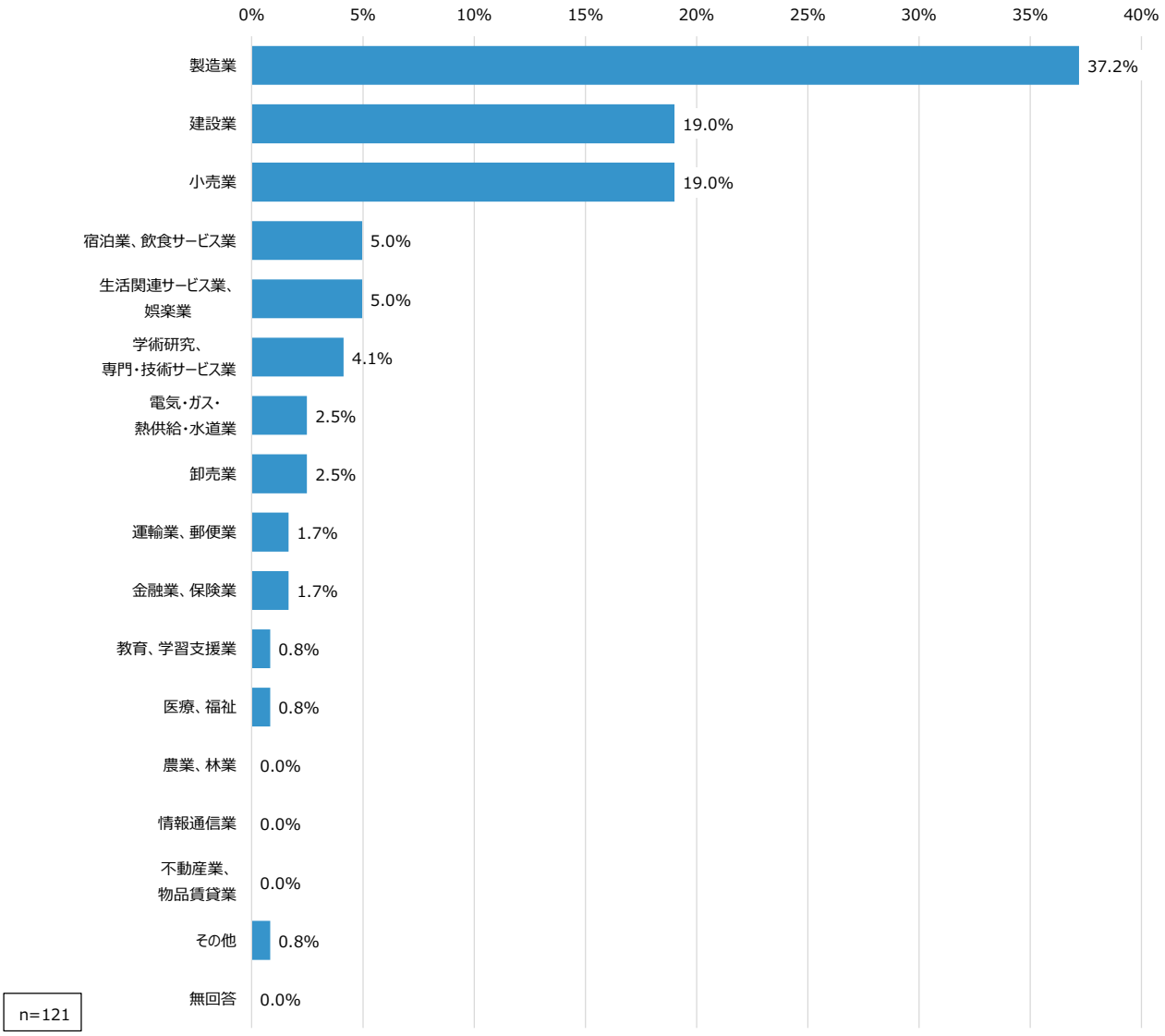
（15）再生可能エネルギーに関する意見（14 件）

再生可能エネルギーを積極的に活用した自然や環境に優しい丹波市になっていれば嬉しいです。
現在、山や田んぼなどに太陽光発電のパネルが設置されていますが、自然環境の面からも、地域、場所、規模などの規制が必要ではないかと思いますが。
丹波市にメガソーラーは、絶対に作ってほしくないです。
太陽光や風力発電はクリーンエネルギーではない。設置しなくても人間減少に伴い、今までよりも少ない電力で生活できるようにならないとおかしい。市民の節電の意識づけが今からはとても重要で、改善するには市からの呼びかけも必要だと思う。
メガソーラーなどの景観破壊、環境破壊には嫌悪感がある。
今以上に里山への開発を進めていただきたくない。至るところに設置されている太陽光パネルはこれ以上増やしてほしくない。10 年後に粗大ごみにならないことを望む。
今より悪くならないことを願います。ソーラーパネル反対。
太陽光発電のパネルが増えないでほしい。
今後、太陽光発電は必要な物なのかもしれませんが山の斜面や田園風景が太陽光パネルで壊されていくのが悲しく思います。
太陽光発電設置に頼りすぎない経済活動（太陽電池の廃棄問題への対策）。
太陽光発電が多いので地球温暖化に余計に気温上昇が…。
太陽光パネルをこれ以上増やしてほしくないです。自然が売りの丹波ですし、処分されず放置されたパネルを増やさない為にもパネルは増やさないでほしいです。
太陽光発電等の導入においては自然破壊に対する対応・保障・責任等の能力の審査と許可を慎重に行っていただき、併せて自然景観の維持を図っていただきたく存じます。
今、子ども達が見ている風景が変わらず、”丹波市＝森・山いっぱい”であるように願います。太陽光パネルは、それを維持するために無駄な資源がたくさん使われています。（無駄な動力も）。「子どもでもパネルがある山は見たくない。」と理解して訴えます！！

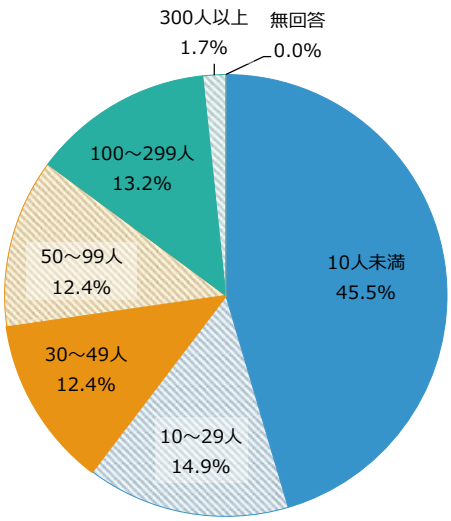
Ⅲ　事業所アンケート調査結果

1　回答事業所の属性

問１　貴事業所の業種をお答えください。（○は１つ）

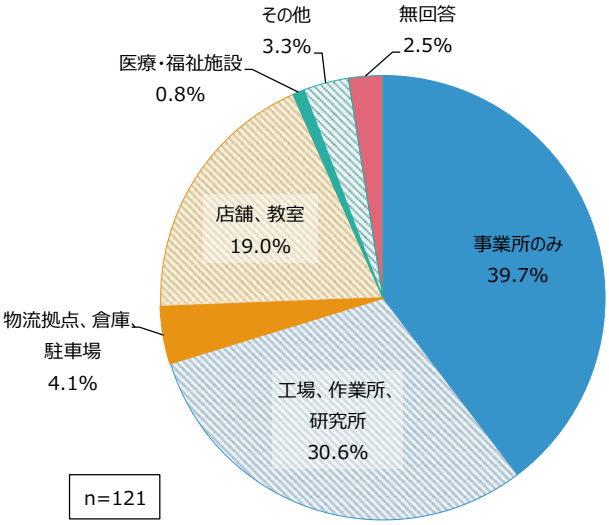


問 2 貴事業所の従業員規模をお答えください。（○は 1 つ）



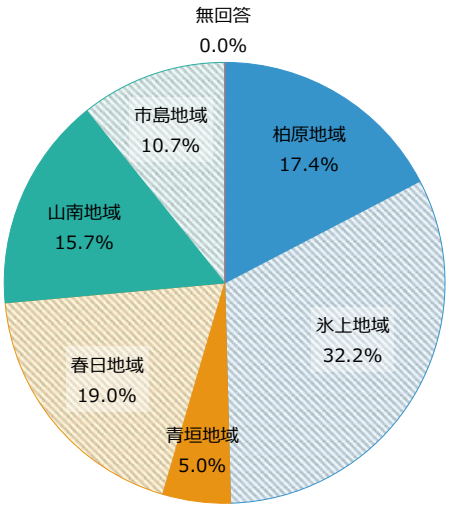
n=121

問 3 貴事業所の種別をお答えください。（主な用途を 1 つ選んで○）



n=121

問 4 貴事業所のある地域をお答えください。（○は 1 つ）

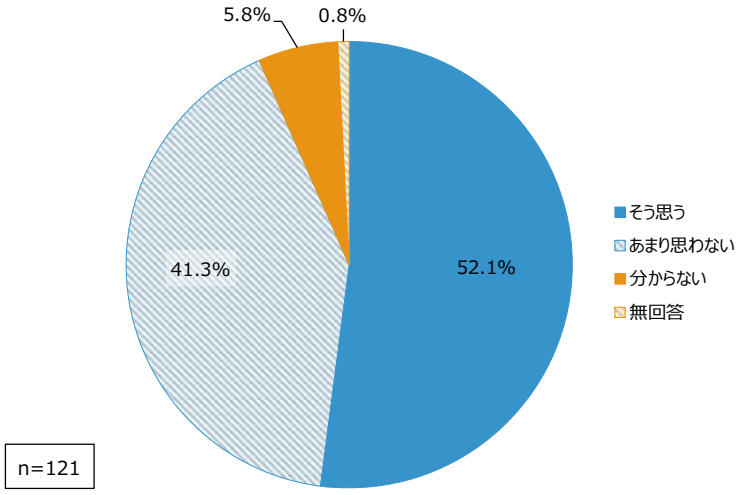


n=121

2　環境問題に関する取組について

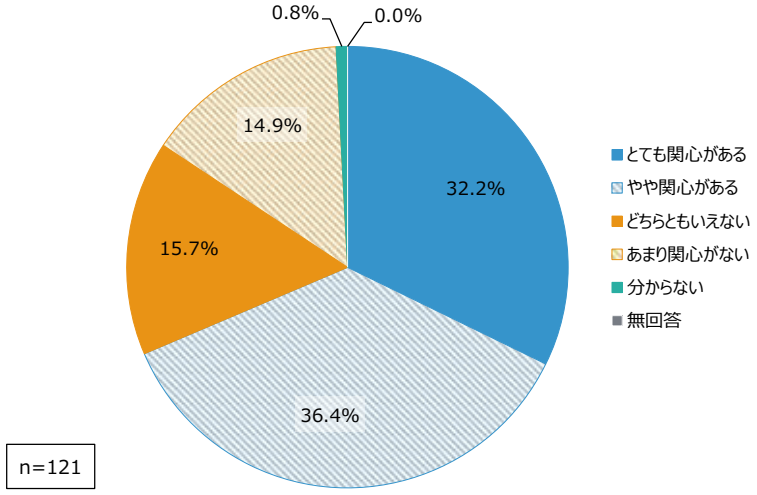
問 5　貴事業所では、地球温暖化への対応は差し迫った問題であると思いますか。（○は 1 つ）

地球温暖化への対応は差し迫った問題であるとの認識については、「そう思う」が 52.1%で最も多く、次いで「あまり思わない」が 41.3%、「分からない」が 5.8%となっている。



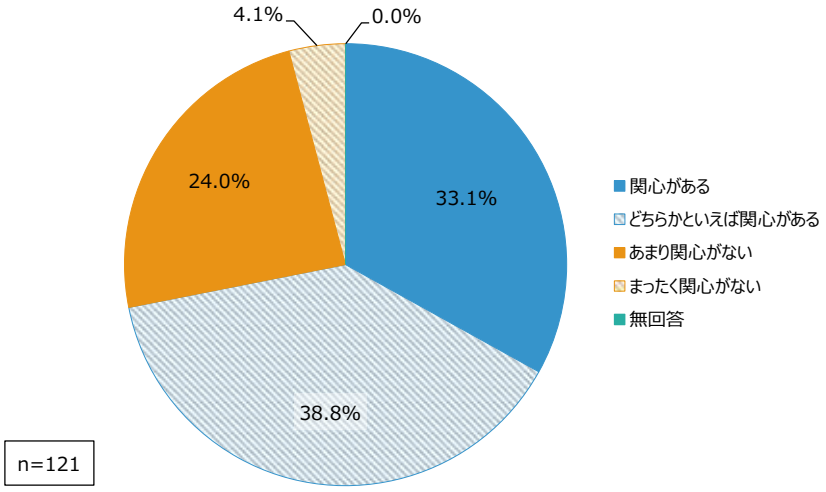
問 6　貴事業所は、気候変動や適応策に関心を持っていますか。（○は 1 つ）

気候変動や適応策の関心度については、「やや関心がある」が 36.4%で最も多く、次いで「とても関心がある」が 32.2%、「どちらともいえない」が 15.7%などとなっている。



問 7 貴事業所では、自然環境や生物多様性の保全に関心がありますか。（○は 1 つ）

自然環境や生物多様性保全の関心度については、「どちらかといえば関心がある」が 38.8%で最も多く、次いで「関心がある」が 33.1%、「あまり関心がない」が 24.0%などとなっている。

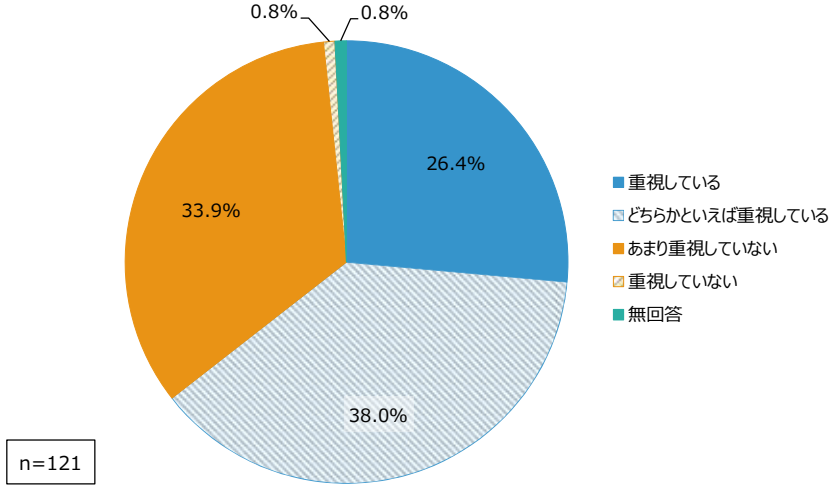


地球上の生きものは 40 億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000 万種ともいわれる多様な生きものが生まれました。これらの生命は一つひとつに個性があり、全て直接的、または間接的に支えあって生きています。この生きものたちの豊かな個性とつながりのことを「**生物多様性**」といいます。

私たち人類も生きものであり、他のたくさんの生きものとつながり、支えられて生きています。生物多様性の恵みを受けて、はじめて私たちは暮らしていくことができています。

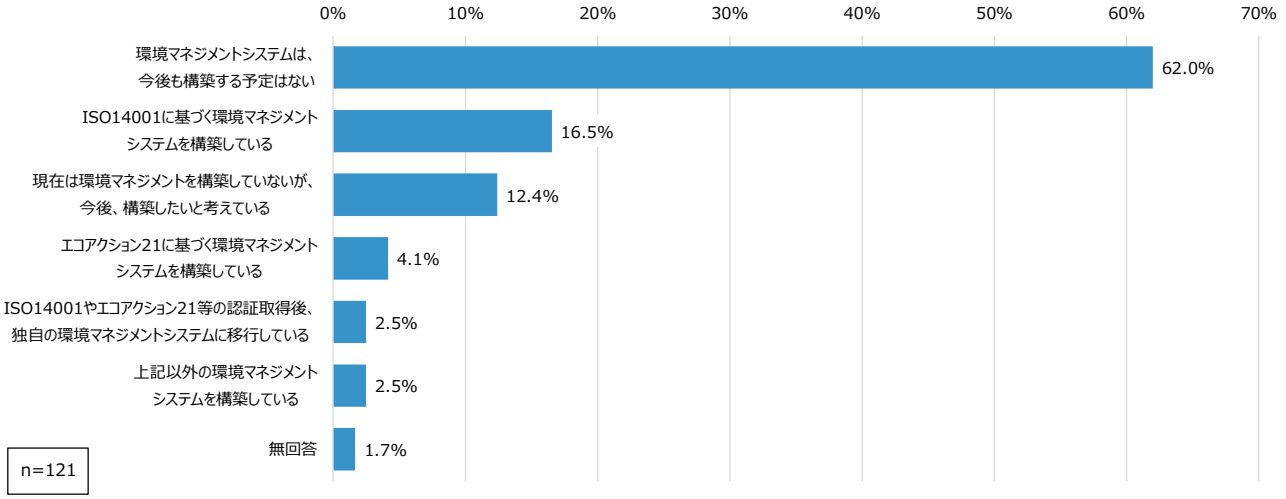
問 8 貴事業所では、経営方針において環境への配慮を重視していますか。（○は 1 つ）

経営方針における環境への配慮の重要度については、「どちらかといえば重視している」が 38.0%で最も多く、次いで「あまり重視していない」が 33.9%、「重視している」が 26.4%などとなっている。



問 9	貴事業所では、環境マネジメントシステム（EMS）を導入していますか。または導入する予定がありますか。（○はいくつでも）

環境マネジメントシステム（EMS）の導入状況や導入意向については、「環境マネジメントシステムは、今後も構築する予定はない」が 62.0%で最も多く、次いで「ISO14001 に基づく環境マネジメントシステムを構築している」が 16.5%、「現在は環境マネジメントを構築していないが、今後、構築したいと考えている」が 12.4%などとなっている。

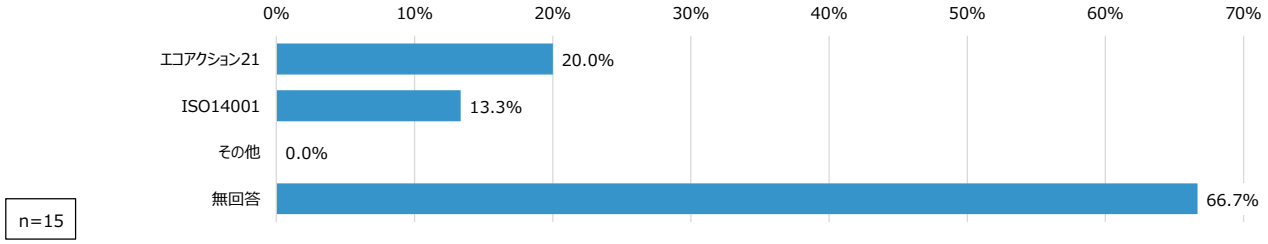


- **環境マネジメントシステム（EMS）**とは、組織を取り巻く人やモノに対して、組織が与えている環境影響を明確化し、環境へのリスク及び機会に対して、「企業や組織がどのような取組を行い、環境に対する良い影響を増大させ、悪い影響を減少させるか」ということを計画し、実行、成果を検証し、改善していくための仕組みのこと。
- **ISO14001** とは、国際標準化機構（ISO）が策定した環境マネジメントシステム（EMS）の国際認証規格のこと。企業活動における環境リスクを分析し、そのリスクを低減するための仕組みを構築するガイドラインのようなもの。
- **エコアクション 21** とは、環境省によって策定された環境経営を支援し、企業価値を向上させる日本独自の環境マネジメントシステム（EMS）のこと。

問 9-5

※問９で「現在は環境マネジメントシステムを構築していないが、今後、構築したいと考えている」を選択した方のみ
検討中の規格があれば教えてください。（○はいくつでも）

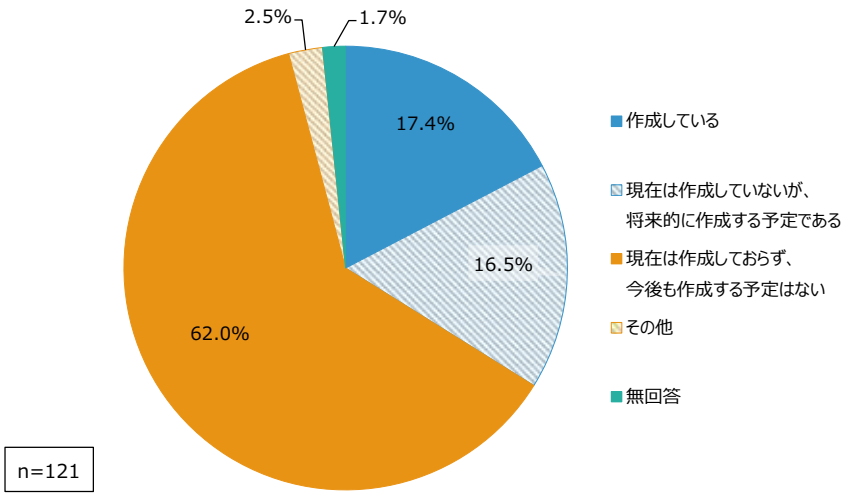
環境マネジメントシステム（EMS）の検討内容については、「エコアクション 21」が 20.0%、「ISO14001」が 13.3%となっている。



問 10

貴事業所では、自然環境の保全に関する企業指針や行動指針を作成していますか。
（○は１つ）

自然環境の保全に関する企業指針や行動指針の作成状況については、「現在は作成しておらず、今後も作成する予定はない」が 62.0%で最も多く、次いで「作成している」が 17.4%、「現在は作成していないが、将来的に作成する予定である」が 16.5%となっている。

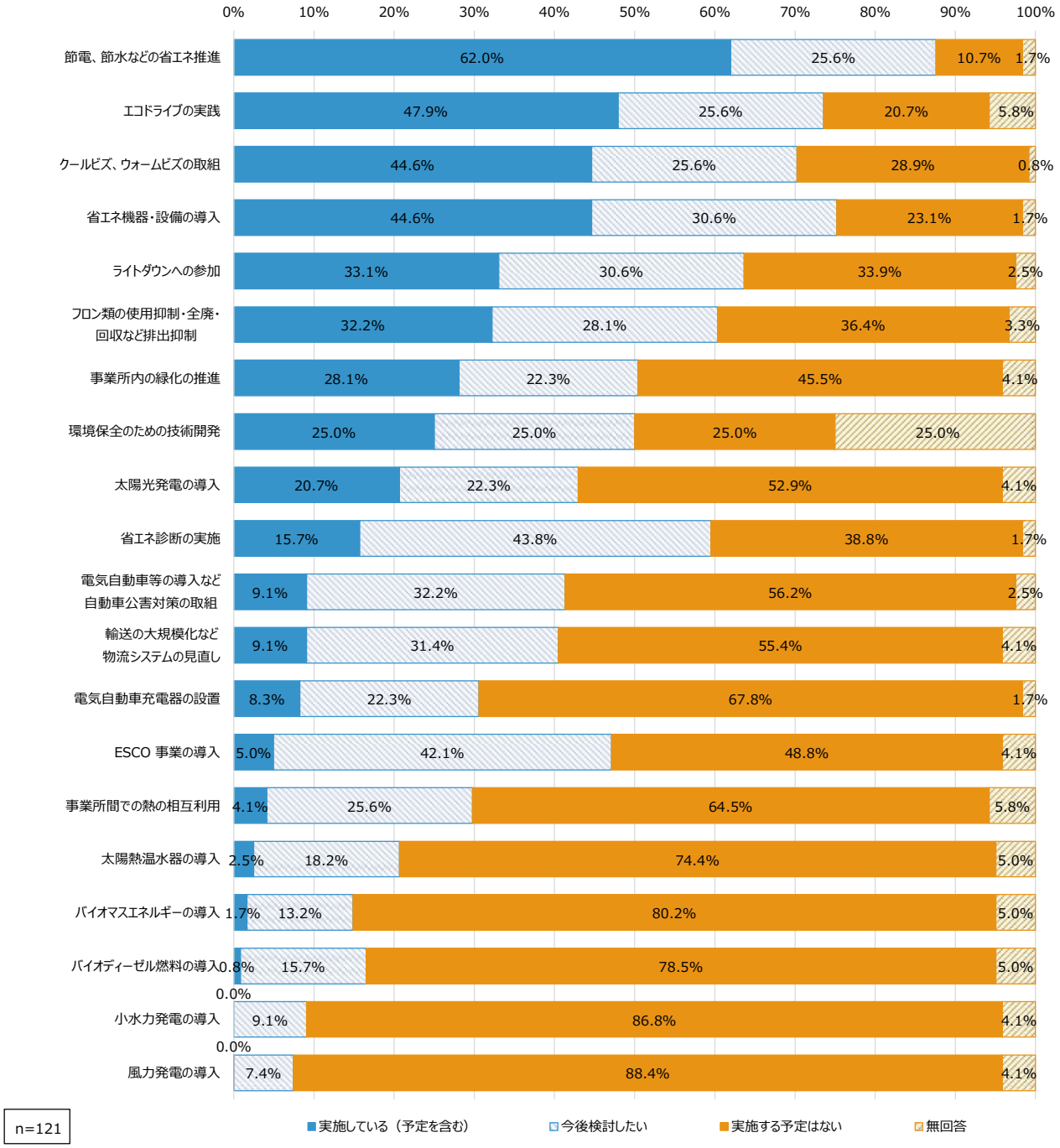


問 11	事業活動において、次の項目に関する実施状況はどれにあてはまりますか。 （それぞれ○は１つずつ）

■地球温暖化対策

地球温暖化対策に関する取組の実施状況について、「実施している（予定を含む）」と回答された取組は、「節電、節水などの省エネ推進」が 62.0%で最も多く、次いで「エコドライブの実践」が 47.9%、「クールビズ、ウォームビズの取組」及び「省エネ機器・設備の導入」が 44.6%などとなっている。

一方、「実施する予定はない」と回答された取組は、「風力発電の導入」が 88.4%で最も多く、次いで「小水力発電の導入」が 86.8%、「バイオマスエネルギーの導入」が 80.2%などとなっている。

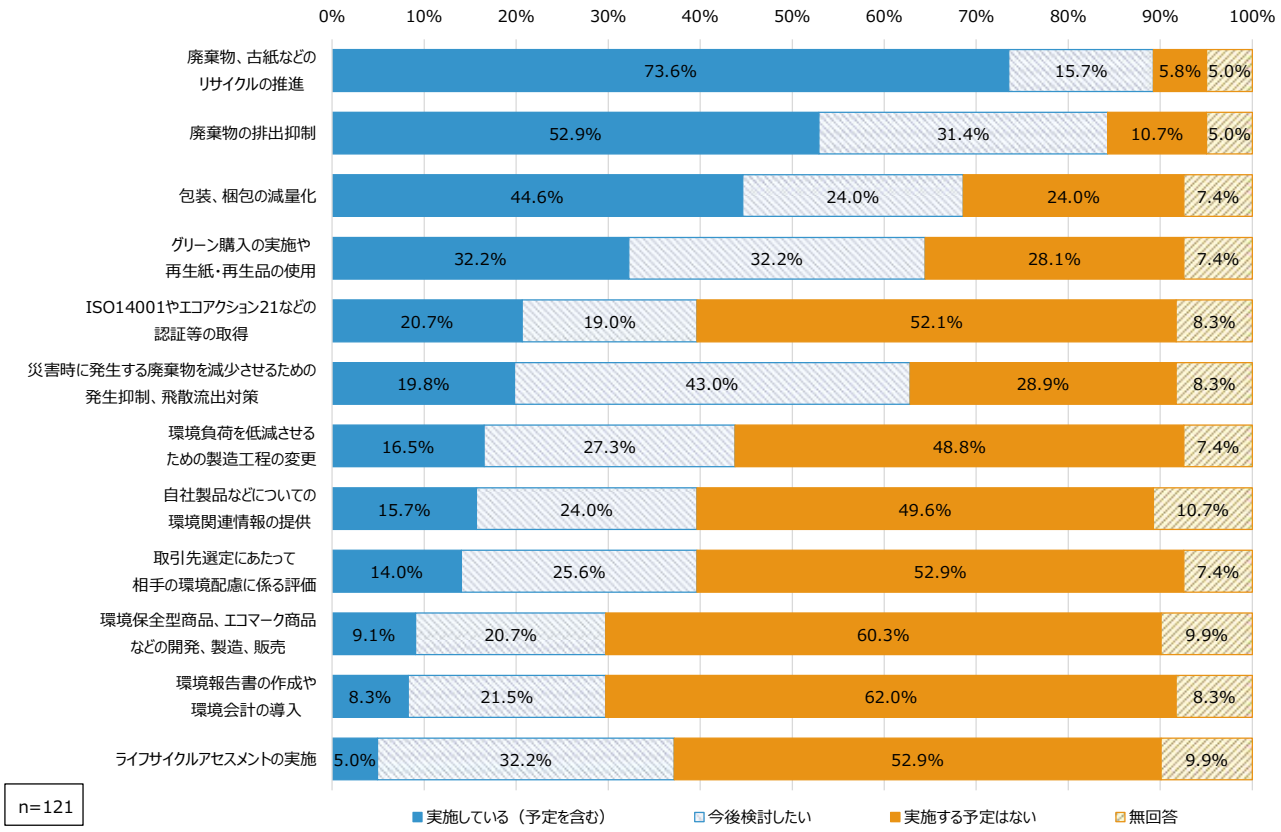


注）マイカー通勤に関する項目は、アンケートの質問と回答に齟齬があったため、順位の対象からは除く。
マイカー通勤の実践：実施している（予定を含む）66.1%、今後検討したい 6.6%、実施する予定はない 23.1%、無回答 4.1%

■資源環境

資源環境に関する取組の実施状況について、「実施している（予定を含む）」と回答された取組は、「廃棄物、古紙などのリサイクルの推進」が 73.6%で最も多く、次いで「廃棄物の排出抑制」が 52.9%、「包装、梱包の減量化」が 44.6%などとなっている。

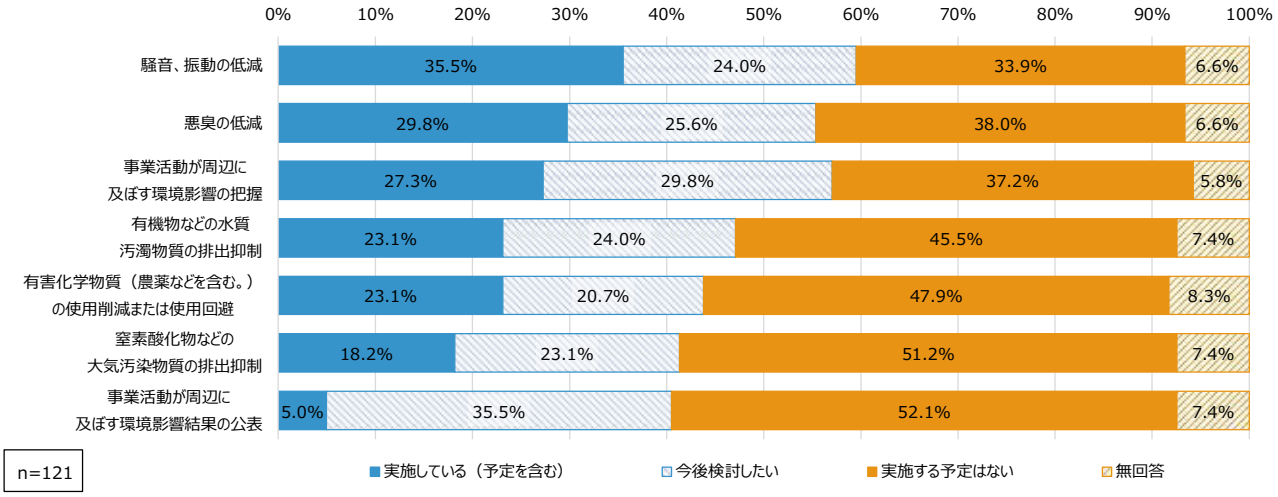
一方、「実施する予定はない」と回答された取組は、「環境報告書の作成や環境会計の導入」が 62.0%で最も多く、次いで「環境保全型商品、エコマーク商品などの開発、製造、販売」が 60.3%、「取引先選定にあたって相手の環境配慮に係る評価」及び「ライフサイクルアセスメントの実施」が 52.9%などとなっている。



■公害防止

公害防止に関する取組の実施状況について、「実施している（予定を含む）」と回答された取組は、「騒音、振動の低減」が 35.5%で最も多く、次いで「悪臭の低減」が 29.8%、「事業活動が周辺に及ぼす環境影響の把握」が 27.3%などとなっている。

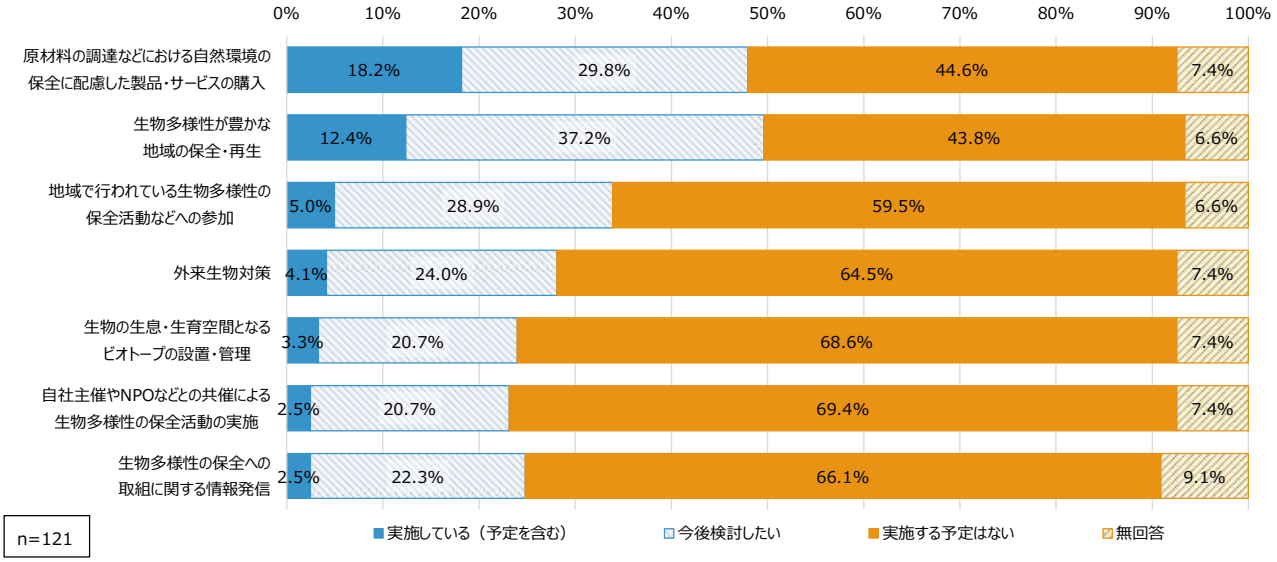
一方、「実施する予定はない」と回答された取組は、「事業活動が周辺に及ぼす環境影響結果の公表」が 52.1%で最も多く、次いで「窒素酸化物などの大気汚染物質の排出抑制」が 51.2%、「有害化学物質（農薬などを含む。）の使用削減または使用回避」が 47.9%などとなっている。



■自然環境保全

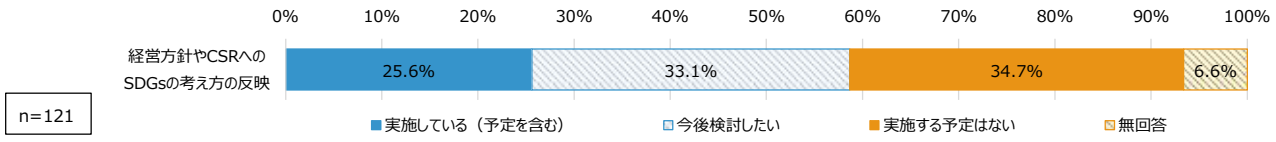
自然環境保全に関する取組の実施状況について、「実施している（予定を含む）」と回答された取組は、「原材料の調達などにおける自然環境の保全に配慮した製品・サービスの購入」が 18.2%で最も多く、次いで「生物多様性が豊かな地域の保全・再生」が 12.4%、「地域で行われている生物多様性の保全活動などへの参加」が 5.0%などとなっている。

一方、「実施する予定はない」と回答された取組は、「自社主催や NPO などとの共催による生物多様性の保全活動の実施」が 69.4%で最も多く、次いで「生物の生息・生育空間となるビオトープの設置・管理」が 68.6%、「生物多様性の保全への取組に関する情報発信」が 66.1%などとなっている。



■その他

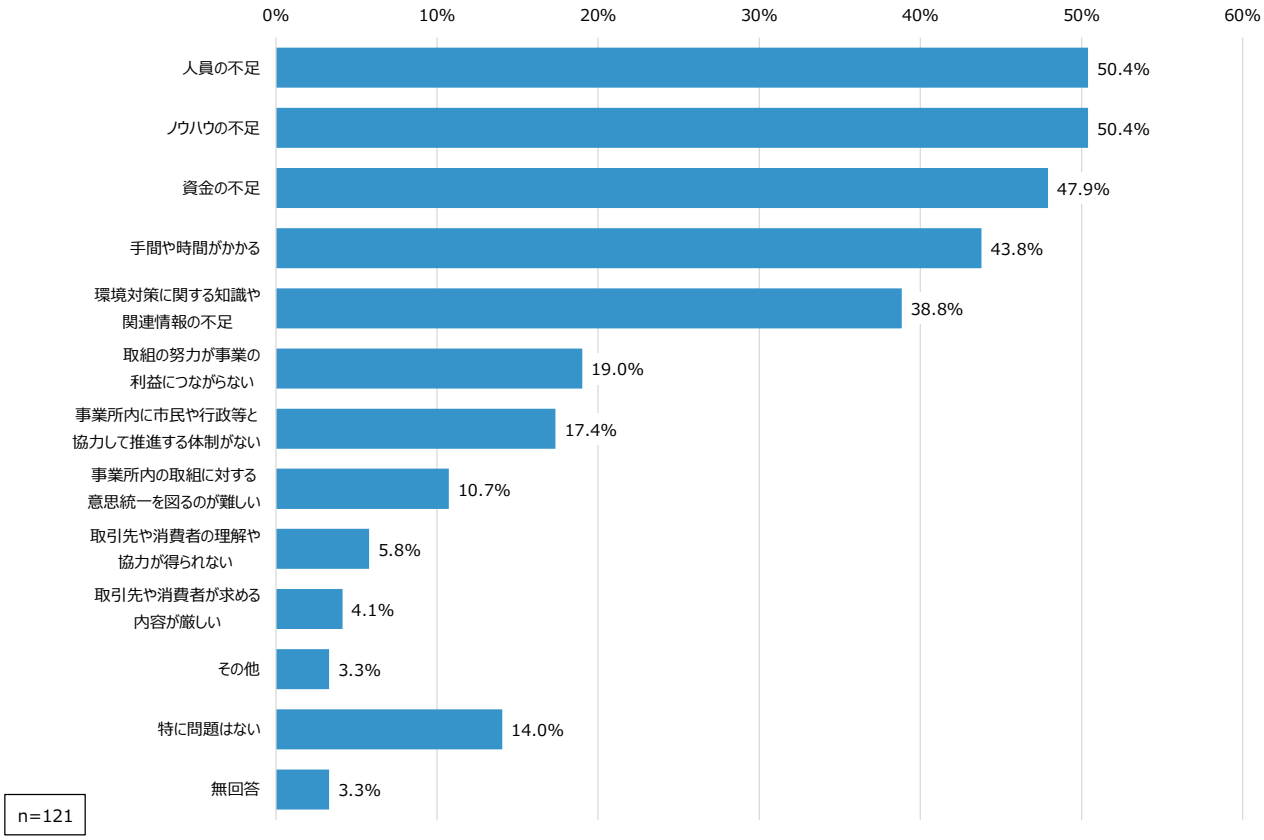
その他の取組の実施状況について、「経営方針や CSR への SDGs の考え方の反映」では、「実施している（予定を含む）」が 25.6%、「実施する予定はない」が 34.7%となっている。



- **CSR** とは、企業の社会的責任のことで、企業が利益を追求するだけでなく、社会の一員として従業員や取引先、消費者、地域住民、行政、社会全体といった様々な利害関係者（ステークホルダー）を尊重し、自らの影響に対する責任を果たすための自発的な取組のこと。
- **SDGs** とは、持続可能な開発目標のことで、17 のゴールと 169 のターゲットから構成される 2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。

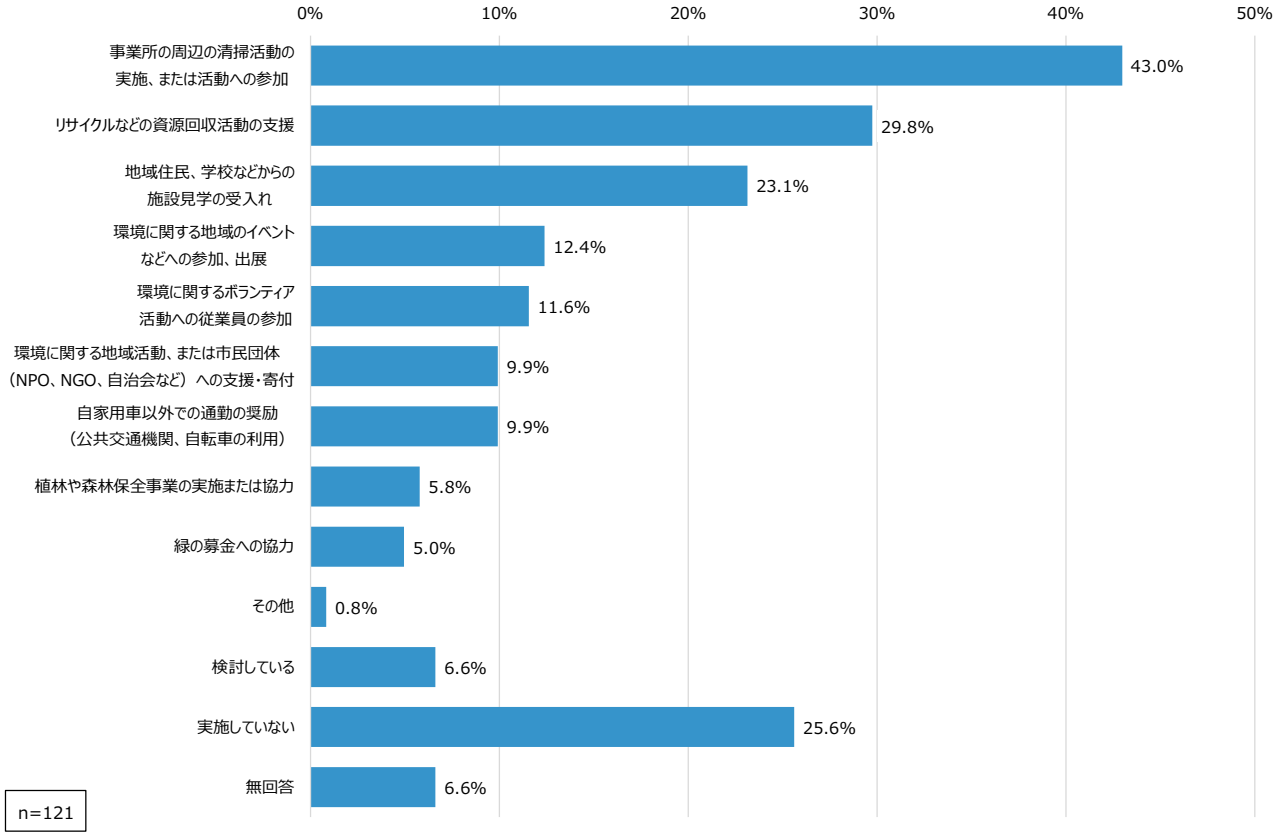
問 12 貴事業所が環境問題への取組を進める上で、どのような問題がありますか。（○はいくつでも）

環境問題への取組を進める上での問題については、「人員の不足」及び「ノウハウの不足」が 50.4%で最も多く、次いで「資金の不足」が 47.9%、「手間や時間がかかる」が 43.8%などとなっている。



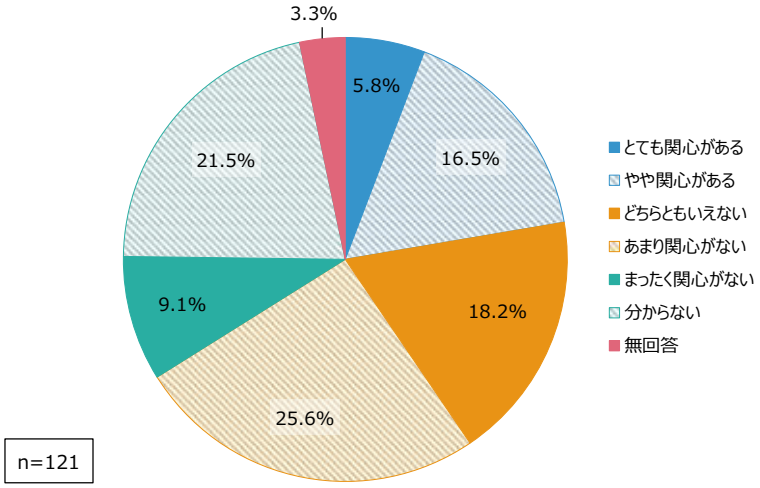
問 13	貴事業所では、事業所の立地地域周辺で、次にあげる環境に関する社会貢献活動を実施していますか。（○はいくつでも）

立地地域周辺で実施している社会貢献活動については、「事業所の周辺の清掃活動の実施、または活動への参加」が 43.0%で最も多く、次いで「リサイクルなどの資源回収活動の支援」が 29.8%、「地域住民、学校などからの施設見学の受入れ」が 23.1%などとなっている。



問 14 貴事業所では、エシカル消費に関心を持っていますか。（○は 1 つ）

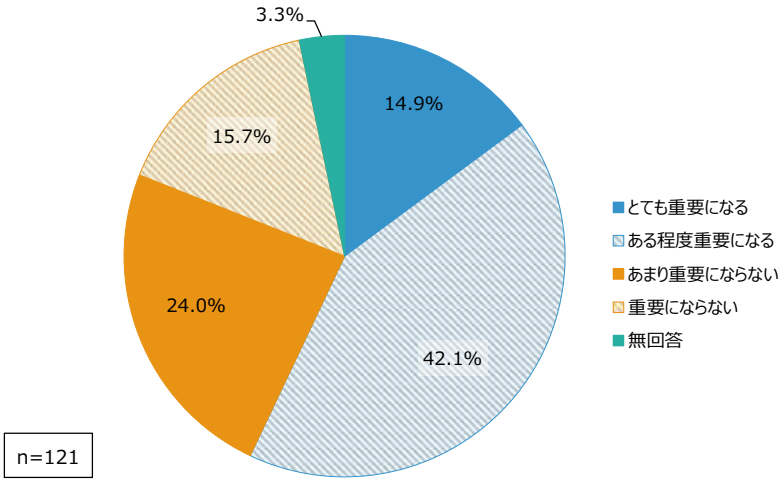
エシカル消費の関心度については、「あまり関心がない」が 25.6%で最も多く、次いで「分からない」が 21.5%、「どちらともいえない」が 18.2%などとなっている。



エシカル消費とは、倫理的消費の意味であり、地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと。例えば、物を購入するときに、価格、品質、安全性のほかに、それがどのようにして作られたかという背景や、それを選ぶことで世の中に与える影響などを考えて購入することなど。

問 15 貴事業所では、環境ビジネスは、貴事業所の今後の経営にとって重要なものになるとお考えですか。（○は 1 つ）

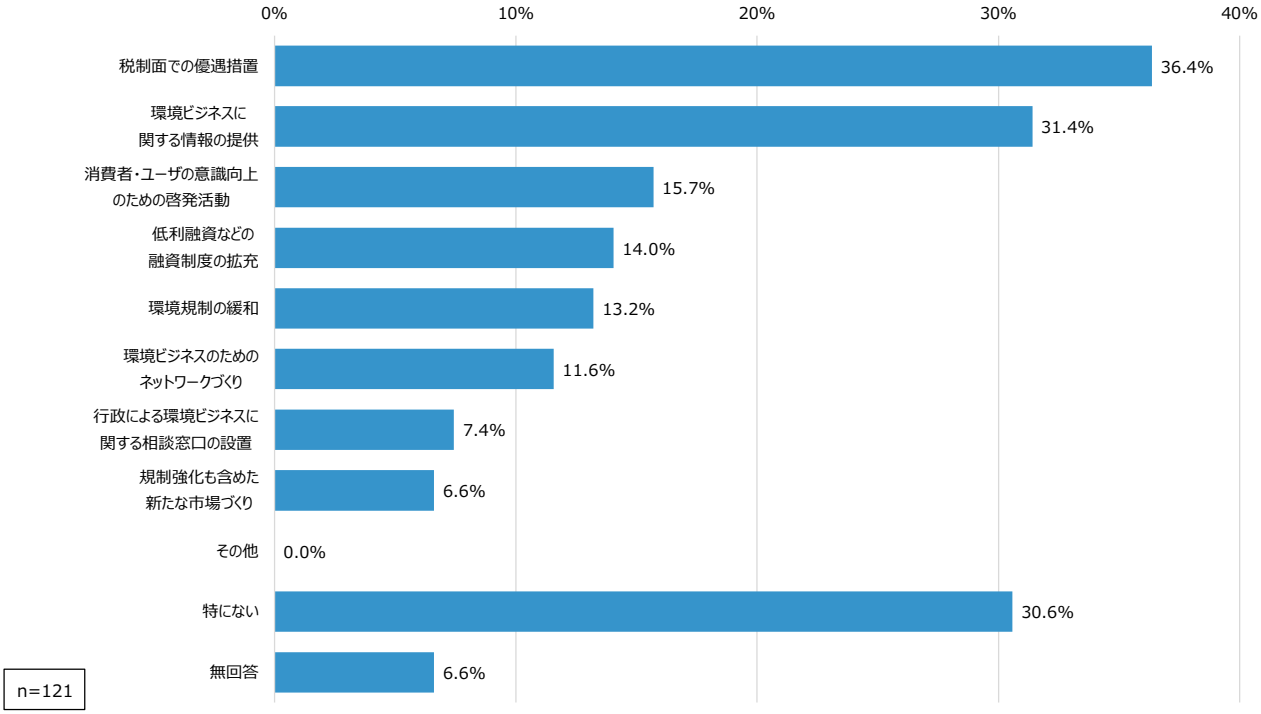
事業所の今後の経営における環境ビジネスの重要度については、「ある程度重要になる」が 42.1%で最も多く、次いで「あまり重要にならない」が 24.0%、「重要にならない」が 15.7%などとなっている。



環境ビジネスとは、環境への負荷が少ない製品・サービスや、環境保全技術・システムなどを提供するなど、「環境に良いこと」を付加価値とした事業全般のこと。

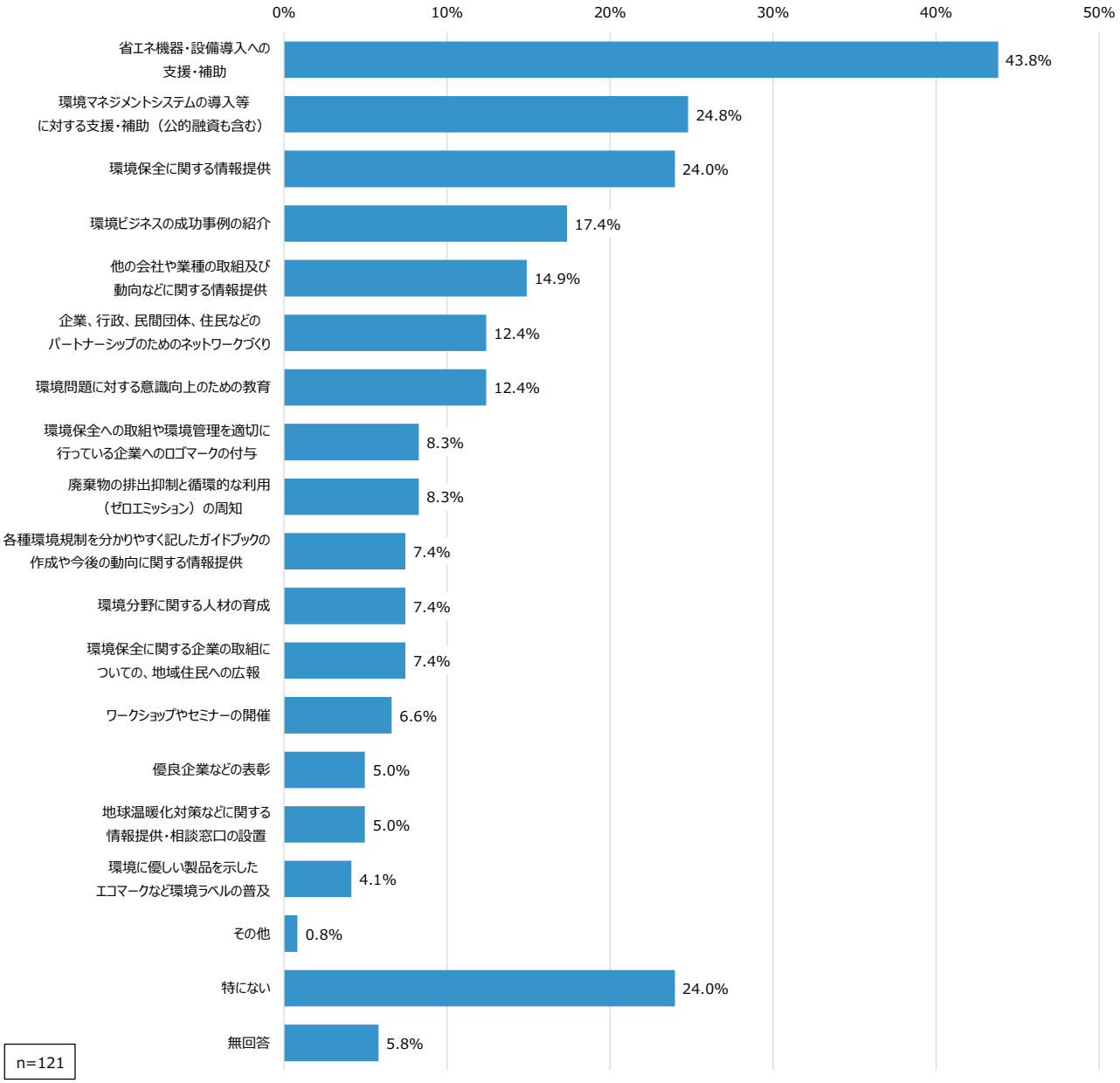
問 16	今後、貴事業所での環境ビジネスの進展のために行政にどのようなことを望みますか。 （○はいくつでも）

環境ビジネスを進める上での行政への要望については、「税制面での優遇措置」が 36.4%で最も多く、次いで「環境ビジネスに関する情報の提供」が 31.4%、「消費者・ユーザの意識向上のための啓発活動」が 15.7%などとなっている。



問 17	貴事業所が環境問題への取組を進める上で、市に行ってほしいことは何ですか。 （○はいくつでも）

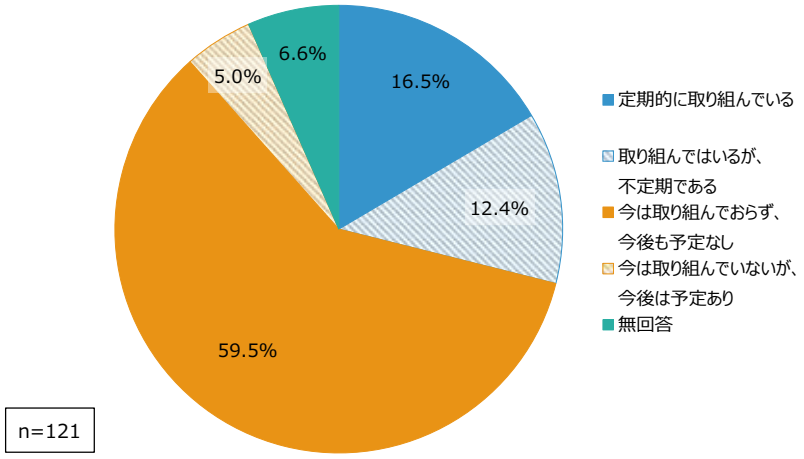
環境問題への取組を進める上で市に行ってほしいことについては、「省エネ機器・設備導入への支援・補助」が43.8%で最も多く、次いで「環境マネジメントシステムの導入等に対する支援・補助（公的融資も含む）」が24.8%、「環境保全に関する情報提供」が 24.0%などとなっている。



3　環境教育・環境学習の実施状況について

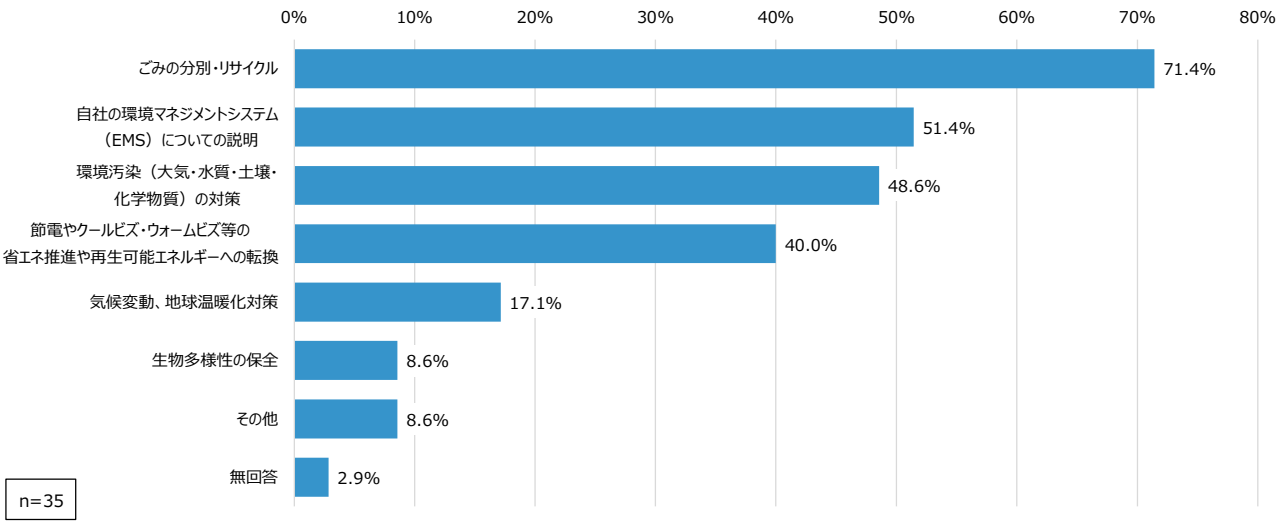
問 18　貴事業所での環境教育・環境学習の取組状況を教えてください。（○は 1 つ）

環境教育・環境学習の取組状況については、「今は取り組んでおらず、今後も予定なし」が 59.5%で最も多く、次いで「定期的に取り組んでいる」が 16.5%、「取り組んではいるが、不定期である」が 12.4%などとなっている。



問 19　※問 18 で「定期的に取り組んでいる」、「取り組んではいるが、不定期である」を選択した方のみ
具体的にどのようなことに取り組んでいますか。（○はいくつでも）

環境教育・環境学習の取組内容については、「ごみの分別・リサイクル」が 71.4%で最も多く、次いで「自社の環境マネジメントシステム（EMS）についての説明」が 51.4%、「環境汚染（大気・水質・土壌・化学物質）の対策」が 48.6%などとなっている。

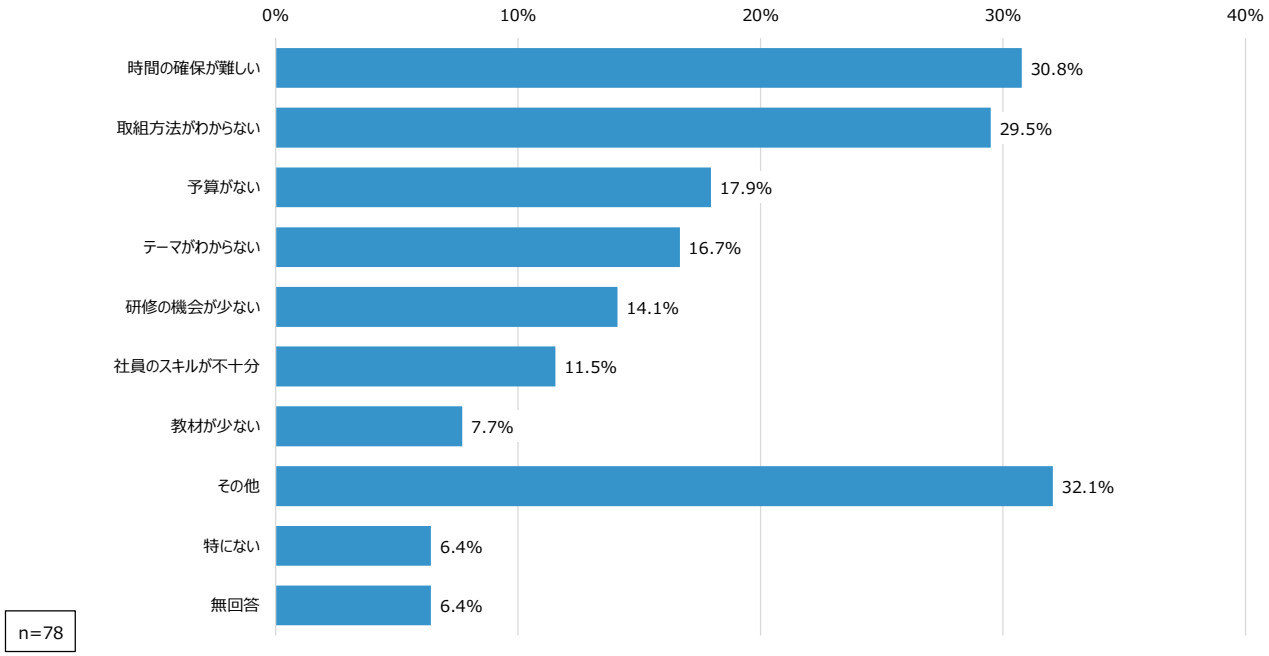


問 20

※問 18 で「今は取り組んでおらず、今後も予定なし」、「今は取り組んでいないが、今後は予定あり」を選択した方のみ

現在は取り組んでいない理由を教えてください。（○はいくつでも）

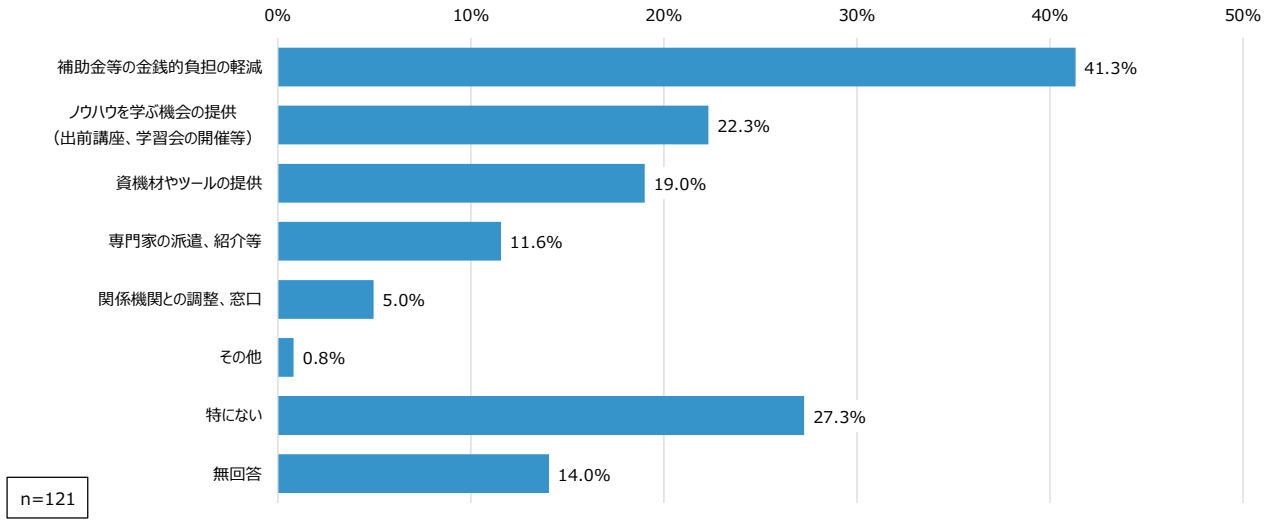
環境教育・環境学習に取り組んでいない理由については、「時間の確保が難しい」が 30.8%で最も多く、次いで「取組方法がわからない」が 29.5%、「予算がない」が 17.9%などとなっている。



問 21

貴事業所において環境教育を実施する上で市に行ってほしいことは何ですか。
（○はいくつでも）

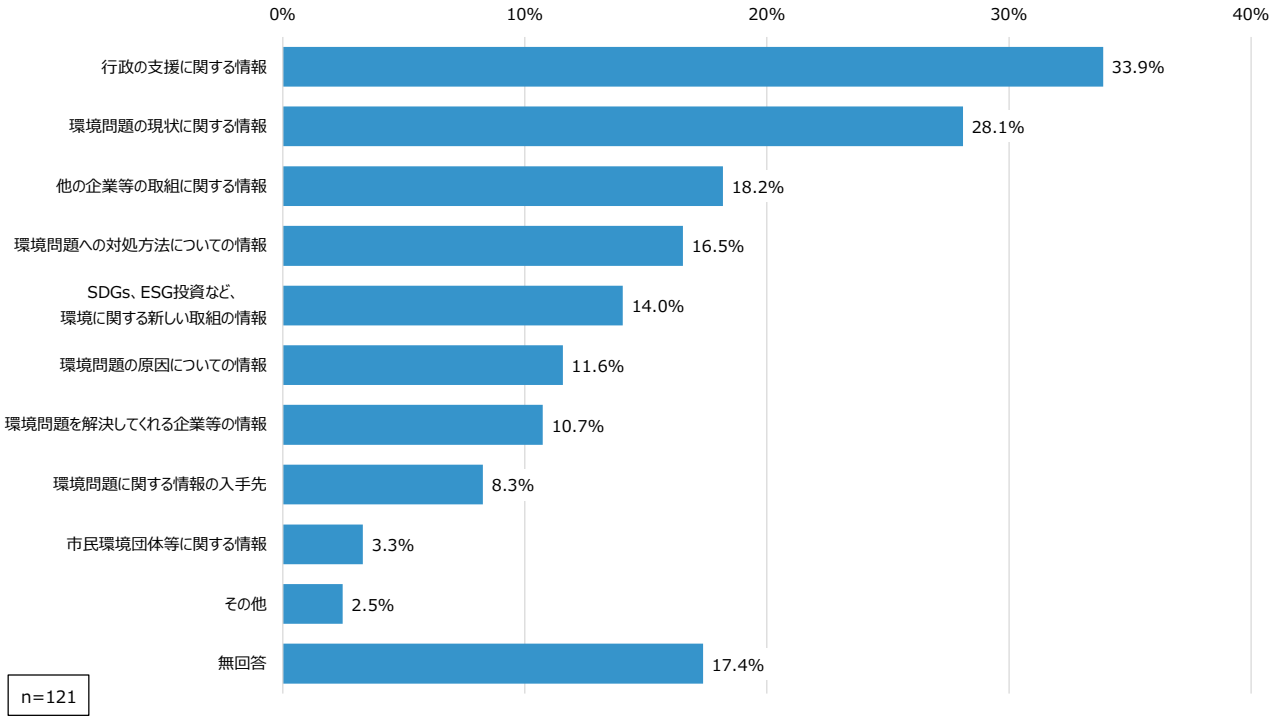
環境教育を実施する上で市に行ってほしいことについては、「補助金等の金銭的負担の軽減」が 41.3%で最も多く、次いで「ノウハウを学ぶ機会の提供（出前講座、学習会の開催等）」が 22.3%、「資機材やツールの提供」が 19.0%などとなっている。



4　情報の入手について

問 22	貴事業所では、市から発信される環境の情報について、どのような内容を知りたいと思いますか。（○はいくつでも）

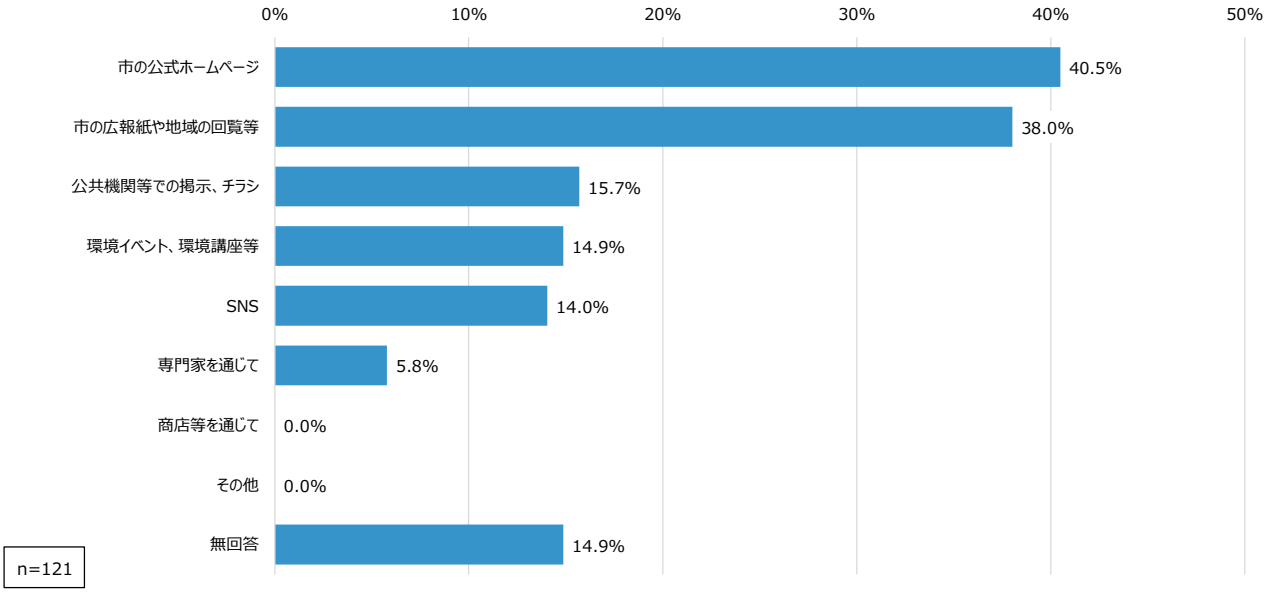
市から発信される環境の情報で知りたい内容については、「行政の支援に関する情報」が 33.9%で最も多く、次いで「環境問題の現状に関する情報」が 28.1%、「他の企業等の取組に関する情報」が 18.2%などとなっている。



ESG とは、Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス（企業統治））を考慮した投資活動や経営・事業活動のこと。

問 23	貴事業所では、市から発信される環境の情報について、どのような手段で得たいと思いますか。（○はいくつでも）

市から発信される環境の情報を得たいと思う手段については、「市の公式ホームページ」が 40.5%で最も多く、次いで「市の広報紙や地域の回覧等」が 38.0%、「公共機関等での掲示、チラシ」が 15.7%などとなっている。



問 24	丹波市の環境全般について、ご意見・ご要望等がありましたらご記入ください。

■自由意見

今、空き農地を使って事業をしていますが、空き農地が増えて荒れるばかりです。太陽光発電ではなく、有効的に取り組める対策を望みます。
エシカル消費について。
太陽光パネルは現在活用されている建物の屋根のみ設置可能とする。山を切り崩す、将来使うかもしれない土地、メガソーラーはダメ。
所定ごみ袋が近隣市町村と比べて非常に高価な為、値下げを実施してほしい。
地域環境の管理者が旧態依然としており、環境負荷に対する客観的な根拠なく例年通りといった体で高額な会費や賦課金を請求される現状の是正を希望します。
省エネ設備導入に対してもっと助成金を出してください。
オオキンケイギク防除活動、丹波医療センターの環境整備と既にご協力いただいています。他情報ありましたら教えていただければと存じます。
人口減少。昔の街が昔のままでは過疎が進む。高齢化が進むばかりです。
草など、「うっそうとしている」ようなシーズン、場所・地域があり、もっと草刈りなど、道路周辺・野山周辺をきれいにすれば良い。（インターチェンジ近くは観光客にも目につく、きれいにすれば、丹波市のイメージアップにもなるのでは。）

5　自然環境の保全のための取組について

問 25	貴事業所が、すでに実施している、または実施予定がある自然環境の保全のための取組で、丹波市等と連携・協働して実施したいものや、PR したいものはありますか。 ある場合には、貴事業所名や具体的な取組内容をご記入ください。（特にない場合には、未記入で構いません）

事業所名	取組内容
A 社	ビニールハウスで多肉植物を作り、ネット販売しています。
B 社	環境マネジメントシステムの構築
C 社	美容一般
D 社	別記の通り、既にオオキンケイギク防除活動等でお世話になっております。今後とも他情報ありましたら、ご紹介いただきたいです。
E 社	耕作放棄地の解消。当社の材料の作付、材料の海外依存が大部分の中、自社で作付可能な花木の増強。周辺の美化活動、月 1 回。
F 社	自社製品は木で作る建具なので本製品を使用することにより環境への取組になると考える。工業製品でなく木製品を多用してもらいたい。